



始



農事試驗年報

昭和八年度

新竹州立農事試驗場編

14.21  
686

14.21-686

昭和八年度

農事試驗年報

新竹州立農事試驗場



本報ハ昭和八年度中ニ於ケル本場試

驗成績並ニ業務ノ概要ヲ輯録セルモ

ノナリ

昭和九年十一月

新竹州立農事試験場

發行所寄贈本



14.21-686

# 凡 例

## 1 本場ノ位置

新竹市浦雅 東經120度57分 北緯24度48分

## 2 成績ハ全部「メートル」法ニ據リ、記載アルモ主要部分ハ尙便宜上尺貫法ニ基キ( )内ニ表示セリ。

## 3 「メートル」法ト尺貫法トノ主ナル比較換算法ハ次ノ數字ニ據レリ。

1「メートル」(米,m)…100「センチメートル」(厘,cm) ……3尺3寸  
1尺……0.30303「メートル」

1「ヘクタール」(ha)…100「アール」(a)……………1町25歩  
1町……0.99174「ヘクタール」

同 同……………1甲03102  
1甲……0.96992「ヘクタール」

1「リットル」(L,立)……………5合5435  
1石 ……180立391

1「キログラム」(斤,kg) ……1000「グラム」(瓦,g) ……0貫26667  
1貫 ……3.750「キログラム」

同 同……………1斤66667  
1斤 ……0.600「キログラム」

目次

	頁
<b>第一 氣象</b> .....	1
一 昭和八年氣象概要.....	1
二 昭和八年氣象表.....	3
<b>第二 試驗及調査</b> .....	5
<b>1 水稻作</b> .....	5
耕種梗概.....	5
一 豊凶考照試驗.....	9
二 耕種法ニ關スル試驗.....	15
(一) 播種期對移植期試驗.....	15
(二) 水田中耕除草方法試驗.....	22
(三) 水稻株出試驗.....	32
三 品種改良ニ關スル試驗.....	37
(一) 品種試驗.....	37
A 内地種品種比較試驗.....	37
B 内地種品種豫備試驗.....	50
(二) 純系淘汰.....	59
1 純系分離試驗.....	59
2 純系撰出試驗.....	60
3 生産力比較試驗.....	61
A 第一回生産力比較試驗.....	61
B 第二回生産力比較試驗.....	66
C 第三回生産力比較試驗.....	68
D 原種決定試驗.....	70
(三) 人工交配.....	74
四 病蟲害防除ニ關スル試驗.....	75
(一) 稻熱病抵抗性品種選擇試驗.....	75
(二) 鐵甲龜ノ驅除豫防法ニ關スル試驗.....	76
<b>五 肥料ニ關スル試驗</b> .....	77
(一) 堆積肥料ノ肥効試驗.....	77
(二) 深耕ト施肥量トノ關係試驗.....	80
(三) 綠肥ノ肥効ニ關スル試驗.....	90
(四) 新肥料窒素肥料試驗.....	94
(五) 施肥標準量查定試驗.....	98
<b>六 品種ノ試作並優良系統原種保存</b> .....	104

-( 2 )-

2 甘 藷 作	104
一 水田甘藷作ニ關スル試驗	104
(一) 甘藷品種比較試驗	104
3 綠 肥 作 物	108
一 水田綠肥ニ關スル試驗	108
(一) 第一期作用水田綠肥品種試驗	108
(二) 第二期作用水田綠肥試驗	109
4 水田跡地利用作物	110
一 水田跡地利用作物ニ關スル試驗	110
(一) 種類比較試驗	110
(二) 水田跡地用馬鈴薯種薯貯藏ニ關スル試驗	126
5 地方委托試驗	130
一 優良水稻品種地方試驗	130
二 水田堆肥施與ニ關スル試驗	157
三 水田綠肥栽培效果試驗	159
四 新肥料施用ニ關スル試驗	162
五 施肥標準量ニ關スル試驗	167
6 調 査	176
一 堆肥製造ニ關スル調査	176
二 螟蛾發生調査	179
第三 講習其他	181
第四 庶 務	183
一 昭和八年度豫算決算	183
二 職員出張	183
三 種 苗 配 布	183
四 參 觀 人	183
五 印 刷 物 配 布	184
六 文 書 收 發	184
七 場 概 況	184
八 職 員 異 動	184
九 現 在 職 員	184

## 第一 氣 象

# 第一氣象

## 一 昭和八年氣象概要

**氣 溫** 年平均ハ21.4度ニシテ平年ヨリ0.1度低ク最高氣溫年平均ハ25.5度ニシテ平年ヨリ0.1度高ク最低氣溫年平均ハ18.5度ニシテ平年ト等シク月平均最高ハ八月ノ27.0度ニシテ最低ハ一月ノ14.0度ナリ一日絕對最高氣溫ハ七月二十九日ノ34.2度ニシテ最低ハ十二月二十五日ノ6度ナリキ  
**濕 度** 年平均ハ82.9%ニシテ平年ヨリモ0.7%多シ、最モ寡乾ナリシハ十二月二十一日ノ55%ナリキ  
**蒸 發 量** 一日平均蒸發量ハ4.3耗ニシテ平年ヨリ0.1耗寡ナク、最モ多カリシハ六月六日ノ9.1耗ナリキ  
**日 照 時 數** 總時數ハ2120.7時ニシテ平年ニ比シ337.8時多シ、最高ハ八月ノ295.6時ニシテ最少ハ二月ノ37.7時ナリキ  
**降 水 量** 總雨量ハ1363.1耗ニシテ平年ニ比シ375.6耗寡ナク、月最多量ハ六月ノ471.5耗ニシテ最少量ハ十二月ノ17.7耗ナリシガ一日最多量ハ六月七日ノ305.4耗ニシテ當日新竹市附近ニハ橋梁流失等ノ水害ヲ及ホセシ程ナリシモ五月迄ノ降雨量ハ平年ノ半量ニモ達セサリシ爲第一期作水稻ハ四一五月ニカケ旱害ヲ受ケ又ハ、九月モ降水量少カリシ爲第二期作ニ於テ九月上旬旱害ヲ受ケシ地方多カリキ  
**風** 年平均方向ハ北東ニシテ九月ヨリ翌年四月迄ハ北東又ハ北々東ノ風多ク夏季ハ南西ノ風多カリキ、一日平均風速ハ2.7秒米ニシテ平年ニ比シ0.8秒米弱シ、月平均中最モ強カリキハ一月ノ4秒米最モ弱カリシハ七月、四月ノ1.8秒米ニシテ一日平均速度ノ最モ強カリシハ一月十二日ノ9.4秒米ナリキ、季節風ハ九月下旬ヨリ吹き始メ四月下旬ニ終了、一月最モ強ク4.0秒米ニシテ次ハ十月ノ3.7秒米ナリキ  
**天 候 類 別** 快晴日數88日ニシテ平年ヨリ22日多ク、最モ多カリシハ九月ノ17日ニシテ最モ寡カリシハ一、二、三月ノ各1日ナリキ、晴天日數ハ157日ニシテ平年ヨリモ15日多ク最モ多カリシハ五月ノ18日最モ寡カリシハ二月ノ4日ナリキ、曇天日數ハ77日ニシテ平年ヨリ6日少ク最モ多カリシハ一月ノ17日最モ少カリシハ八、九月ノ各1日ナリキ、雨天日數ハ43日ニシテ平年ヨリ29日寡ク、最モ多カリシハ三月ノ8日ニシテ最モ少カリシハ八、九月ノ皆無ナリキ  
**月 別 狀 況** 以上本年氣象概況ヲ概括スルニ  
**一 月** 氣溫ハ平年ニ比シ1.01度低ク風強ク一般ニ陰濕ナル天候ニシテ上旬ハ晴曇相半ハシ中旬ニ至リ風強ク下旬ニ至リ風ハ幾分弱マリシモ陰鬱ナル天候ヲ持續シ氣溫ハ低下シ雨天多ク寒冷トナリ爲ニ本年中月平均最

- 二 月 前月下旬ヨリ不順ニ向ヒ居リシ天候モ漸次恢復ニ向ヒシモ日照少ナク晴天少ク曇天日數多カリシモ降雨量ハ平年ニ比シ少ナク、一般ニ陰曇ナル天候ヲ持續セリ、尙水稻苗代ノ生育管理上支障アリシモ下旬後半ヨリ天候恢復氣溫上昇ニ伴ナヒ苗ノ生育モ亦回復セリ
- 三 月 月上旬殆ンド曇雨天ニシテ氣溫モ亦低ク中旬ニ至リ天候恢復ニ向ヒシ爲上、中旬ニ挿秧セシ水稻ノ活着モ良好ナルモノアリシガ下旬ニ至リ又陰鬱ナル天候トナリシ爲月平均氣溫平年ニ比シ低カリキ
- 四 月 氣溫ハ平年ニ比シ大差ナク晴天引續ケル爲苗ノ活着、分蘖良好ナリシモ平年ニ比シ本年中ノ降雨總量少ナカリシニ、加フルニ本月ニ入り其量激減セル爲灌水不足ノ聲高ク灌溉水漸次缺乏シ植付支障ヲ生ゼシ場所アリシヲ聞ク程ナリキ
- 五 月 氣溫稍低カリシモ降水量極メテ少ナク、日照時數多カリシ爲灌水充分ナル所ハ稻ノ生育極メテ良好ナルモ中旬ニ至リ降雨全クナカリシ爲旱害ノ聲益々加ハルニ至リシモ下旬後半期ニ至リ降雨アリシ爲其聲モ稍緩和セラレタリ
- 六 月 氣溫ハ平年ニ比シ大差ナカリシモ月上旬ハ降雨多ク隨ツテ氣溫モ幾分寒冷ナリキ、六月七日ニ豪雨ヲ催フシ爲ニ水害ヲ受ケシ所アリシ程ナリシガ中旬ニ至リ天候恢復氣溫モ亦順調ニ向ヒ水稻ノ成熟收穫上好影響ヲ與ヘタリ、下旬播種セシ第二期作在來種苗代ノ生育ハ至極良好ナリキ
- 七 月 氣溫ハ平年ト大差ナカリシモ月上旬降雨アリシノミニテ中旬以降ハ殆ンド晴天續キナリシ爲水稻收穫上極メテ好影響ヲ及ホセリ、下旬低氣壓ノ影響ニヨリ陰鬱ナル天候ヲ持續セシ爲第二期作苗代ハ一般ニ徒長ノ傾アリキ
- 八 月 氣溫ハ平年ヨリ稍高ク下旬降雨アリシノミニテ中、下旬殆ンド降雨ヲ見ズ、日照多ク晴天打續ケル爲水稻ノ活着良好ニシテ生育モ亦極メテ良好ニ向ヒシモ降水量少ナキ爲下旬ニ至リ旱害ノ聲ヲ聞ケリ
- 九 月 氣溫ハ平年ニ比シ稍高ク降雨極メテ少ナク快晴打續ケル爲灌水充分ノ箇所ハ水稻ノ生育極メテ良好ナルモノアリシモ降水量ノ缺乏ハ旱害ノ聲益々大トナレリ、季節風ハ二十七日ヨリ吹き初メタリ
- 十 月 氣溫ハ平年ヨリ稍々高ク中旬三日間降雨アリシ他晴天ニテ中、下旬季節風猛威ヲ振ヒタリ、在來種ハ月初メニ出穂セル爲季節風ニヨル被害ハ稍々免カレタリシカ好天氣ニ惠マレ内地種ハ月末ニハ登熟收穫期ニ入レリ
- 十一月 氣溫ハ平年ニ比シ稍低カリシモ一般ニ晴天多ク爲ニ中、下旬在來種糯ノ收穫作業ハ支障ナク行ハレタリ
- 十二月 晴天多ク氣溫中旬ニ至リ急降セシモ下旬ニ至リ幾分上昇セリ爲メニ月平均ハ平年ニ比シ低溫ナリキ、中、下旬季節風強カリシモ下旬ニ至リ漸次弱マリ平穩ニ本月ヲ終レリ

二 昭和八年氣象表

月	旬	氣 溫 (攝氏度)					濕度	蒸發量	日照時數	降水量	風		天氣日數			
		平均	最高平均	最低平均	最高極	最低極					平均速度	最多方向	雨天	曇天	晴天	快晴
一	平均	14.0	17.5	11.9	24.3(11)	6.9(29)	85.0	2.5	53.8	53.7	4.0	北東	6	17	7	1
	上旬	14.8	18.3	12.3	23.3(9)	10.0(2)	85.7	2.9	14.5	18.4	2.8	同	1	8	1	...
	中旬	15.6	19.8	13.2	24.3(11)	10.6(18)	84.8	2.4	20.1	22.1	5.7	同	1	5	4	...
	月下旬	11.8	14.6	10.2	19.5(31)	6.9(29)	84.5	2.4	19.2	13.2	3.6	同	4	4	2	1
二	平均	14.6	17.5	12.4	22.0(1)	7.6(1)	89.8	1.5	37.7	65.5	2.8	北東	7	16	4	1
	上旬	15.1	18.6	12.3	22.0(1)	7.6(1)	87.1	1.8	28.0	12.5	2.8	同	2	4	3	1
	中旬	14.0	16.4	12.6	19.7(15)	11.2(20)	91.6	1.2	4.1	51.2	2.8	同	3	7	...	...
	月下旬	14.6	17.5	12.3	19.7(22)	10.6(21)	90.8	1.4	5.6	1.8	2.7	同	2	5	1	...
三	平均	15.4	19.2	12.7	26.6(21)	8.2(28)	84.8	3.2	95.4	159.4	3.1	北東	8	12	10	1
	上旬	14.0	16.9	12.0	18.8(9)	10.3(7)	82.3	1.3	4.4	54.8	3.9	同	4	6	...	...
	中旬	15.2	20.6	11.1	26.0(20)	8.7(11)	78.4	5.0	68.1	0.9	3.1	北西	1	1	7	1
	月下旬	16.9	20.1	14.7	26.6(21)	8.2(28)	83.9	3.3	22.9	103.7	2.3	北東	3	5	3	...
四	平均	21.2	25.2	18.7	28.0(7)	14.2(1)	86.5	3.8	145.1	57.9	1.8	北東	4	9	14	3
	上旬	20.6	24.4	18.0	28.0(7)	14.2(1)	85.9	4.0	54.2	31.2	1.8	同	1	3	4	2
	中旬	20.9	24.4	18.7	27.0(15)	14.8(12)	87.5	3.1	26.5	12.2	1.9	同	2	5	3	...
	月下旬	22.2	26.7	19.4	28.0(30)	18.3(22)	86.1	4.1	64.4	14.5	1.8	同	1	1	7	1
五	平均	24.3	28.6	21.4	32.4(31)	16.3(4)	86.3	4.9	212.3	145.7	2.0	北東	2	5	18	6
	上旬	23.9	27.0	20.4	29.8(9)	16.3(4)	86.4	4.4	62.6	28.6	2.1	北東 北西	1	2	5	2
	中旬	25.8	29.9	22.2	32.0(12)	19.7(12)	85.5	6.1	91.8	-	1.6	北西	...	...	7	3
	月下旬	24.1	28.9	21.4	32.4(31)	18.2(29)	87.0	4.3	57.9	117.1	2.3	北東	1	3	6	1
六	平均	26.8	30.5	23.8	33.5(23)	20.5(8)	84.7	5.2	195.0	471.5	2.8	南西	6	3	16	5
	上旬	25.9	29.1	22.9	32.5(6)	20.5(8)	86.3	4.3	45.1	384.4	2.3	東 西	4	1	4	1
	中旬	26.8	30.6	23.8	32.3(20)	21.5(13)	83.5	5.5	67.7	50.6	4.3	南西	...	2	7	1
	月下旬	27.6	31.8	24.8	33.5(23)	23.8(29)	84.4	6.2	82.2	36.5	1.8	同	2	...	5	3

最高極最低極中( )内ハ該當日ヲ記入セリ



月	旬	氣 溫 (攝氏度)					濕度	蒸發量	日照時數	降水量	風		天氣日數			
		平均	最高平均	最低平均	最高極	最低極					平均速度	最多方向	雨天	曇天	晴天	快晴
七	平均	27.7	31.6	24.7	34.2(27)	22.5 (6)	81.8	5.7	239.0	130.7	1.8	西	4	3	16	8
	上旬	26.8	30.4	23.8	32.4(10)	22.5 (6)	82.8	4.8	63.2	126.4	2.3	同	3	1	4	2
	中旬	27.9	32.0	24.8	33.4(18)	23.4(14)	81.2	6.4	89.7	...	1.6	同	...	...	8	2
	月下旬	28.2	32.3	25.3	34.2(27)	23.6(22)	81.5	5.8	86.1	4.3	1.6	同	1	2	4	4
八	平均	27.9	31.4	24.9	33.8 (5)	23.2(25)	80.9	7.3	295.6	30.1	2.4	南西	...	1	17	13
	上旬	28.2	32.4	25.1	33.8 (5)	23.8 (2)	80.3	6.7	86.0	30.0	1.8	西	...	...	9	1
	中旬	28.1	31.4	25.3	32.5(11)	23.5(19)	79.6	7.8	91.9	...	3.7	南西	...	1	4	5
	月下旬	27.3	30.7	24.4	32.5(31)	23.2(25)	82.5	7.4	117.7	0.1	1.7	南西 西	...	...	4	7
九	平均	26.7	30.8	23.7	32.8 (8)	20.7 (7)	80.3	5.8	256.6	64.8	2.5	北東	...	1	12	17
	上旬	20.0	31.3	23.5	32.8 (8)	20.7 (7)	76.8	6.7	77.2	28.9	2.4	同	...	1	4	5
	中旬	26.9	31.3	24.4	32.3(20)	22.2(19)	83.2	5.5	85.8	35.9	2.1	同	...	...	5	5
	月下旬	26.1	29.9	23.9	31.2(21)	20.4(29)	81.0	5.3	93.6	...	2.8	同	...	...	3	7
十	平均	22.9	27.2	19.8	33.7 (4)	13.8(10)	80.0	4.9	222.6	132.5	3.7	北東	2	2	17	10
	上旬	25.3	29.8	22.3	33.7 (4)	20.0(10)	82.9	5.6	86.0	...	2.5	北西	...	...	6	4
	中旬	22.1	25.3	19.2	29.2(14)	13.8(20)	76.8	4.7	66.2	132.5	4.5	北東	2	1	4	3
	月下旬	21.5	26.7	18.1	31.0(28)	14.3(23)	80.2	4.6	70.4	...	4.1	同	...	1	7	3
十一	平均	19.9	24.0	15.7	30.0 (4)	6.4(20)	77.6	3.9	172.9	33.6	3.4	北東	3	4	13	10
	上旬	20.8	24.3	18.1	30.0 (4)	14.2 (7)	82.1	3.6	48.5	7.1	4.3	同	2	2	4	2
	中旬	18.3	23.7	15.1	26.4(20)	6.4(20)	70.8	4.7	63.8	7.3	3.3	同	...	1	5	4
	月下旬	18.1	24.0	14.0	27.7(25)	7.3(21)	79.8	3.4	60.6	19.2	2.7	同	1	1	4	4
十二	平均	16.0	21.8	12.2	26.7 (4)	6.0(25)	77.2	3.4	194.7	17.7	2.4	北東	1	4	13	13
	上旬	17.9	23.6	14.5	26.7 (4)	10.6 (4)	79.2	2.9	60.6	0.7	2.1	同	...	...	7	3
	中旬	14.8	20.5	11.6	23.5(12)	6.3(19)	75.8	3.7	67.5	3.2	3.0	同	1	1	1	7
	月下旬	15.5	21.5	10.7	25.8(26)	6.0(25)	76.7	3.3	66.6	13.8	2.1	同	...	3	5	3
全年平均		21.4	25.5	18.5	34.2 (7.27)	6.0 (12.25)	82.9	4.3	2120.7	1363.1	2.7	北東	43	77	157	88
全年偏差		(-)	(+)	(±)	...	...	(+)	(-)	(+)	(-)	(-)	...	(-)	(-)	(+)	(+)
全年標準差		0.1	0.1	0	...	...	0.7	0.1	337.8	375.6	0.8	...	29	6	15	22

## 第二 試驗及調查

## 第二 試驗及調査

### 1 水 稻 作

#### 耕 種 梗 概

特殊ノ試験ヲ除ク普通耕種ノ梗概ヲ示セバ次ノ如シ。

#### 第 一 期 作

##### 苗 代

防風設備 苗代ノ北面ニ高さ1.5「メートル」ノ防風牆ヲ設ケタリ。

整 地 前年第二期作收穫後稻株ヲ除去シ直チニ犁起ヲ行ヒ十二月下旬乃至一月上旬第二回犁起ヲナシ灌水ノ上刈把及手把ヲ施シ靱殻灰ヲ散布シ第二回犁起ヲ行ヒ刈把手把ヲカケ一月上、中旬落水ノ上所定ノ肥料ヲ施與シ第四回ノ犁起ヲナシ爾後手把ヲ縱横ニカケ土塊ヲ破碎シ且ツ床面ヲ平坦ナラシメタル後殘存セル稻株其他ノ夾雜物ヲ除去スルト共ニ足跡ヲ埋メツ、地均シヲナシ蓋筒ヲ以テ床面ヲ均齊ナラシメ播床幅一「メートル」溝幅0.3「メートル」ノ短冊形ニ仕切り揚床ニ整地セリ。

選 種 唐箕選ヲ強ク二回施シ梗ハ比重 1.13糯及在來種ハ比重 1.08ノ鹽水選ヲ行ヒタリ。

浸種及萌芽 内地種ハ四晝夜、在來種ハ三晝夜浸水ノ後萌芽裝置ヲ行ヒ、芽ハ六乃至七「ミリメートル」ノ<sup>程度</sup>ニ伸長セシメタリ。

播 種 次ノ標準ヲ以テ行ヒタリ。

内地種 晚稻 一月上中旬

同 中稻 一月中下旬

同 早稻 二月 上旬

在來種 一月 下旬

播種量 一平方「メートル」當100瓦ノ割合トセリ。

肥 料 苗代一「アール」當施肥量次ノ如シ。

肥料名	基肥	追肥	計	所含三要素量		
				窒素	磷酸	加里
堆肥	50.00	25.00	75.00 (29,000) メ	0.4875	0.5525	0.6525
大豆粕	5.00	4.00	9.00 (2,398) メ	0.5778	0.1188	0.1683
落花生油粕	4.00	...	4.00 (1,067) メ	0.1816	0.0548	0.0600
過磷酸石灰	2.00	...	2.00 (0,533) メ	...	0.3800	...
糶殻灰	10.00	5.00	15.00 (4,000) メ	...	0.3150	0.6750
計	...	...	...	1.2469 (0,3225) メ	1.2211 (0,3256) メ	1.5558 (0,4149) メ

備考 追肥ハ三回ニ分施セリ。

第一回播種後三日目第二及第三回品種ニ應ジ適宜分施セリ。

管 理 播種後晴天ニシテ温暖ナルトキハ翌日直チニ排水シ爾後風雨寒冷ノ日ヲ除キ毎日午前八時頃排水午後四時頃灌水セリ、斯クシテ苗ノ六乃至七「センチメートル」ニ伸長セバ可及の水ヲ節シ苗代面ヲ飽水状態ニシ苗ノ順調ナル生育ヲ圖リ病虫鳥害ノ防除、雜草ノ拔取ニ對シテハ努メテ懇切ニセリ。

本 田

整 地 前年第二期作收穫後直チニ犁起シ土壤ノ風化ヲ促シ一月下旬第二回耕起ヲナシ二月ニ入り灌水刈耙及手耙ヲ施シ土塊ヲ細碎シ田面ヲ均整ナラシメ挿秧前四週間ニ排水シ堆肥ヲ施シ第三回ノ犁起ヲ行ヒ爾後引漬キ灌水シ二月下旬ヨリ三月上旬ニ亙リ刈耙及手耙ヲカケ綠肥栽培地ハ糶殻灰ヲ施與ノ上三月上旬灌水シテ犁込ミ刈耙及手耙ヲカケ綠肥栽培地ハ成ル可ク町疇ニ整地ヲ行ヒ努メテ均整ニシ挿秧二週日前大豆粕ヲ施シ第四回犁起ヲナシ刈耙手耙ヲ繰返シ挿秧三日目過磷酸石灰ヲ施シ手耙ヲカケ碌碡ニテ均整ニセシ上挿秧セリ。

肥 料 「ヘクタール」當施用量ヲ示セバ次ノ如シ

肥料名	基肥	追肥	計	所含三要素量		
				窒素	磷酸	加里
堆肥	7,000	...	7,000 (1866,900) メ	45,500	32,900	60,900
大豆粕	800	...	800 (213,336) メ	51,360	10,560	14,960
過磷酸石灰	300	...	300 (80,000) メ	...	57,000	...
糶殻灰	1,000	...	1,000 (266,667) メ	...	21,000	45,000
硫酸アンモニア	...	80	80 (21,336) メ	16,000	...	...
計	...	...	...	112,860 (30,090) メ	121,460 (32,390) メ	120,860 (32,230) メ

備考 一、綠肥栽培區ニハ堆肥ヲ施與セズ。

二、追肥ハ第二回除草時施與セリ。

三、在來種ノ施肥量ハ前表ノ三割減トセリ。

挿 秧

内地種	早稻	三月下旬	一平方米當	十八株植	一株	十本植
同	中稻	三月中旬	同	同	同	八本植
同	晚稻	三月上旬	同	同	同	六本植
在來種		三月下旬	同	十五株植	同	五本植

但シ一本植ノ分ハ一平方「メートル」當二十株植トセリ。

除 草 期

第一回 挿秧後二週間目  
第二回 第一回後十日目  
第三回 第二回後七日目

管 理 挿秧後一週間内外ニ補植ヲ行ヒ挿秧當時ハ稍深水トシ苗ノ活着後ハ浅水ヲ旨トシ時々落水シ苗ノ生育ヲ助長シ穗孕期ヨリ開花期迄ハ稍深水トシ成熟期ニ達シ適宜落水セリ。

壓 稻 在來種ノミニ對シ糊熟期ニ行ヒタリ。

病虫、鳥害ノ驅除豫防

苗代期ハ勿論本田挿秧後モ常ニ留意シ臨機應變ノ處置ヲ行ヒタリ。

收 穫 適熟期ニ地上三「センチメートル」ノ所ヨリ刈取り直チニ脱穀シ糶波狀在來式乾燥法ニヨリ晴天三日間地乾セリ。

第二期作

苗代

選種 第一期作ニ準ジ行ヒタリ。  
 整地 六月上、中旬ニ行ヒ作業ハ第一期作ニ準ジタリ。  
 浸種 在來種粳ハ一晝夜内地種及在來種糯ハ二晝夜浸水セリ。  
 肥料 「アール」當施用量次ノ如シ。

肥料名	基肥	所含三要素量			備考
		窒素	磷酸	加里	
過磷酸石灰	3,000 (0,800)	...	0.152	...	播種三日前施與
粃殼灰	20,000 (5,224)	...	0.420	0.900	第二回犁起ノ際施與
計	...	...	0.572 (0.152)	0.900 (0.240)	

播種 在來種粳 六月下旬  
 同 糯 六月中旬  
 内地種 七月中、下旬  
 播種量 一平方「メートル」當100瓦  
 管理 播種翌日早期排水シ爾後晴天ノ際ハ常ニ床面ヲ飽水状態ニ保タシメタリ。

本田

整地 第一期作收穫後直チニ堆肥、大豆粕、粃殼灰等ノ基肥ヲ施シ犁田シ刈耙、手耙ヲカケ挿秧三日前其他ノ肥料ヲ施シ再ビ犁起シ刈耙、手耙、碌碡等ヲ用ヒ田面ヲ均齊ニセリ。

肥料 第一期作ニ準ジタリ。  
 插秧 在來種粳 七月中、下旬  
 同 糯 七月下旬乃至八月上旬  
 内地種 七月下旬

除草期 第一期作ニ準ジタリ。  
 管理 第一期作ニ準ジタリ。  
 壓稻 第一期作ニ準ジタリ。

病虫、鳥害ノ驅除豫防

第一期作ニ準ジタリ。

收穫 適熟期ニ地上三「センチメートル」ノトコロヨリ刈取り直チニ脱穀ノ上在來式波狀乾燥法ニヨリ晴天五日間地乾セリ。

一 豊凶考照試験 (大正十三年ヨリ繼續)

目的 稻作上當年天候ノ順否ニ因ル自然力ノ影響如何ヲ試査スルト同時ニ氣候的自然要素ニ順應スベキ耕種肥培ノ方法ヲ知り、併セテ當年ニ於ケル作柄ノ豊凶ヲ考照スル資ニ供セントスルニアリ。

供試品種

第一期作 内地種 中村、佐賀萬作、旭、伊豫仙石三號、伊豫仙石四號  
 在來種 花螺、紅脚烏粘  
 第二期作 内地種 旭、伊豫仙石四號  
 在來種 糲仔、蕃仔、晚清油、鷺卵

試験方法

- 一、肥料 耕種梗概ニヨレリ
- 二、區制 一區0.5「アール」三區制
- 三、挿秧期 第一期作三月十日  
第二期作八月三日
- 四、植付株數 一株ノ植付本數耕種梗概ニヨル
- 五、苗取法 鋤取土付苗
- 六、播種量 一平方「メートル」當第一期作150瓦、第二期作100瓦
- 七、管理 其他耕種梗概ニヨル

成績 概要次ノ如シ

第一期作

第一回 調査 (自播種期一月二十日  
至挿秧期三月十日)

在來種及内地種晚稻(伊豫仙石三號、伊豫仙石四號)ハ一月二十日其他ノ内地種ハ二月四日夫々播種セリ、今播種期ヨリ挿秧期ニ至ル氣象狀況ヲ觀ルニ前記ノ在來種及内地種晚稻ノ播種當時ハ比較的順調ナル天候ナリシモ其後ハ日照少ク概シテ寒冷ナル天候持續セシヲ以テ苗ノ伸長遲緩ナリシモ挿秧時ハ強剛ナル良苗ヲ得タリ。

苗ノ生育狀況ハ前三ケ年平均ニ比較スルニ苗丈在來種平均3.0糎短ク葉幅0.15糎狭ク、内地種ニ於テハ苗丈1.3糎短ク葉幅0.3糎廣カリキ。

附近農家ニ於テモ當場ト大同小異ナリ。

第二回 調査 (自挿秧期三月十日  
至穀雨節四月二十日)

本期間ノ氣象狀況ハ前三ケ年平均ニ比シ挿秧直後寒冷ナリシモ其後漸次温暖トナリ、本期ノ平均氣温ハ稍低ク降雨量甚ダ少ナカリシモ日照多ク概シテ良好ナル天候ヲ持續セリ。

在來種ハ挿秧直後寒冷ナリシ爲メ活着稍々不良ナリシガ天候恢復ト共ニ其生育モ漸次良好ニ向ヒタリ、次ニ内地種ハ活着良好ニシテ順調ナル生育ヲ遂ゲツ、アリ。  
 稲ノ生育狀況ハ前三ケ年平均ニ比較スルニ在來種ニアリテハ草丈 1.7 籾低ク一株 1.5 本少ク内地種ニ於テハ草丈 1.3 籾高ク一株莖數 3.9 本多カリキ。

附近農家ニ於ケル生育狀況モ當場ト相似タリ。

第三回 調査 (自穀雨節四月二十日 至立夏節五月六日)

本期間ノ氣象狀況ハ前三ケ年平均ニ比シ日照時數稍々多カリシモ氣温稍々低ク特ニ本期間ノ後半期ハ比較的不順ナル天候ナリキ、水稻ノ生育ヲ觀ルニ一般ニ草丈低キモ分蘖多ク旺盛ナル生育ヲ呈シツ、アリ、但シ晚稻ノ一部ニハ前記セル天候不良ノ爲メ輕微ナル葉いもち病ノ發生アリ。

稲ノ生育狀況ハ前三ケ年平均ニ比較スルニ在來種平均ハ草丈 10.1 籾低ク一株莖數 3 本多ク内地種平均ハ草丈 5.1 籾低ク一株莖數 0.6 本多カリキ。

附近農家ノ作況モ當場ト大同小異ナリ。

第四回 調査 (自立夏節五月六日 至小滿節五月二十一日)

本期間ニ於ケル氣象狀況ハ前三ケ年平均ニ比シ氣温稍々低ク降水量少ナカリシモ日照時數稍々多カリキ、次ニ生育狀況ヲ觀ルニ前三ケ年平均ニ比シ草丈低キモ分蘖ハ在來種及内地種早稻ハ稍々多ク晚稻ハ稍々少ナカリキ、早稻ハ五月十八日出穂ヲ始メタリ。

稲ノ生育狀況ハ前三ケ年平均ニ比較スルニ在來種平均草丈 8.2 籾低ク一株莖數 2.1 本多ク内地種ニ於テハ早稻平均草丈 6 籾低ク一株莖數 2 本多ク晚稻平均草丈 1.8 籾低ク一株莖數 0.2 本少カリキ。

附近農家ニ於テハ灌溉水不足セルトコロ多ク且ツ葉いもち病ハ場所ニ依リテ多少ノ被害アリ。

第五回 調査 (自小滿節五月二十一日 至夏至節六月二十二日)

本年第一期作間ニ於ケル氣象狀況及作況ヲ概括スレバ次ノ如シ。

苗代期間ニ於ケル氣象狀況ハ平年ニ比シ氣温稍々低ク日照少ク概シテ寒冷ナル天候持續シタルヲ以テ苗ノ伸長遅緩ナリシモ挿秧時ハ強健ナル良苗ヲ得タリ。

挿秧直後ハ寒冷ナリシ爲メ在來種ノ活着稍々不良ナリシガ内地種ハ概シテ良好ニシテ兩種共天候恢復ト共ニ漸次順調ナル生育ヲ遂ゲタリ、五月廿旬内地種晚稻ニハ多少葉いもち病ノ發生ヲ認メタリ、出穂期ハ前三ケ年平均ニ比シ在來種ハ二日間早カリシモ内地種ハ平均二日間遅カリキ、出穂後ハ在來種内地種共比較的順調ナル成育ヲ遂ゲ在來種内地種共ニ增收セリ。

收量調査成績次ノ如シ

品種別	年 別	一「ヘクタール」當收量		一 立 重 量		籾摺歩合
		粳	玄 米	粳	玄 米	
花 螺	本 年	5068.9	3967.0	587	773	78.3
	前 年	4758.3	3773.9	604	743	79.3
	前三ケ年平均	4301.4	3398.9	590	750	78.9
	本年ト前年トノ較差	(+) 310.6	(+) 193.1	(-) 17	(+) 31	(-) 1.0
	本年ト前三ケ年平均トノ較差	(+) 767.5	(+) 568.1	(-) 3	(+) 23	(-) 0.6
紅脚烏粘	本 年	4624.5	3652.6	580	762	79.0
	前 年	4461.7	3497.5	586	747	78.4
	前三ケ年平均	4177.8	3237.3	573	744	77.5
	本年ト前年トノ較差	(+) 162.8	(+) 155.1	(-) 6	(+) 15	(+) 0.6
	本年ト前三ケ年平均トノ較差	(+) 446.7	(+) 415.3	(+) 7	(+) 18	(+) 1.5
中 村	本 年	4142.2	3350.5	515	776	80.9
	前 年	4208.3	3347.8	506	742	79.5
	前三ケ年平均	3914.2	3126.0	516	747	79.8
	本年ト前年トノ較差	(-) 66.1	(+) 2.8	(+) 9	(+) 34	(+) 1.4
	本年ト前三ケ年平均トノ較差	(+) 228.0	(+) 224.5	(-) 1	(+) 29	(+) 1.1
佐賀萬作	本 年	4218.9	3454.1	523	786	81.9
	前 年	4201.7	3395.2	516	752	80.8
	前三ケ年平均	3740.0	2974.4	518	751	79.5
	本年ト前年トノ較差	(+) 17.2	(+) 58.9	(+) 7	(+) 34	(+) 1.1
	本年ト前三ケ年平均トノ較差	(+) 478.9	(+) 479.7	(+) 5	(+) 35	(+) 2.4
旭	本 年	4431.1	3657.7	588	784	82.5
	前 年	5046.7	4151.5	581	766	82.3
	前三ケ年平均	4433.9	3587.6	553	754	80.8
	本年ト前年トノ較差	(-) 615.6	(-) 493.8	(+) 7	(+) 18	(+) 0.2
	本年ト前三ケ年平均トノ較差	(-) 2.8	(+) 70.1	(+) 35	(+) 30	(+) 1.7
伊豫仙石三號	本 年	4293.3	3524.5	561	794	82.1
	前 年	4947.5	4082.8	590	775	82.1
	前三ケ年平均	4468.1	3633.7	578	767	81.3
	本年ト前年トノ較差	(-) 654.2	(-) 558.3	(-) 29	(+) 19	(±) 0
	本年ト前三ケ年平均トノ較差	(-) 174.8	(-) 109.2	(-) 17	(+) 27	(+) 0.8

品種別	年 別	「ヘクタール」當收量		一 立 重 量		糶摺歩合
		粃	玄米	粃	玄米	
伊 豫 仙 石 四 號	本 年	4384.4	3610.3	540	802	82.3
	前 年	4905.0	3953.5	557	758	80.6
	前三ヶ年平均	4661.1	3752.5	555	763	80.5
	本年ト前年トノ較差	(-) 520.6	(-) 343.2	(-) 17	(+) 44	1.7
	本年ト前三ヶ年平均トノ較差	(-) 276.7	(-) 142.2	(-) 15	(+) 39	1.8

前表ニヨリテ本年ノ玄米收量ヲ前三ヶ年平均ニ比較スルニ在來種平均一割四分八厘、内地種平均三分一厘ノ增收ヲ示セリ。

附近農家ノ作況モ當場ト略々似タリ。

第二期作

第一回 調査 (自播種期六月二十八日  
至挿秧期八月三日)

在來種(六月二十八日播)内地種(七月十九日播)共播種後平年ニ比シ氣温稍々低ク日照時數稍少ナカリシモ其後概シテ順調ナル天候ヲ持續セシモ挿秧時ハ何レモ良苗ヲ得タリ。

苗ノ生育狀況ハ平年ニ比較スルニ在來種粃ハ苗丈2.3籾低ク葉幅0.5耗廣ク在來種糯ニ於テハ苗丈1.8籾低ク葉幅1.1耗廣ク内地種ハ苗丈6.6籾低ク葉幅1.4耗廣カリキ。

附近農家ノ作況モ當場ト相似タリ。

第二回 調査 (自挿秧期八月三日  
至處暑節八月二十三日)

本期間ニ於ケル氣象狀況ヲ觀ルニ平年ニ比シ氣温稍々高ク日照多ク良好ナル天候持續シ加フルニ病虫害ノ發生モナク順調ナル生育ヲ遂ゲタリ。

稻ノ生育狀況ハ平年ニ比較スルニ在來種粃平均草丈3.4籾低ク一株莖數4.2本多ク在來種糯(鶯卵種)草丈2.8籾低ク一株莖數3.0本多ク内地種平均草丈5.8籾低クケレ共一株莖數5.5本多カリキ。

尙附近農家ノ生育狀況モ當場ト相似セルモ降雨少キ爲メ場所ニ依リ灌溉水ニ不足ヲ來タシタルトコロアリ。

第三回 調査 (自處暑節八月二十三日  
至白露節九月八日)

本期間ニ於ケル氣象狀況ヲ觀ルニ平年ニ比シ氣温等シカリシモ日照多ク晴天日數多カリシ爲メ在來種、内地種共ニ平年ニ比シ草丈高ク一株莖數多カリキ。

稻ノ生育狀況ヲ平年ニ比較スルニ在來種粃ニ於テハ草丈3.6籾高ク一株莖數6.4本多ク在來種糯ニ於テハ草丈7.8籾高ク一株莖數4.1本多ク内地種ニ於テハ草丈4.1籾高ク一株莖數4.0本多シ。

附近農家ノ作況モ當場ト相似タリ。

第四回 調査 (自白露節九月八日  
至寒露節十月九日)

本期間ノ氣象狀況ハ平年ニ比シ降水量少カリシモ其他ノ氣象要素ハ順調ナリシヲ以テ各品種共良好ナル成育ヲ遂ゲタリ、出穂期ハ旭九月十九日在來種粃十月二日在來種糯十月八日ニシテ之レヲ平年ニ比スレバ内地種及在來種糯ハ等シケレ共在來種粃ハ二日間早カリキ。

稻ノ生育狀況ハ平年ニ比較スルニ在來種粃ニ於テハ草丈15.2籾高ク一株莖數4.0本多ク在來種糯ニ於テハ草丈0.2籾低ク一株莖數2.9本多ク内地種ニ於テハ草丈3.0籾高ク一株莖數5.0本多シ。

附近農家ノ作況モ當場ニ相似タリ。

第五回 調査 (自寒露節十月九日  
至成熟期十一月十六日)

本年第二期作間ニ於ケル作況並ニ氣象狀況ヲ概括スレバ次ノ如シ、苗代期間ニ於ケル氣象狀況ハ播種當時ハ平年ニ比シ氣温稍々低ク日照日數少カリシガ其後ハ概シテ順調ナル天候ヲ持續シ挿秧時ハ各品種共良苗ヲ得タリ。

挿秧後ハ好天氣打續キ加フルニ病虫害ノ發生モナク順調ナル生育ヲ遂ゲタリ。

出穂期ヲ觀ルニ内地種及在來種粃ハ平年ニ比シ二日乃至三日間早カリシモ糯鶯卵ハ平年ニ等シク鶯卵ハ出穂當時風害ノ爲メ稍々減收シタルモ其他ハ增收ヲ示セリ。

收量調査成績次ノ如シ

品種名	年 別	「ヘクタール」當收量		一 立 重 量		糶摺歩合
		粃	玄米	粃	玄米	
糯 仔	本 年	3152.2	2507.6	557	765	79.6
	前 年	3312.5	2607.9	569	777	78.7
	仔 平	2880.6	2119.7	562	773	76.9
	本年ト前年トノ較差	(-) 160.3	(-) 100.3	(-) 12	(-) 12	0.9
	本年ト平年トノ較差	(+) 271.7	(+) 387.9	(-) 5	(-) 8	2.7

品種名	年	別	「ヘクタール」當收量		一立重量		級播歩合	
			粳	玄米	粳	玄米		
蕃仔平	本	年	3040.0	2429.3	545	761	79.9	
	前	年	3258.5	2562.4	568	775	78.6	
	平	年	2678.6	2029.4	542	747	76.6	
	本年	前年	トノ較差	(-) 218.5	(-) 133.1	(-) 23	(-) 14	(+) 1.3
	本年	平年	トノ較差	(+) 361.4	(+) 399.9	(+) 3	(+) 14	(+) 3.3
晚清油	本	年	3556.7	2817.7	565	772	79.2	
	前	年	3409.2	2670.3	587	789	78.3	
	平	年	2848.7	2189.3	566	764	77.0	
	本年	前年	トノ較差	(+) 147.5	(+) 147.4	(-) 22	(-) 17	(+) 0.9
	本年	平年	トノ較差	(+) 708.0	(+) 628.4	(-) 1	(+) 8	(+) 2.2
鷺卵	本	年	3017.8	2501.4	475	735	82.9	
	前	年	3255.8	2670.6	520	797	82.0	
	平	年	3172.3	2537.9	500	769	80.0	
	本年	前年	トノ較差	(-) 238.0	(-) 169.2	(-) 45	(-) 12	(+) 0.9
	本年	平年	トノ較差	(-) 154.5	(-) 36.5	(-) 25	(+) 16	(+) 2.9
旭	本	年	3063.3	2523.4	554	781	82.4	
	前	年	2965.0	2443.4	595	833	82.4	
	平	年	3174.2	2541.5	570	798	80.1	
	本年	前年	トノ較差	(+) 98.3	(+) 80.0	(-) 41	(-) 52	(±) 0
	本年	平年	トノ較差	(-) 110.9	(-) 18.1	(-) 16	(-) 17	(+) 2.3
伊豫仙石四號	本	年	3667.8	3011.3	522	730	81.2	
	前	年	3370.8	2753.0	563	818	81.7	
	平	年	3187.1	2565.7	552	789	80.3	
	本年	前年	トノ較差	(+) 297.0	(+) 258.3	(-) 41	(-) 38	(-) 0.5
	本年	平年	トノ較差	(+) 480.7	(+) 445.6	(-) 30	(-) 9	(+) 0.9

前表ニヨリテ本年ノ玄米收量ヲ前年及平年ニ比較スルニ在來種粳ニ於テハ前年ニ比シ一分一厘ノ減收ナルモ平年ニ比スレバ二割三分ノ增收ニ當リ、在來種糯鷺卵ニアリテハ前年ニ比シ六分二厘平年ニ比シ一分四厘ノ減收ナリ、尙内地種ニ於テハ前年ニ比シ六分五厘平年ニ比シ八分四厘ノ增收ヲ示セリ。

附近農家ノ作況モ當場ニ相似シ旱害ヲ受ケタル地方ハ相當ノ減收ヲ見タリ。

## 二 耕種法ニ關スル試験

### (一) 播種期對移植期試験 (昭和四年ヨリ繼續)

目的 適當ナル播種期及移植ノ適期ヲ知ラントスルニアリ。

供試品種

第一期作 竹成、大阪旭一號、伊豫仙石四號

第二期作 大阪旭一號、伊豫仙石四號、鷺卵

試験ノ區別

#### 第一期作

- |           |          |
|-----------|----------|
| 一、一月六日播   | 二月二十五日植區 |
| 二、一月十三日播  | 二月二十七日植區 |
| 三、一月二十日播  | 三月六日植區   |
| 四、一月二十八日播 | 三月九日植區   |
| 五、二月四日播   | 三月十六日植區  |
| 六、二月十二日播  | 三月十九日植區  |
| 七、二月十九日播  | 三月二十六日植區 |
| 八、二月二十六日播 | 三月二十八日植區 |
| 九、三月六日播   | 四月五日植區   |

#### 第二期作

- |           |          |
|-----------|----------|
| 一、六月十三日播  | 七月一日植區   |
| 二、六月十九日播  | 七月七日植區   |
| 三、六月二十七日播 | 七月十五日植區  |
| 四、七月五日播   | 七月二十五日植區 |
| 五、七月十二日播  | 七月三十日植區  |
| 六、七月二十一日播 | 八月八日植區   |
| 七、七月二十八日播 | 八月十五日植區  |
| 八、八月五日播   | 八月二十三日植區 |
| 九、八月十二日播  | 八月二十日植區  |

備考 本期作鷺卵ニ於テハ内地種ト移植期ハ同一ナルモ苗代日數ヲ長クスル結果各區共内地種ヨリ十七日間早播キセリ。

供試面積及區制

一區0.3「アール」單區制

成績 次ノ如シ







伊 豫 仙

試験項目 試験ノ區別	試験項目			成熟時			穀			
	穂揃期	成熟期	生育日数	稈長	穂数	穂長	重量	五ヶ年平均重量	五ヶ年平均重量	
	月日	月日	日	本	本	本	kg	kg		
1	6月13日	播	9.10	10.11	120	95.1	12.4	22.7	2345.0 (75°貫668)	3362.0 (89°貫309)
2	6月19日	播	9.13	10.14	117	96.9	13.0	21.4	2965.0 (790貫668)	3402.0 (906貫973)
3	6月27日	播	9.15	10.20	115	91.8	11.8	21.8	2760.0 (736貫091)	3279.0 (874貫181)
4	7月5日	播	9.23	10.26	113	93.9	14.8	22.1	3140.0 (837貫334)	3446.0 (918貫704)
5	7月12日	播	9.25	10.28	108	93.1	14.0	22.1	3365.0 (1030貫668)	3582.0 (954貫961)
6	7月21日	播	10.2	11.6	108	94.1	14.1	20.9	3900.0 (877貫334)	3279.0 (874貫181)
7	7月28日	播	10.12	11.19	114	79.4	14.0	20.5	2530.0 (674貫668)	2444.6 (651貫730)
8	8月5日	播	10.20	11.25	112	75.6	11.6	19.6	1907.0 (508貫534)	2021.4 (533貫905)
9	8月12日	播	10.23	11.29	109	69.1	11.0	19.5	785.0 (209貫334)	1270.0 (333貫582)

五ヶ年平均成績ニヨレバ第五區、第四區收量多ク八月中旬以降植付ハ收量極度ニ減ス。

鶯

試験項目 試験ノ區別	試験項目			成熟時			穀			
	穂揃期	成熟期	生育日数	稈長	穂数	穂長	重量	五ヶ年平均重量	五ヶ年平均重量	
	月日	月日	日	本	本	本	kg	kg		
1	5月27日	播	10.2	11.6	163	134.2	11.8	22.9	3035.0 (800貫334)	3382.1 (901貫668)
2	6月2日	播	10.3	11.8	159	150.0	10.9	25.6	3080.0 (821貫334)	3126.7 (836貫244)
3	6月10日	播	10.4	11.9	152	135.3	13.1	22.9	2235.0 (609貫334)	2821.0 (752貫079)
4	6月18日	播	10.6	11.13	148	130.9	13.5	22.4	2455.0 (654貫667)	2801.0 (746貫747)
5	6月25日	播	10.9	11.6	144	132.8	13.5	22.4	2540.0 (667貫334)	2751.0 (733貫417)
6	7月4日	播	11.11	11.19	133	113.8	12.5	21.5	2515.0 (670貫668)	2523.0 (672貫632)
7	7月11日	播	10.13	11.21	133	119.6	13.8	20.4	2670.0 (712貫001)	2295.6 (612貫097)
8	7月19日	播	10.21	11.27	131	102.7	14.5	20.6	1335.0 (369貫334)	1312.0 (349貫779)
9	7月26日	播	10.24	11.30	127	93.6	13.7	19.7	920.0 (245貫334)	751.0 (209貫217)

五ヶ年平均成績ニヨレバ早播早植程收量多ク品質良好ナリ、第一區收量最モ多ク第

石 四 號

試験項目 試験ノ區別	試験項目			成熟時			穀			
	穂揃期	成熟期	生育日数	稈長	穂数	穂長	重量	五ヶ年平均重量	五ヶ年平均重量	
	月日	月日	日	本	本	本	kg	kg		
1	6月13日	播	9.10	10.11	120	95.1	12.4	22.7	2345.0 (75°貫668)	3362.0 (89°貫309)
2	6月19日	播	9.13	10.14	117	96.9	13.0	21.4	2965.0 (790貫668)	3402.0 (906貫973)
3	6月27日	播	9.15	10.20	115	91.8	11.8	21.8	2760.0 (736貫091)	3279.0 (874貫181)
4	7月5日	播	9.23	10.26	113	93.9	14.8	22.1	3140.0 (837貫334)	3446.0 (918貫704)
5	7月12日	播	9.25	10.28	108	93.1	14.0	22.1	3365.0 (1030貫668)	3582.0 (954貫961)
6	7月21日	播	10.2	11.6	108	94.1	14.1	20.9	3900.0 (877貫334)	3279.0 (874貫181)
7	7月28日	播	10.12	11.19	114	79.4	14.0	20.5	2530.0 (674貫668)	2444.6 (651貫730)
8	8月5日	播	10.20	11.25	112	75.6	11.6	19.6	1907.0 (508貫534)	2021.4 (533貫905)
9	8月12日	播	10.23	11.29	109	69.1	11.0	19.5	785.0 (209貫334)	1270.0 (333貫582)

五ヶ年平均成績ニヨレバ第五區、第四區收量多ク八月中旬以降植付ハ收量極度ニ減ス。

卵

試験項目 試験ノ區別	試験項目			成熟時			穀			
	穂揃期	成熟期	生育日数	稈長	穂数	穂長	重量	五ヶ年平均重量	五ヶ年平均重量	
	月日	月日	日	本	本	本	kg	kg		
1	5月27日	播	10.2	11.6	163	134.2	11.8	22.9	3035.0 (800貫334)	3382.1 (901貫668)
2	6月2日	播	10.3	11.8	159	150.0	10.9	25.6	3080.0 (821貫334)	3126.7 (836貫244)
3	6月10日	播	10.4	11.9	152	135.3	13.1	22.9	2235.0 (609貫334)	2821.0 (752貫079)
4	6月18日	播	10.6	11.13	148	130.9	13.5	22.4	2455.0 (654貫667)	2801.0 (746貫747)
5	6月25日	播	10.9	11.6	144	132.8	13.5	22.4	2540.0 (667貫334)	2751.0 (733貫417)
6	7月4日	播	11.11	11.19	133	113.8	12.5	21.5	2515.0 (670貫668)	2523.0 (672貫632)
7	7月11日	播	10.13	11.21	133	119.6	13.8	20.4	2670.0 (712貫001)	2295.6 (612貫097)
8	7月19日	播	10.21	11.27	131	102.7	14.5	20.6	1335.0 (369貫334)	1312.0 (349貫779)
9	7月26日	播	10.24	11.30	127	93.6	13.7	19.7	920.0 (245貫334)	751.0 (209貫217)

二區以下順次相亞グ八月中旬以降ノ栽培ハ極度ニ收量ヲ減ズ。

(二) 水田中耕除草方法試験 (昭和六年第二期作ヨリ繼續)

目的 水田中耕除草器使用ニヨリ除草方法及時期ノ差異ガ水稻ノ生育收量並ニ品質勞力等ニ及ボス影響如何ヲ知ラントスルニアリ。

供試品種

第一期作 旭 臺中六十五號  
第二期作 旭 鶯 卵

試験ノ區分

	除草回数
一、無 除 草 區	〇
一、本島在來手取二回區	二
三、同 三回區	三
四、八反取三回使用區	三
五、除草器三回使用區	三
六、一番及二番除草器使用區	二
七、一番手取二番、三番除草器使用區	三
八、一番除草器使用二番及三番手取區	三
九、一番及二番除草器使用三番手取區	三
一〇、一番及三番除草器使用二番手取區	三
一一、一、二、三番除草器使用四番手取區	四
一二、一、三番除草器二、四番手取區	四

除草ノ時期

- 一、二回除草ノ場合第一回挿秧后二週間目第二回第一回后二週間目
- 二、三回除草ノ場合第一回挿秧后二週間目第二回以後七日目毎トス
- 三、四回除草ノ場合第一回挿秧后二週間目第二回第一回后七日目以下  
七日目毎トス。

區 制 一區0.4「アール」二區制

成 績 次ノ如シ

調査項目 試験ノ區別	穂揃期 月日	成熟期 月日	生育 日數	成 熟 時			規	
				穂長	穂數	穂長	重 量	二ヶ年 平均重量
(1) 無 除 草 區	5.23	7.3	150	82.9	20.2	18.7	2993.0 (798貫134)	3062.5 (816貫668)
(2) 本島在來手取二 回區	5.29	7.5	152	83.8	23.9	19.5	4003.5 (1067貫601)	3860.3 (1029貫415)
(3) 本島在來手取三 回區	5.29	7.5	152	93.3	22.3	20.3	3975.0 (1060貫001)	4448.8 (1186貫348)
(4) 八反取三回使用 區	5.29	7.5	152	91.9	24.0	19.5	4018.0 (1071貫468)	4067.5 (1084貫668)
(5) 除草器三回使用 區	5.29	7.5	152	91.0	25.5	19.6	4480.0 (1194貫668)	4352.0 (1169貫535)
(6) 一番二番除草器 使用區	5.29	7.5	152	89.8	16.4	19.0	4108.0 (1095貫468)	4136.6 (1105貫095)
(7) 一番手取二番三 番除草器使用區	5.29	7.5	152	91.5	21.8	19.4	4700.5 (1253貫468)	4901.0 (1306貫935)
(8) 一番除草器使用 二番三番手取區	5.29	7.5	152	89.9	25.8	18.6	4350.0 (1160貫001)	4725.8 (1260貫215)
(9) 一番二番除草器 使用三番手取區	5.29	7.5	152	95.6	22.5	19.9	4290.0 (1144貫001)	4659.3 (1242貫482)
(10) 一番三番除草器 使用二番手取區	5.29	7.5	152	86.9	21.1	19.3	3922.0 (1045貫868)	4350.5 (1160貫135)
(11) 一、二、三番除草 器使用四番手取 區	5.29	7.5	152	87.2	24.3	20.4	4368.0 (1164貫801)	4784.0 (1275貫735)
(12) 一番三番除草器 使用二、四番手 取區	5.29	7.5	152	87.2	22.4	19.1	4082.0 (1085貫535)	4844.5 (1291貫368)

以上二ヶ年ノ成績ニヨレバ収量ニ於テハ第七區、第十二區、第十一區、第八區ノ  
區、第六區ヲ在來式除草法ニ比較スルニ二回使用ノモノハ7.2分三回使用ノモノハ12  
ハ第八區ノ方法ニ據ルヲ可トスベシ。

播種期二月三日移植期三月二十日

指數	(一ヘクタール當)		糶摺歩合		玄 米 (一ヘクタール當)			穂首イモ チ發生率	
	立重	容 量	重量	容量	重 量	立重	容 量		品質
79.3	603	4963.5 (27石515)	84.0	63.5	2514.1 (670貫428)	798	3150.5 (17石465)	上ノ下 14.7	
100.0	571	7011.4 (38石868)	84.0	60.7	3362.9 (896貫774)	790	4256.9 (23石598)	上ノ下 23.5	
115.2	566	7023.0 (33石932)	84.5	60.3	3358.9 (895貫708)	793	4235.7 (23石481)	上ノ下 21.7	
105.4	597	6730.3 (37石309)	84.0	62.8	3375.1 (900貫028)	798	4229.5 (23石446)	上ノ下 20.9	
112.7	570	7859.6 (43石570)	83.5	60.1	3740.8 (997貫548)	792	4723.2 (26石183)	中ノ上 19.8	
107.2	595	6904.2 (38石273)	83.0	61.3	3409.6 (900貫228)	805	4235.6 (23石480)	上ノ下 18.5	
127.0	595	7900.0 (43石794)	84.0	62.6	3948.4 (1052貫903)	798	4947.9 (27石429)	上ノ下 18.1	
122.4	560	7767.9 (43石061)	82.5	57.8	3588.8 (957貫015)	799	4491.6 (24石899)	上ノ下 31.6	
120.7	577	7435.0 (41石216)	83.5	60.5	3582.2 (955貫255)	796	4500.2 (24石947)	上ノ下 32.4	
112.7	565	6941.6 (38石481)	83.5	59.6	3274.9 (873貫308)	791	4140.2 (22石951)	上ノ下 27.7	
123.9	573	7623.0 (42石258)	83.5	60.2	3647.3 (972貫615)	795	4587.8 (25石432)	上ノ下 29.8	
125.5	571	7143.9 (39石630)	83.5	60.5	3408.5 (908貫934)	788	4325.5 (23石978)	上ノ下 23.0	

順ニシテ之等ハ在來式除草ヨリモ何レモ二割以上收量多ク、除草器ノミ使用ノ第五  
.7分ノ増ヲ示セルモ除草器ノミノ使用ヨリモ手取ヲ混行スル法ヲ可トシ、第七區又

調査項目 試験ノ區別	穂揃期 月日	成熟期 月日	生育 日数	成 熟 時			穀	
				穂長	穂数	穂長	重 量	二ヶ年 平均重量
(1) 無 除 草 區	6. 8	7.12	179	93.8	16.9	19.1	4680.0 (1248貫002)	4114.5 (1097貫201)
(2) 本島在來手取二 回區	6. 9	7.14	181	105.5	18.4	18.9	4826.0 (1286貫935)	4654.0 (1241貫068)
(3) 本島在來手取三 回區	6. 9	7.14	181	101.7	18.6	19.8	4736.0 (1262貫935)	4761.7 (1269貫788)
(4) 八反取三回使用 區	6. 9	7.14	181	102.0	18.7	19.7	5168.0 (1378貫135)	4825.0 (1286貫668)
(5) 除草器三回使用 區	6. 9	7.14	181	99.3	18.9	19.4	4800.0 (1280貫002)	4790.7 (1277貫522)
(6) 一番二番除草器 使用區	6. 9	7.14	181	103.4	19.5	19.4	5338.0 (1423貫468)	4863.5 (1296貫935)
(7) 一番手取二、三 番除草器使用區	6. 9	7.14	181	108.5	20.2	19.8	5031.0 (1341貫602)	4891.5 (1304貫402)
(8) 一番除草器使用 二、三番手取區	6. 9	7.14	181	104.3	20.7	19.4	4972.5 (1326貫002)	4992.3 (1331貫282)
(9) 一、二番除草器 使用三番手取區	6. 9	7.14	181	113.1	22.5	19.1	4530.0 (1203貫002)	4625.0 (1233貫335)
(10) 一、三番除草器 使用二番手取區	6. 9	7.15	182	102.5	19.2	20.2	5120.5 (1365貫468)	4906.9 (1308貫508)
(11) 一、二、三番除草 器使用四番手取 區	6.10	7.15	182	101.8	20.8	19.2	4888.0 (1303貫468)	4991.6 (1331貫095)
(12) 一、三番除草器 使用二、四番手 取區	6.10	7.15	182	104.6	19.1	20.3	4976.5 (1327貫068)	5054.9 (1347貫975)

以上二ヶ年平均成績ニヨレバ其効果旭屋ニハアラザルモ方法並組合セ等概ネ旭ニ同

(一ヘクタール當)			穀摺歩合		玄 米 (一ヘクタール當)				穂首イモ チ發生率
指數	立重	容 量	重量	容量	重 量	立重	容 量	品質	
88.4	602	7774.1 (43石096)	83.5	62.5	3907.8 (1042貫081)	804	4860.4 (26石944)	上	1.1
100.0	585	8249.6 (45石732)	83.5	60.6	4029.7 (1074貫588)	806	4999.6 (27石715)	上	2.7
102.5	587	8063.1 (44石726)	82.5	60.5	3907.2 (1041貫921)	801	4877.9 (27石041)	上	5.5
103.7	589	8774.2 (48石640)	83.5	61.9	4315.3 (1150貫748)	795	5428.0 (30石090)	上	2.7
102.7	595	8067.2 (44石721)	83.5	61.7	4008.0 (1068貫801)	805	4978.9 (27石601)	上	3.9
104.5	587	9093.7 (50石411)	83.0	60.7	4430.5 (1181貫468)	803	5517.5 (30石586)	上	5.8
105.1	576	8734.4 (48石419)	83.5	60.3	4200.9 (1120貫241)	798	5264.3 (29石183)	上ノ下	3.6
107.3	584	8514.6 (47石201)	83.5	61.3	4152.0 (1107貫201)	796	5216.1 (28石915)	上ノ下	8.9
99.4	587	7717.2 (42石730)	82.5	60.7	3737.3 (996貫615)	798	4683.3 (25石962)	上ノ下	2.9
105.4	577	8874.3 (49石195)	83.5	61.1	4275.6 (1140貫161)	789	5419.0 (30石040)	上ノ下	6.3
107.3	568	8605.6 (47石705)	83.5	60.8	4081.5 (1088貫401)	780	5232.7 (29石007)	上ノ下	3.9
108.6	566	8792.4 (48石741)	82.5	58.9	4105.6 (1094貫828)	793	5177.3 (28石700)	上ノ下	2.4

シ。

第 二 旭

試験項目 試験ノ區別	穂揃期	成熟期	生育 日数	成 熟 時			収 穫	
				穂長	穂數	穂長	重 量	二ヶ年 平均重量
	月日	月日	日	穂	本	穂	重	重
(1) 無 除 草 區	9.16	10.18	98	77.5	20.1	16.3	2153.3 (574貫214)	1810.7 (482貫854)
(2) 本島在來手取二 回區	9.16	10.19	99	83.0	17.2	21.7	2913.3 (776貫381)	2768.0 (738貫134)
(3) 本島在來手取三 回區	9.17	10.19	99	84.5	22.8	17.7	2962.0 (789貫868)	2738.8 (730貫343)
(4) 八反取三回使用 區	9.16	10.19	99	84.1	22.6	17.9	3020.0 (805貫334)	2789.7 (743貫921)
(5) 除草器三回使用 區	9.17	10.19	99	83.5	19.4	17.7	3060.0 (816貫001)	2898.0 (772貫801)
(6) 一、二番除草器使 用區	9.17	10.19	99	84.7	22.6	17.3	3445.0 (918貫668)	3125.9 (833貫574)
(7) 一番手取二、三 番除草器使用區	9.17	10.19	99	78.8	21.2	16.2	3920.0 (1045貫335)	3254.4 (867貫841)
(8) 一番除草器使用 二、三番手取區	9.17	10.19	99	78.0	21.5	16.1	3528.7 (940貫938)	3173.3 (846貫214)
(9) 一、二番除草器 使用三番手取區	9.17	10.19	99	76.1	24.2	16.4	3306.7 (881貫787)	3010.4 (802貫774)
(10) 一、三番除草器 使用二番手取區	9.17	10.20	100	82.1	19.1	16.3	2765.0 (737貫334)	2667.2 (711貫254)
(11) 一、二、三番除 草器使用四番手取 區	9.17	10.20	100	76.3	21.6	15.9	2326.0 (753貫601)	2839.2 (757貫121)
(12) 一、三番除草器 使用二、四番手 取區	9.17	10.20	100	80.6	20.6	17.0	2971.0 (792貫268)	2902.3 (773貫948)

以上二ヶ年平均成績ニヨレバ第七區收量最モ多ク第八區、第六區、第五區、第九  
ノ多寡ニ據ルベキモ大體第七區、第六區、第八區ノ方法可ナル如シ。

期 作

播種期七月十二日移植期七月二十九日

試験ノ區別	(-ヘクタール當)		収 穫 歩 合		玄 米 (-ヘクタール當)			穂首イモ チ發生率		
	指數	立重	容 量	重量	容 量	重 量	立重		容 量	品質
	凡	立	立	%	%	凡	立	立	%	
(1) 無 除 草 區	65.4	581	3706.2 (20石545)	80.0	59.4	1722.4 (459貫307)	783	2200.1 (12石196)	中ノ上	0.6
(2) 本島在來手取二 回區	100.0	559	5211.6 (28石391)	80.0	58.2	2330.6 (621貫494)	768	3934.7 (16石823)	中ノ上	1.2
(3) 本島在來手取三 回區	93.9	564	5251.8 (29石113)	80.0	58.6	2369.6 (631貫894)	770	3077.4 (17石060)	上ノ下	0.9
(4) 八反取三回使用 區	100.8	562	5373.7 (29石789)	80.0	58.4	2416.0 (644貫267)	770	3137.7 (17石394)	上ノ下	0.6
(5) 除草器三回使用 區	104.7	572	5349.7 (29石656)	80.5	59.3	2463.3 (656貫831)	776	3174.4 (17石597)	中ノ上	1.2
(6) 一、二番除草器使 用區	112.9	577	5970.5 (33石097)	80.0	60.0	2756.0 (734貫934)	769	3583.9 (19石867)	中ノ上	0.5
(7) 一番手取二、三 番除草器使用區	117.6	573	6841.2 (37石924)	80.0	59.6	3136.0 (836貫268)	769	4078.0 (22石606)	中ノ上	1.7
(8) 一番除草器使用 二、三番手取區	114.6	577	6115.6 (33石902)	81.0	60.7	2858.3 (762貫214)	770	3712.0 (20石577)	上ノ下	2.2
(9) 一、二番除草器 使用三番手取區	108.8	580	5701.2 (31石605)	81.5	60.1	2695.0 (718貫668)	786	3428.7 (19石007)	上ノ下	1.3
(10) 一、三番除草器 使用二番手取區	96.4	563	4911.2 (27石225)	80.0	58.0	2212.0 (589貫867)	777	2846.8 (15石781)	上ノ下	0.7
(11) 一、二、三番除 草器使用四番手取 區	102.6	574	4923.3 (27石292)	80.0	59.4	2260.8 (602貫881)	773	2924.7 (16石213)	上ノ下	0.5
(12) 一、三番除草器 使用二、四番手 取區	104.9	583	5096.1 (28石250)	80.5	60.8	2391.7 (637貫787)	772	3093.0 (17石174)	上ノ下	0.8

區順次相亞ゲリ、要スルニ除草器ノ使用ハ在來手取法ニ優リ且ツ其ノ組合セハ雜草

穂

試験項目 試験ノ區別	穂揃期 月日	成熟期 月日	生育 日数	成熟時			収	
				穂長	穂数	穂長	重 量	二ヶ年 平均重量
(1) 無除草區	10. 8	11.15	150	116.1	11.8	21.9	3588.0 (956貫801)	2642.0 (704貫268)
(2) 本島在來手取二 回區	10. 9	11.16	151	123.9	12.2	21.9	3870.0 (1032貫001)	3244.8 (865貫281)
(3) 本島在來手取三 回區	10. 9	11.16	151	120.2	12.7	22.0	3953.0 (1054貫135)	3433.8 (915貫681)
(4) 八反取三回使用 區	10. 9	11.16	151	118.3	13.1	22.8	3540.0 (944貫001)	3090.4 (824貫103)
(5) 除草器三回使用 區	10. 9	11.16	151	122.7	13.5	22.9	4075.0 (1086貫668)	3056.2 (814貫983)
(6) 一、二番除草器 使用區	10. 9	11.16	151	119.9	12.9	22.9	3873.3 (1032貫881)	3342.1 (891貫228)
(7) 一番手取二、三 番除草器使用區	10. 9	11.16	151	128.5	11.1	22.5	4246.7 (1132貫455)	3499.8 (933貫281)
(8) 一番除草器使用 二、三番手取區	10. 9	11.16	151	126.7	12.6	23.0	3934.7 (1062貫588)	3321.0 (885貫601)
(9) 一、二番除草器 使用三番手取區	10. 9	11.16	151	125.8	12.3	23.8	4165.3 (1110貫748)	3477.5 (927貫334)
(10) 一、三番除草器 使用二番手取區	10. 9	11.16	151	123.3	12.7	22.1	4112.7 (1096貫721)	3478.1 (927貫494)
(11) 一、二、三番除草 器使用四番手取 區	10. 9	11.16	151	129.8	13.0	22.6	4005.0 (1068貫001)	3580.9 (954貫908)
(12) 一、三番除草器 使用二、四番手 取區	10. 9	11.16	151	136.2	12.1	22.6	3975.3 (1060貫081)	3418.6 (911貫468)

二ヶ年平均成績ニヨレバ第十一區最モ良ク第七區、第九區、第十區順序相亞グリ、

卵

播種期六月十八日移種期七月二十九日

(一ヘクタール當)			穂摺歩合		玄米 (一ヘクタール當)			穂首イモ チ發生率	
指數	立重	容 量	重量	容量	重 量	立重	容 量		品質
81.4	516	6053.5 (38石547)	81.5	54.3	2924.2 (779貫788)	774	3778.1 (20石944)	中ノ上	0
100.0	512	7558.6 (41石901)	81.0	53.6	3134.7 (835貫921)	774	4050.0 (22石451)	中ノ上	0
105.8	507	7796.8 (43石222)	82.0	54.8	3241.5 (864貫401)	759	4270.7 (23石675)	上ノ下	0
95.2	520	7051.8 (39石092)	82.0	53.4	2902.8 (774貫081)	771	3765.0 (20石871)	上ノ下	0.3
94.2	520	8117.5 (44石999)	81.0	53.1	3300.8 (880貫214)	766	4309.1 (23石887)	中ノ上	0.6
103.0	520	7448.7 (41石292)	82.0	55.4	3176.1 (846貫961)	770	4124.8 (22石866)	上ノ下	0
107.9	502	8459.6 (46石896)	81.0	52.9	3439.8 (917貫281)	769	4473.1 (24石797)	上ノ下	0
102.3	504	7906.2 (43石828)	82.0	53.7	3267.5 (871貫334)	769	4249.0 (23石554)	上ノ下	0
107.2	506	8231.2 (45石630)	81.0	53.4	3373.7 (999貫654)	768	4392.8 (24石351)	上ノ下	0
107.2	503	8176.3 (45石325)	79.5	51.3	3269.6 (871貫894)	780	4191.8 (23石237)	上ノ下	0
110.4	502	7978.1 (44石227)	80.3	52.2	3216.0 (857貫601)	772	4156.8 (23石093)	上ノ下	0
105.3	513	7749.1 (42石957)	82.0	54.1	3259.8 (869貫281)	777	4195.3 (23石257)	上ノ下	0

除草器ノ有効ナル事ハ前記旭ト同様ニテ其組合セ法モ大體旭同様ノ如シ。

(三) 水稻株出試験 (昭和七年ヨリ繼續)

目的 水稻第一期作株出栽培方法ノ如何ガ再生芽ノ生育収量及品質等ニ及ボス影響ヲ知ラムトス。

試験ノ區分

A. 刈株ノ高サト再生芽トノ關係

(イ) 供試品種

大阪旭、臺中六十五號

(ロ) 試験區分

(一) 地上二十糎刈株區

(二) 地上十五糎刈株區

(三) 地上十糎刈株區

(四) 地上五糎刈株區

(五) 地上三糎刈株區

(六) 地刈區

灌水ハ刈株後十五日間飽水状態ヲ保タシメ以後ハ普通ニ灌水ス。

(ハ) 區制

一區0.2「アール」二區制

試験成績ノ概況次ノ如シ

刈株ノ高低ト灌水ノ深淺度ニハ密接ナル關係アルハ言ヲ要セズ其ノ差大ナラザル程生育良好ニシテ収量多キ傾向ヲ示ス。而テ刈株ノ高キニ失スレバ生育不整ニシテ有効分蘗少ナク短穂ニシテ収量遞減シ、低キニ失スレバ過濕ノ爲メ催芽能力阻害セラレ腐敗株生ジ易シ、即チ本試験ニ於テ最適ト認メタル刈株ノ高サハ地上三乃至六糎ニシテ且飽水状態ナルトキ一層生育良好ニシテ収量多キモノ、如シ。

B. 刈取期ト生育トノ關係

(イ) 供試品種

大阪旭、伊豫仙石四號

(ロ) 試験區分

	刈取期	移植期	播種期	
			(大阪旭)	(仙石四號)
(一)	七月二十日	三月十一日	二月四日	一月十五日
(二)	七月三十一日	三月二十日	二月九日	一月二十日
(三)	八月五日	三月二十九日	二月二十三日	二月二日
(四)	八月十日	四月七日	三月七日	二月十六日

(ハ) 區制

一區0.2「アール」二區制

成績次ノ如シ

(大阪旭)

項目區分	出穂期 月日	成熟期 月日	稈長 cm	穂數 本	穂長 cm	一「ヘク」 「ダール」 當精粒重		指數	立重 kg	一「ヘク」 「ダール」 當精粒容		品質
						平均	平均			平均	平均	
(一)	9.18	10.22	73.9	13.3	15.8	1539.3	123.4	100.0	551	2793.6	上	
(二)	9.20	10.23	74.0	12.7	15.9	1421.1	193.1	91.0	548	2593.2	上下	
(三)	9.21	10.23	66.1	13.8	14.3	1649.8	1994.9	93.9	564	2925.1	上下	
(四)	9.23	10.24	62.6	12.6	14.0	1742.3	1703.7	80.2	567	3072.8	中上	

(伊豫仙石四號)

項目區分	出穂期 月日	成熟期 月日	稈長 cm	穂數 本	穂長 cm	一「ヘク」 「ダール」 當精粒重		指數	立重 kg	一「ヘク」 「ダール」 當精粒容		品質
						平均	平均			平均	平均	
(一)	9.19	10.23	84.8	11.1	18.1	1845.6	2411.6	100.0	514	3590.6	中上	
(二)	9.21	10.24	87.2	12.0	19.9	2278.1	2515.3	104.3	534	4263.1	上下	
(三)	9.22	10.24	80.4	11.6	18.9	2173.5	2275.5	94.4	535	4039.9	中上	
(四)	9.23	10.24	79.8	10.3	17.9	2016.0	1934.3	80.2	543	3712.7	上下	

前表ニ據レバ株出時期ハ早期ノモノ良好ナルモノ、如キモ晩稻伊豫仙石四號ハ二箇年平均ヨリ見ルニ第一區ノモノ稍良好ナリ、依而尙累ネテ試験セムトス。



C、除草方法ト生育トノ關係

(イ) 供試品種

大阪旭、臺中六十五號

(ロ) 試驗區分

- (一) 在來手取除草法區
- (二) 除草機使用區
- (三) 除草機及在來手取混用區
- (四) 除草機及手取法混用區

(ハ) 區制

一區0.2「アール」二區制

成績次ノ如シ

(大阪旭)

項目 區分	出穂期	成熟期	科長	穂數	穂長	一「ヘク タール」 當精穀重 量	二ヶ年 平均	指數	立重	一「ヘク タール」 當精穀容 量	品質
	月日	月日	穂本	穂本	穂本	斤	斤			立	
(一)	9.11	10.9	88.6	13.8	18.9	1116.5	2092.0	100.0	490	2276.5	中上
(二)	9.11	10.10	88.4	13.4	18.6	1022.4	1790.0	85.6	495	2064.6	中上
(三)	9.11	10.10	89.8	14.9	19.4	1557.8	2125.1	101.6	519	2417.8	中上
(四)	9.11	10.10	91.2	15.4	18.9	1608.2	2119.1	101.3	513	3123.8	中上

(臺中六十五號)

項目 區分	出穂期	成熟期	科長	穂數	穂長	一「ヘク タール」 當精穀重 量	二ヶ年 平均	指數	立重	一「ヘク タール」 當精穀容 量	品質
	月日	月日	穂本	穂本	穂本	斤	斤			立	
(一)	9.17	10.17	94.3	12.6	21.4	2882.8	3063.9	100.0	532	5407.5	中上
(二)	9.18	10.20	93.1	10.7	21.0	2259.0	2418.3	78.8	542	4169.6	中上
(三)	9.18	10.20	94.4	16.5	21.8	3661.6	3347.1	109.1	540	6775.6	中上
(四)	9.18	10.20	95.8	16.5	21.9	4320.9	3692.7	120.3	545	7929.1	中上

前表ヲ見ルニ兩品種共(三)及(四)ノ成績良好ニシテ(一)是ニ亞グ、(二)ノ成績良好ナラズ蓋シ(二)ハ除草機ヲ縱横自由ニ遂行シ得ル事困難ニシテ除草意ノ如クナラズ従而成績不良ニ終リタルナラン。尙累ネテ試験ス。

D、施肥ノ適量ト生育トノ關係

(イ) 供試品種

大阪旭、臺中六十五號

(ロ) 試驗區分

- (一) 無肥料區
- (二) 標準量七割五分減區
- (三) 同 五割減區
- (四) 標準量區
- (五) 同 五割増區
- (六) 同 七割五分増區
- (七) 同 倍量區

備考 施肥量ハ一「ヘクタール」當各要素量75斤トシ硫酸アンモニ  
ア、過磷酸石灰、硫酸加里ヲ使用各除草前ニ施用ス。

試驗成績ノ概況ハ次ノ如シ

施肥量ノ少ナキ程、且刈株ノ高キ程出穂不整一トナリ、收量、品質遞減ノ傾向アリ、從而三乃至六種刈ノモノニシテ五割乃至七割五分増内外ノ肥料ヲ施用セルモノ收量多キガ如キモ尙是ガ試験ヲ累ネテ其ガ正鵠ヲ決セムトス。

E、施肥ノ適期及施用率ト生育トノ關係

(イ) 供試品種

大阪旭、臺中六十五號

(ロ) 試驗區分

- (一) 收穫 七日前施與區
- (二) 同 直 後施與區
- (三) 同 一週間目施與區
- (四) 同 二週間目施與區
- (五) 同 三週間目施與區
- (六) 同 一週間前施與區
- (七) 同 直 後施與區
- (八) 同 十日後施與區
- (九) 同 二十日後施與區

施與量標準量

施與量標準量ノ倍量

備考 施與量、時期、種類等ハ(D)ニ準ズ。



成績 雑 次ノ如シ

(大阪旭)

項目 区分	出穂期	成熟期	科長	穂数	穂長	一ヘク 「ターレ」 當精粒重	二ヶ年 平均	指数	立重	一ヘク 「ターレ」 當精粒容	品質
	月日	月日	標	本	穂	標	標			立	
(一)	9.13	10.10	93.3	15.8	17.6	1626.3	1710.7	100.0	510	3184.3	中
(二)	9.15	10.11	92.6	14.7	17.9	1743.6	1778.1	103.9	521	3350.2	中上
(三)	9.16	10.12	90.2	13.6	19.0	1983.1	2024.1	118.3	541	3672.6	上下
(四)	9.16	10.15	90.4	17.1	18.5	2094.4	2472.2	144.5	522	4012.4	中上
(五)	9.15	10.15	90.2	12.7	19.1	2054.3	2532.2	148.0	546	3755.6	中上
(六)	9.17	10.14	90.9	14.8	18.1	1716.7	1907.1	111.5	512	3358.9	中
(七)	9.17	10.16	92.8	15.9	18.9	1660.4	1732.7	101.3	559	2991.3	中
(八)	9.19	10.15	97.3	16.0	19.1	2182.1	2426.0	141.8	499	4386.7	中
(九)	9.24	10.17	94.2	18.4	19.9	2704.3	2802.1	163.8	540	5007.9	上下

(臺中六十五號)

項目 区分	出穂期	成熟期	科長	穂数	穂長	一ヘク 「ターレ」 當精粒重	二ヶ年 平均	指数	立重	一ヘク 「ターレ」 當精粒容	品質
	月日	月日	標	本	穂	標	標			立	
(一)	9.21	10.23	95.1	15.7	19.3	2657.2	2138.6	100.9	557	4770.8	上下
(二)	9.22	10.24	92.3	14.8	19.8	2493.9	2059.5	96.3	561	4284.8	中上
(三)	9.22	10.25	93.5	16.4	18.9	2477.4	2254.9	105.4	562	4408.0	上下
(四)	9.23	10.26	91.7	15.5	20.1	2317.5	2405.0	112.5	567	4969.0	中
(五)	9.22	10.26	88.2	14.8	20.0	2587.5	2473.7	115.7	564	4588.4	中上
(六)	9.24	10.26	97.5	17.2	20.2	2668.9	2183.2	102.1	561	4757.3	中上
(七)	9.24	10.27	98.9	17.6	20.0	2910.0	2490.0	116.4	554	5250.0	中下
(九)	9.25	10.27	92.6	15.3	20.0	2510.9	2681.7	125.4	553	4506.2	中
(八)	9.27	10.27	87.8	15.4	19.6	2310.9	2560.4	119.7	559	4140.6	中下

前表ヲ觀ルニ施肥期ノ遅ル、ニ從ヒ尙多肥栽培ニツレ熟期遅ル、ノ傾向アルモ多肥ノモノ概シテ出穂整一ニシテ收量稍々多キガ如ク而テ兩品種共施肥ハ急グノ要ナク、又大阪旭ハ株出ニ於テハ概シテ施肥量多クトモ効果顯著ナラザルガ如キモ臺中六十五號ハ施肥量ノ多キヲ望ムガ如シ、累ネテ試験ヲ行ハントス。

- 以上本年度並ニ前年度ニ於テ施行シタル株出試験ノ結果ヲ要約スレバ次ノ如シ。
- (一) 刈株ノ高サハ地上三乃至六繩ニシテ且飽水状態或ハ三繩位ノ潜水程度ナルトキ結果良好ナルガ如シ。
  - (二) 株出時期ハ概シテ早期ノモノ良好ナルモノ、如シ。
  - (三) 除草ハ手取及除草機混用ノモノ良好ナリ。
  - (四) 施肥期ハ早キヲ要セズ施肥量ハ多キヲ可トスルモ過用ハ寧ロ減收ス。

### 三 品種改良ニ關スル試験

#### (一) 品種試験

##### A. 内地種品種比較試験

目的 品種豫備試験ノ結果有望ト認メタルモノニツキ更ニ試作ヲ繼續シ生育ノ良否收量ノ多少ハ勿論病虫害其ノ他ニ對スル抵抗力強ク州下ノ氣候風土ニ適應スル優良品種ヲ決定セムトスルニアリ。

#### 供試品種

- 第一期作 四十六品種
- 第二期作 四十六品種

#### 試験ノ區別及區制

- 第一、二期作共 三十二品種0.3「ターレ」三區制
- 十四品種0.2「ターレ」二區制

方法 供試品種ハ中央研究所農業部嘉義支所及臺北帝大作物學教室ノ育成セルモノニシテ之レニ當場ニ於ケル既往ノ試験成績比較的良好ナルモノヲ加ヘ試験セリ。

成績 次ノ如シ

第 一 其

調査項目 品 種 名	穂揃期 月 日	成熟期 月 日	成 熟 時			収 穫 (一ヘク)	
			穂長	穂數	穂長	重 量	累年平均重量
臺農一號	6. 2	7.13	106.3	21.3	20.1	3776.5 (1007貫664)	(1) 3776.5 (1007貫664)
臺農二號	6. 3	7.11	92.2	20.1	19.5	4278.1 (1140貫824)	(1) 4278.1 (1140貫824)
臺農三號	6. 3	7.10	87.3	22.5	17.8	4525.8 (1206貫877)	(1) 4525.8 (1206貫877)
臺農五號	6. 4	7. 9	91.5	19.5	18.9	4261.5 (1136貫397)	(1) 4261.5 (1136貫397)
臺農七號	6. 3	7.12	90.3	20.0	18.7	4186.3 (1116貫344)	(1) 4186.3 (1116貫344)
臺農九號	6. 2	7.11	104.1	20.4	20.0	3551.7 (947貫118)	(1) 3551.7 (947貫118)
臺農十號	6. 4	7.11	95.6	21.6	18.8	4243.1 (1131貫491)	(1) 4243.1 (1131貫491)
臺農十一號	6. 7	7.12	95.9	20.0	20.3	4614.6 (1230貫557)	(2) 4977.4 (1327貫304)
臺農十二號	6.13	7.22	95.9	19.4	19.8	4328.7 (1154貫317)	(2) 4560.6 (1216貫157)
臺農十三號	6. 9	7.15	103.5	18.4	21.0	4534.2 (1209貫117)	(2) 4698.6 (1252貫957)
臺農十四號	6. 8	7.17	103.8	17.4	19.7	4748.6 (1266貫290)	(2) 5110.7 (1362貫850)
臺農十五號	6. 5	7.14	93.2	19.8	22.0	4703.8 (1254貫344)	(2) 4885.1 (1302貫690)
臺農十六號	6.11	7.23	91.3	20.7	20.2	4659.5 (1242貫539)	(2) 4859.5 (1295貫863)
臺農十七號	6. 7	7.17	95.4	19.1	19.9	4339.1 (1170貫424)	(2) 4668.3 (1244貫877)
臺農十八號	6. 8	7.21	99.5	17.5	21.6	4524.9 (1206貫537)	(2) 4758.5 (1268貫930)
臺農十九號	6.11	7.22	96.0	21.5	20.3	4212.2 (1123貫251)	(2) 4620.0 (1231貫997)
臺農二十號	6. 5	7.11	103.3	18.9	21.2	4309.4 (1147貫037)	(2) 4538.7 (1223貫650)

期 作

播種期一月十日移植期三月七日

タール當		糶摺歩合		支 米 (一ヘクタール當)			一ヘクタール當 糶重	穂首イモ 子發生率
立重	容 量	重量	容量	重 量	立 重	容 量		
528	7154.6 (39石662)	80.5	54.0	3030.6 (808貫158)	787	3853.5 (21石362)	上下	4262.5 16.4
545	7851.8 (43石527)	83.2	57.1	3557.3 (948貫611)	794	4482.5 (24石849)	上下	3850.0 14.4
554	8172.9 (45石305)	83.3	57.5	3767.5 (1004貫664)	802	4697.0 (26石038)	上	3987.5 3.8
544	7831.4 (34石413)	82.6	56.4	3520.6 (938貫824)	797	4417.0 (24石486)	上	4087.5 11.1
545	7684.7 (42石600)	83.4	56.9	3489.7 (930貫584)	793	4373.7 (24石246)	上	4337.5 18.9
547	6497.4 (36石018)	80.6	55.4	2854.5 (761貫198)	796	3587.3 (19石886)	上	4275.0 21.7
518	8191.1 (45石407)	82.9	54.6	3515.4 (937貫433)	785	4479.4 (24石832)	上下	4925.0 8.8
562	8214.6 (44石638)	84.6	59.4	3900.1 (1040貫024)	799	4882.3 (26石165)	上下	5250.5 4.1
562	7701.5 (41石793)	82.2	53.4	3558.2 (948貫851)	791	4497.7 (24石033)	上下	5500.0 1.6
557	8255.9 (45石867)	83.4	57.5	3779.8 (1007貫944)	793	4768.0 (26石531)	中上	4750.0 5.0
543	8757.5 (47石647)	83.5	56.9	3968.3 (1057貫011)	796	4984.4 (26石731)	上下	5925.0 4.1
552	8529.2 (47石382)	83.1	57.3	3909.9 (1024貫637)	801	4885.2 (27石181)	上	5250.0 4.1
537	8689.1 (48石268)	82.9	55.8	3860.3 (1029貫411)	796	4849.5 (26石983)	上	5275.0 3.1
574	7654.6 (42石633)	83.5	59.6	3663.3 (976貫878)	803	4561.7 (25石338)	上下	5475.0 7.8
555	8165.8 (45石367)	83.1	57.8	3760.7 (1002貫851)	797	4717.6 (26石252)	上下	5375.0 10.0
558	7550.8 (41石958)	84.1	59.2	3542.4 (944貫633)	793	4469.9 (23石378)	上下	5175.0 3.7
573	7499.7 (41石675)	83.6	60.8	3593.2 (959貫784)	789	4559.6 (25石376)	上下	5708.0 6.4

調査項目 品 種 名	穂揃期 月 日	成熟期 月 日	成 熟 時			穀 (一ヘク)	
			穂長	穂數	穂長	重 量	累年平均重量
臺農二十一號	6. 6	7.14	99.2	19.4	20.2	4343.4 (2) (1153貫237)	4101.7 (1241貫810)
臺農二十二號	6.11	7.20	108.3	21.0	20.6	4316.8 (2) (1151貫144)	4889.2 (1303貫783)
臺農二十三號	6. 7	7.17	95.6	18.7	21.1	4186.5 (2) (1116貫397)	4641.6 (1237貫757)
臺農二十四號	6. 9	7.18	100.1	19.5	20.6	3964.1 (2) (1056貫371)	4353.3 (1160貫877)
臺農二十五號	6.11	7.19	100.2	20.3	20.5	4263.1 (2) (1136貫842)	4750.3 (1266貫743)
大作一號	6. 6	7.17	99.6	21.6	20.7	4157.9 (2) (1108貫771)	4737.9 (1263貫437)
大作二號	6. 4	7.15	102.3	17.7	21.8	4219.7 (2) (1125貫251)	4819.6 (1285貫223)
大作三號	6. 8	7.18	106.6	19.5	21.0	4143.3 (2) (1104貫877)	4775.5 (1273貫463)
大作四號	6. 5	7.19	107.6	20.7	20.2	4145.6 (2) (1105貫491)	4725.7 (1260貫184)
大作五號	5.31	7. 8	94.7	17.0	20.6	3923.9 (2) (1046貫371)	4560.2 (1216貫050)
大作六號	6.10	7.18	103.9	20.0	21.7	4050.6 (2) (1080貫157)	4610.0 (1229貫330)
仙石四號	5.31	7. 7	96.3	17.6	21.6	4249.9 (6) (1133貫303)	3758.4 (1002貫237)
豊穂一號	6. 5	7.12	91.5	22.1	21.1	3733.3 (5) (995貫544)	4304.2 (1148貫317)
臺中六五號	6. 1	7.16	100.6	17.8	19.2	4579.8 (4) (1221貫037)	4792.0 (1277貫863)
岩手豊國一號	5.24	6.30	114.8	15.9	19.9	3068.0 (8) (818貫131)	3665.1 (977貫356)

累年平均中( )内ノ數字ハ試験年數ヲ示ス。

上記ノ成績ニヨリ收量ニ於テ本年度ハ臺農十四號、臺農十五號ヨク、臺農十六號臺十二號、臺農十五號、臺農十六號之レニ亞グ、品質ニアリテハ、臺農三號、臺農五

タール當)		穀摺歩合		支 米 (一ヘクタール當)				一ヘクタール 米重	穂首イモ チ發生率
立重	容 量	重量	容量	重 量	立重	容 量	品質		
582	7460.2 (41石456)	84.1	60.6	3650.6 (973貫491)	808	4519.7 (25石155)	上下	5591.7	3.8
556	7757.9 (43石106)	82.8	57.4	3673.6 (979貫624)	802	4456.9 (24石807)	上下	6183.3	1.0
558	7491.9 (41石631)	83.8	60.8	3509.5 (935貫864)	770	4567.2 (25石818)	上下	5200.0	1.9
558	7102.8 (39石474)	82.9	57.5	3287.7 (876貫718)	804	4083.4 (22石736)	上下	5408.3	2.5
550	7746.3 (43石042)	82.9	57.1	3842.1 (1024貫557)	799	4423.4 (24石621)	中上	6225.0	1.0
538	7746.0 (42石940)	82.4	55.5	3427.6 (914貫024)	798	4293.4 (23石801)	上	4587.5	7.7
557	7563.1 (42石053)	82.8	58.0	3493.3 (931貫544)	794	4402.0 (24石503)	上下	5241.7	6.4
550	7535.6 (41石874)	83.4	57.2	3454.4 (921貫171)	802	4309.9 (23石992)	上	5266.7	2.3
535	7082.8 (39石364)	83.4	61.0	3457.9 (922貫104)	800	4325.1 (24石076)	上下	5433.3	2.9
558	7021.6 (39石024)	82.1	58.0	3634.8 (969貫778)	790	4075.7 (22石694)	上下	3962.5	14.8
551	7357.2 (40石885)	83.4	59.1	3378.1 (900貫824)	777	4348.8 (24石208)	上下	4908.3	2.0
547	7745.3 (42石936)	81.8	56.9	3248.4 (866貫238)	793	4413.5 (24石466)	上下	4150.0	14.6
518	7205.1 (39石941)	82.3	54.2	3073.9 (819貫705)	787	3905.9 (21石652)	中上	4300.0	24.2
576	7957.3 (44石111)	82.9	59.0	3794.6 (1011貫891)	808	4697.8 (26石042)	上	4441.7	9.2
496	6195.9 (34石348)	78.2	48.7	2396.7 (639貫118)	778	3084.5 (17石099)	中下	4091.6	47.8

農十一號之レニ亞ギ、二ケ年平均ニ於テハ、臺農十四號、臺農十一號ヨク、臺農二號、臺農七號、臺農九號、臺農十五號、臺農十六號等良好ナリ。

其

調査項目 品 種 名	成熟期		成 熟 時			穀 (一ヘク)	
	穂揃期	成熟期	科長	穂數	穂長	重 量	累年平均重量
	月 日	月 日	本	本	本	本	本
比 較 旭	5.30	7.9	94.3	24.2	19.1	4663.3 (1243貫544)	...
新 竹 愛 國	5.26	7.2	99.8	21.9	17.1	3861.6 (1) (1029貫757)	3861.6 (1029貫757)
陸 羽 一 三 二 號	5.27	7.2	101.6	22.4	16.8	3546.2 (1) (945貫651)	3546.2 (945貫651)
三 井	6.4	7.14	94.9	23.2	19.0	4541.4 (1) (1211貫037)	4541.4 (1211貫037)
岩 手 龜 ノ 尾	5.28	7.3	114.1	18.9	18.0	2638.8 (8) (708貫678)	3338.9 (890貫371)
鹿 兒 島 晚 生 旭	6.3	7.11	91.3	24.5	19.9	4192.3 (8) (1117貫944)	3751.7 (1000貫451)
大 阪 旭	5.29	7.10	93.6	24.2	19.3	4662.3 (8) (1243貫277)	4075.5 (1086貫797)
晚 生 旭	6.2	7.11	92.8	29.2	20.1	3968.2 (5) (1058貫184)	3661.3 (976貫342)
畿 内 晚 稻 二 二 號	5.29	7.6	95.5	26.3	17.6	4083.6 (7) (1088貫957)	4120.3 (1093貫744)
青 選	5.26	7.4	95.2	22.8	18.7	2624.0 (5) (699貫732)	3669.8 (978貫611)
臺 北 六 八 號	5.30	7.7	107.8	24.9	18.1	4190.5 (5) (1117貫464)	3996.7 (1065貫784)
九 州 八 號	5.29	7.7	92.5	22.3	18.8	4058.6 (8) (1082貫291)	3885.1 (1036貫024)
晚 三 三 號	5.29	7.6	86.3	28.1	18.5	2945.2 (8) (785貫385)	3467.8 (924貫744)
晚 一 七 號	6.1	7.9	87.0	24.2	18.8	3871.6 (8) (1032貫424)	3839.4 (1023貫837)
三 井 六 九 號	5.31	7.10	94.3	23.8	18.8	4590.3 (3) (1224貫077)	4643.2 (1238貫184)

累年平均中( )内ノ數字ハ試驗年數ヲ示ス。

上記ノ成績ニヨリ大阪旭收量最モ多ク三井六九號、三井、之レニ亞ギ、累年平均ニ三井六九號、晚一七號、三井最モ良好ナリ。

二

播種期二月一日移植期三月十五日

品 種 名	穀 (一ヘクタール當)		稲摺歩合		玄 米 (一ヘクタール當)			一ヘクタール當 一ノ糞重	穂首イモ チ發生率	
	立重	容 量	重量	容量	重 量	立重	容 量			品質
	kg	立	%	%	kg	kg	立			
530	8798.7 (48石776)	79.6	55.0	3712.0 (989貫864)	767	4839.6 (26石283)	上	4575.0	7.8	
450	8584.9 (47石590)	71.0	42.7	2740.6 (730貫825)	749	3659.1 (20石284)	中上	4175.0	13.5	
435	8159.2 (45石231)	68.6	41.5	2735.0 (649貫332)	718	3388.3 (18石783)	中上	4275.0	12.0	
552	8251.2 (45石741)	83.3	58.0	3782.1 (1008貫557)	793	4771.6 (26石451)	上	5282.5	2.1	
420	6295.1 (34石897)	66.1	38.4	1744.2 (465貫119)	725	2407.3 (13石345)	中	4500.0	27.2	
522	8041.7 (44石579)	80.1	53.3	3355.8 (894貫878)	784	4280.6 (23石730)	上下	5050.0	6.8	
522	8944.4 (49石583)	77.5	53.1	3613.5 (963貫598)	763	4740.0 (26石276)	上	4887.5	10.4	
524	7579.0 (42石014)	80.7	53.5	3203.2 (854貫185)	790	4055.8 (22石483)	上	4700.0	10.3	
492	8299.5 (46石563)	76.4	49.2	3117.5 (831貫331)	764	4080.5 (22石620)	上下	4475.0	11.3	
510	5156.2 (28石583)	77.0	52.0	2020.5 (538貫799)	756	2678.0 (14石845)	上	3600.0	28.5	
489	8586.2 (47石598)	76.9	49.3	3229.9 (861貫305)	762	4241.7 (23石514)	中上	4500.0	3.4	
525	7730.4 (42石853)	81.1	55.5	3292.5 (877貫998)	767	4292.8 (23石797)	上	4412.5	9.9	
508	5793.7 (32石117)	78.7	52.2	2319.9 (618貫638)	766	3028.3 (16石787)	上下	3975.0	26.9	
541	7148.5 (39石628)	76.8	52.7	2978.1 (794貫158)	789	3772.5 (20石915)	上	4175.0	8.4	
542	8475.5 (46石984)	80.8	55.8	3705.1 (988貫024)	784	4728.9 (26石215)	上	4650.0	4.7	

於テ三井六九號、畿内晚稻二二號ヨク大阪旭之レニ亞ギ、品質ニアリテハ大阪旭、

第 二 其

調查項目 品 種 名	穗抽期 月 日	成熟期 月 日	成 熟 時			穀 (一ヘク)	
			稈長	穗數	穗長	重 量	累年平均重量
臺農一號	9.30	11.2	106.7	23.0	20.4	3587.2 (956貫584)	(2) 3414.3 (910貫478)
臺農二號	10.1	11.10	90.2	21.5	19.1	3446.9 (919貫171)	(2) 3459.5 (922貫531)
臺農三號	10.5	11.13	85.3	30.2	17.8	3619.5 (965貫193)	(2) 3438.7 (916貫984)
臺農五號	10.6	11.13	89.7	25.5	18.0	3470.0 (925貫331)	(2) 3415.6 (910貫824)
臺農七號	10.4	11.12	90.4	21.9	18.5	3388.9 (903貫704)	(2) 3364.5 (897貫193)
臺農九號	10.2	11.11	106.9	23.6	19.7	3490.2 (903貫718)	(2) 3463.1 (923貫491)
臺農十號	10.5	11.13	90.6	25.3	18.3	3406.8 (903貫478)	(2) 3474.8 (926貫611)
臺農十一號	9.30	11.10	88.8	20.3	18.3	3951.4 (920貫371)	(2) 2999.2 (799貫785)
臺農十二號	10.7	11.13	90.1	22.6	18.0	3171.7 (845貫785)	(2) 3027.8 (807貫411)
臺農十三號	9.29	11.9	98.2	16.7	18.7	3199.7 (853貫251)	(2) 3019.0 (805貫065)
臺農十四號	9.29	11.10	96.2	17.6	18.3	3670.7 (978貫351)	(2) 2959.8 (789貫278)
臺農十五號	10.5	11.13	86.5	22.4	18.9	3184.3 (849貫145)	(2) 3156.9 (841貫538)
臺農十六號	10.6	11.13	86.7	21.3	18.9	3352.0 (893貫364)	(2) 3182.1 (843貫558)
臺農十七號	9.30	11.9	92.0	18.5	18.4	2199.4 (853貫171)	(2) 3036.4 (809貫705)
臺農十八號	10.1	11.10	95.1	18.9	19.6	3362.8 (898貫184)	(2) 3161.2 (842貫985)
臺農十九號	10.6	11.12	87.4	22.5	17.7	3334.9 (889貫304)	(2) 2979.4 (794貫505)
臺農二十號	9.28	11.8	104.0	19.1	20.1	3484.4 (929貫171)	(2) 3233.2 (862貫185)

期 作

播種期七月十五日移植期七月二十八日

タール當	穀摺歩合		支 米 (一ヘクタール當)				一ヘクタール ノ 稈重	穂首イモ ノ 發生率	
	立重	容 量	重量	容量	重 量	立重			容 量
553	6484.0 (35石944)	83.1	59.8	2931.9 (795貫171)	768	3880.0 (21石509)	上下	5908.3	1.6
571	6042.5 (33石497)	83.8	61.8	2377.7 (767貫385)	783	3731.7 (20石687)	上	4508.3	2.4
558	6492.2 (35石990)	81.8	58.9	2959.2 (789貫118)	775	3826.8 (21石214)	上下	4651.7	0.7
559	6208.0 (34石414)	83.3	60.7	2891.5 (795貫065)	767	3765.6 (20石875)	上下	5483.3	0.7
577	5874.0 (32石563)	83.3	62.0	2822.2 (752貫585)	775	3640.3 (20石180)	上下	4691.6	0.8
558	6251.5 (34石655)	82.8	60.1	2890.1 (770貫691)	769	3756.8 (20石826)	上下	5766.7	0.9
562	6061.5 (33石602)	83.5	61.2	2844.9 (758貫633)	767	3707.7 (20石544)	上下	5291.7	0.7
581	5936.7 (32石910)	84.0	62.0	2899.6 (773貫225)	788	3680.7 (20石404)	中上	5041.7	0.8
575	5513.9 (30石566)	82.4	62.5	2615.4 (697貫433)	766	3409.6 (18石901)	上下	5141.7	1.3
569	5617.8 (31石142)	83.6	61.2	2675.1 (713貫358)	778	3439.7 (19石068)	上	5291.7	1.3
573	6410.5 (35石357)	82.8	61.4	3045.0 (811貫998)	773	3941.4 (21石349)	中上	5025.0	1.5
567	5702.5 (31石612)	83.0	60.0	2643.9 (705貫038)	773	3423.0 (18石975)	上下	4675.0	0.4
567	5924.9 (32石845)	82.0	60.4	2747.8 (732貫745)	768	3577.5 (19石832)	上	4725.0	1.1
581	5508.3 (30石535)	81.8	61.1	2618.1 (698貫158)	778	3367.3 (18石667)	上下	4675.0	1.8
566	5937.7 (32石916)	82.8	60.5	2735.5 (742貫798)	775	3593.1 (19石918)	上下	5125.0	1.0
574	5810.7 (32石212)	84.5	63.2	2819.0 (751貫731)	768	3674.4 (20石309)	上下	5000.0	1.7
580	6004.8 (33石288)	83.7	61.0	2915.3 (777貫411)	778	3665.9 (20石322)	中上	5417.0	0.7

調査項目 品 種 名	穂摘期 成熟期		成 熟 時			穀 (一ヘク)	
	月 日	月 日	稈長	穂數	穂長	重 量	累年平均重量
臺農二十一號	9.30	11.10	96.9	21.9	17.9	2968.5 (2) (791貫598)	2918.0 (778貫131)
臺農二十二號	10.2	11.9	97.3	19.9	19.2	3081.6 (2) (821貫758)	3130.1 (834貫691)
臺農二十三號	9.30	11.7	93.7	21.9	19.6	3239.9 (2) (863貫971)	2983.3 (795貫545)
臺農二十四號	10.1	11.8	92.0	20.3	19.3	3338.5 (2) (890貫264)	3076.3 (820貫845)
臺農二十五號	9.30	11.7	94.1	19.9	19.1	3363.5 (2) (870貫264)	3168.7 (844貫985)
大作一號	10.4	11.11	95.2	22.1	19.7	3511.8 (2) (936貫478)	3228.0 (860貫798)
大作二號	9.29	11.8	93.6	18.7	19.9	3261.9 (2) (889貫833)	3084.0 (822貫398)
大作三號	10.1	11.9	93.6	18.7	19.4	3187.8 (2) (850貫079)	3166.4 (844貫371)
大作四號	10.1	11.12	94.8	21.2	18.2	3264.1 (2) (870貫424)	3120.3 (832貫078)
大作五號	9.27	11.7	93.4	16.4	19.8	3357.3 (2) (895貫278)	3102.3 (827貫278)
大作六號	10.1	11.9	95.3	19.4	19.7	3323.4 (2) (886貫283)	3259.5 (869貫198)
岩手豊國一號	9.21	10.27	109.7	16.3	19.4	2952.7 (3) (787貫385)	3143.6 (838貫291)
仙石四號	9.29	11.9	98.1	15.7	20.3	3821.3 (7) (1010貫101)	3679.1 (981貫091)
豊 穂 一 號	9.22	10.27	91.2	20.0	18.8	2365.0 (5) (763貫998)	3376.4 (900貫371)
臺中六五號	10.4	11.12	99.1	18.9	19.0	3881.2 (3) (1034貫984)	3608.2 (962貫184)

累年平均中( )内ノ數字ハ試驗年數ヲ示ス。

上記ノ成績ニ於テ收量ニテ臺農十一號、臺中六十五號、伊豫仙石四號多ク臺農十四號、臺農九號、臺農二號之ニ亞グ、品質ハ臺農二號、臺農二十二號、臺農十六號、

品 種 名	マール當		収摺歩合		支 米 (一ヘクタール當)				一ヘクタール當重	穂首イモチ發生率
	立重	容 量	重量	容量	重 量	立重	容 量	品質		
587	5055.5 (28石025)	83.5	64.0	2478.8 (661貫012)	766	3236.6 (17石942)	上	5408.8	0.9	
573	5375.9 (29石801)	80.3	61.7	2557.6 (682貫025)	771	3315.0 (18石378)	上	4750.0	2.0	
561	5779.3 (32石033)	83.2	61.0	2694.6 (718貫558)	765	3522.9 (19石523)	中	4675.0	1.5	
560	5957.2 (33石025)	82.7	59.7	2759.6 (735貫891)	776	3555.0 (19石707)	上下	4750.0	1.8	
561	5997.8 (33石249)	82.3	60.0	2768.6 (738貫291)	769	3598.5 (19石948)	中上	5133.0	1.9	
554	6352.8 (35石217)	83.0	60.3	2912.4 (776貫638)	762	3830.4 (21石178)	上下	5433.3	2.0	
563	5787.6 (32石084)	83.2	60.3	2711.7 (723貫118)	777	3490.5 (19石350)	上下	4841.7	0.9	
563	5606.6 (31石080)	82.8	60.4	2641.1 (704貫292)	780	3384.4 (18石761)	上下	4633.0	0.7	
578	5651.0 (31石326)	83.5	62.5	2725.7 (726貫852)	774	3529.7 (19石567)	上下	5458.3	0.7	
563	6025.5 (33石402)	83.0	60.5	2786.0 (716貫265)	765	3643.3 (20石197)	中上	4933.3	3.5	
566	5889.8 (32石650)	83.0	61.2	2759.8 (735貫945)	767	3602.4 (19石970)	中	4825.0	1.0	
556	5917.6 (29石478)	83.0	59.6	2451.3 (653貫678)	774	3173.5 (17石592)	中上	5268.0	1.4	
561	6815.6 (37石827)	83.2	60.0	3177.9 (847貫438)	777	4090.1 (22石673)	中上	5000.0	1.6	
529	4869.6 (26石995)	82.3	63.7	2353.6 (627貫625)	754	3118.3 (17石253)	中	5062.5	10.6	
581	6684.4 (37石055)	83.5	62.9	3241.0 (864貫265)	771	4183.1 (23石189)	中上	5833.3	0.5	

號臺農三號之レニ亞ギ、累年平均ニ於テ伊豫仙石四號、臺中六十五號多ク、臺農十號、臺農二十一號良好ナリ。

其

調査項目 品 種 名	穂揃期 月 日	成熟期 月 日	成 熟 時			収 穫 (一ヘク)	
			穂長	穂數	穂長	重 量	累年平均重量
比 較 旭	9.18	10.24	81.4	23.5	16.6	3884.8 (1035貫944)	3470.3 (925貫411)
大 阪 旭	9.17	10.24	82.7	22.1	16.9	3695.3 (985貫411)	3344.8 (891貫944)
青 選	9.17	10.23	92.3	21.6	17.7	3915.4 (1044貫104)	3644.4 (971貫838)
九 州 八 號	9.18	10.26	84.9	22.3	18.2	3550.6 (946貫924)	3519.4 (938貫504)
岩 手 龜 ノ 尾	9.19	10.25	108.7	16.6	19.5	3427.3 (913貫944)	3413.5 (910貫264)
三 井 六 九 號	9.18	10.24	83.4	19.0	17.0	3467.8 (924貫744)	2710.0 (722貫665)
晚 一 七 號	9.20	10.26	86.5	26.8	17.9	3330.4 (1021貫437)	3623.3 (966貫211)
鹿 兒 島 晚 生 旭	9.21	10.26	89.8	22.3	18.0	3780.7 (1078貫184)	3457.3 (921貫944)
晚 生 旭	9.20	10.25	83.9	27.2	16.9	4222.8 (1126貫077)	3733.1 (995貫491)
畿 内 晚 稻 二 二 號	9.21	10.27	91.0	19.0	18.3	3792.8 (1011貫411)	3591.2 (957貫651)
臺 北 六 八 號	9.19	10.25	103.6	21.7	19.2	3907.8 (1042貫077)	3549.7 (946貫534)
晚 三 三 號	9.18	10.24	83.1	26.4	17.3	3620.7 (965貫518)	3342.9 (891貫438)
三 井	9.21	10.26	88.8	20.1	18.0	3580.0 (954貫664)	3229.4 (861貫171)
新 竹 愛 國	9.15	10.22	94.8	18.9	17.6	2835.4 (756貫105)	2572.4 (685貫972)
陸 羽 一 三 二 號	9.15	10.22	95.8	18.7	17.4	2878.8 (767貫971)	2954.9 (787貫971)

累年平均中( )内ノ數字ハ試験年數ヲ示ス。

上記ノ成績ニ於テ收量ニテハ晚生旭多ク、青選、臺北六十八號、晚一七號之レニ亞  
品質ハ大阪旭、青選、三井六九號、晚一七號、晚生旭、畿内晚稻二十二號、三井等

二

播種期七月十六日移植期七月二十九日

タール當	立重	容量	総播歩合		玄 米 (一ヘクタール當)			一ヘクタール當 重	穂首イモ チ發生率	
			重量	容量	重 量	立重	容 量			品質
551	7050.7 (39石084)		81.0	56.5	3146.7 (839貫118)	790	3938.1 (21石831)	上	4900.0	1.4
551	6708.8 (37石190)		81.6	57.1	3516.0 (937貫592)	789	3824.7 (21石202)	上	4665.0	1.6
542	7239.0 (40石080)		78.2	54.0	3051.7 (813貫785)	784	3895.6 (21石595)	上	3225.0	2.4
556	6385.9 (35石400)		81.8	57.9	2903.4 (774貫233)	786	3693.8 (20石477)	上下	4687.5	2.6
502	6825.9 (37石839)		80.3	51.5	2751.4 (910貫264)	782	3519.3 (19石509)	中	4750.0	2.5
556	6081.4 (33石712)		79.5	56.9	2758.3 (735貫545)	790	3491.2 (19石353)	上	4150.0	1.1
520	7371.4 (40石863)		79.6	52.7	3052.0 (813貫865)	786	3384.3 (21石533)	上	4350.0	1.4
519	7305.5 (40石498)		81.3	53.7	3072.5 (819貫331)	785	3915.3 (21石705)	中上	4473.0	2.6
548	7692.7 (42石645)		80.1	55.4	3334.2 (902貫451)	793	4263.3 (24石742)	上	4475.0	0.9
543	6990.0 (38石749)		79.5	54.7	3016.0 (804貫265)	789	3825.7 (21石208)	上	3212.5	0.7
534	7317.6 (40石565)		81.6	55.1	3189.9 (850貫638)	792	4029.8 (22石339)	上下	4950.0	2.3
539	6723.7 (37石273)		80.7	54.6	2922.4 (779貫305)	797	3667.7 (20石332)	上下	4000.0	1.5
553	6474.5 (35石891)		81.2	56.4	2904.7 (774貫585)	798	3642.6 (20石193)	上	4347.5	2.1
516	5496.7 (30石471)		80.3	52.5	2276.1 (606貫958)	789	2887.0 (16石004)	上下	4862.5	3.3
522	5515.8 (30石577)		82.0	54.7	2363.6 (630貫292)	782	3023.9 (16石763)	上下	3962.5	3.3

ギ累年平均ニ於テハ晚生旭多ク、青選、晚一七號、畿内晚稻二十二號之レニ亞グ、  
良好ナリ。



B、内地種品種豫備試験

目的 内地其ノ他州外ヨリ廣ク内地種各品種ヲ蒐集シ、生育ノ良否、收量、品質病虫害ノ抵抗性等ノ如何ヲ試査シ、以テ品種試験ニ供用スベキ品種ヲ決定セントスルニアリ。

供試品種

第一期作 粳 一三六品種  
糯 四三品種  
第二期作 粳 六四品種  
糯 五品種

試験ノ區別及區制

第一期作  $\frac{1}{6}$ 「アール」 一區制  
第二期作  $\frac{1}{6}$ 「アール」 一區制

成績 次ノ如シ

第一期作  
其ノ一

中央研究所農業部嘉義支所ヨリ配付ヲ受ケタルモノニシテ比較ニハ臺中六十五號ヲ供用セリ。

成績 九十八品種中優良ナルモノ二十品種ヲ記載セリ。

播種期一月十九日移植期三月十七日

項目 品種名	穂揃期 月日	成熟期 月日	稈長 本	穂數 本	穂長 本	一「ヘクター ル當」 穀重量 証	累年平均 重量 証	立重 証	品質 証	穂首 イモチ 病發生 率 %
K 1188	6.11	7.13	99.1	19.4	20.8	4534.6 (1209貫224)	(2) 4966.0 (1324貫263)	553	上下	11.1
K 1190	6.11	7.13	93.3	19.8	20.4	4944.6 (1318貫557)	(2) 5121.9 (1365貫837)	543	上	8.9
K 1191	6.11	7.14	92.7	18.9	19.4	4802.3 (1280貫610)	(2) 4975.5 (1326貫797)	505	上下	8.2
K 1196	6. 8	7.14	89.1	19.3	17.8	4832.8 (1288貫743)	(2) 4920.0 (1311貫997)	547	上下	8.0
K 1205	6.13	7.13	93.4	20.0	18.8	4754.4 (1267貫837)	(2) 5079.0 (1354貫897)	533	中上	9.1

項目 品種名	穂揃期 月日	成熟期 月日	稈長 本	穂數 本	穂長 本	一「ヘクター ル當」 穀重量 証	累年平均 重量 証	立重 証	品質 証	穂首 イモチ 病發生 率 %
K 1211	6. 8	7.15	94.6	22.1	20.3	5078.1 (1354貫157)	(2) 5284.6 (1400貫223)	514	中上	14.6
K 1212	6.10	7.15	98.2	21.0	20.3	5022.3 (1339貫277)	(2) 5212.0 (1389貫863)	533	上下	5.3
K 1286	6.10	7.15	96.7	18.4	18.9	4746.0 (1265貫597)	(2) 5148.2 (1372貫850)	555	上	3.5
K 1340	6.16	7.20	98.5	21.4	18.5	4795.7 (1278貫859)	(2) 4897.7 (1306貫583)	549	上	1.3
K 1365	6.11	7.12	101.6	18.9	20.9	4925.0 (1313貫339)	(2) 4825.7 (1286貫850)	548	上下	2.1
K 1367	6. 8	7.17	103.4	19.3	21.2	4743.3 (1264貫877)	(2) 4742.5 (1264貫664)	538	中上	4.3
K 1376	6.11	7.13	101.2	17.3	20.2	4820.2 (1285貫383)	(2) 4803.7 (1280貫933)	555	中上	4.4
K 1541ノ1	6.11	7.16	103.0	18.7	21.6	4737.2 (1263貫250)	(2) 4767.6 (1271貫357)	540	上下	5.7
K 1541ノ2	6.10	7.19	102.3	17.0	21.9	303 4886.3 (1088貫010)	(2) 4819.7 (1285貫250)	519	中上	5.3
K 1551	6.10	7.14	97.0	16.0	21.2	4576.9 (1220貫504)	(2) 4875.8 (1300貫210)	547	中上	2.5
K 1556	6. 8	7.13	94.9	16.2	20.3	4603.7 (1223貫984)	(2) 4593.3 (1224貫877)	535	中上	7.7
K 1562	6.13	7.19	99.0	19.5	18.5	4633.5 (1236貫390)	(2) 5376.9 (1433貫836)	516	上下	2.9
K 1609	6.13	7.19	107.1	19.8	20.8	4667.2 (1244貫584)	(2) 5144.2 (1371貫783)	552	上下	...
K 1612	6.10	7.19	106.4	19.7	21.1	4657.4 (1271貫970)	(2) 4793.1 (1278貫157)	528	中上	...
K 1633	6.11	7.20	122.1	17.2	21.0	4782.7 (1275貫383)	(2) 4516.7 (1204貫450)	552	上下	...
臺中六五號	6. 8	7.14	98.2	18.5	19.3	4908.9 (1309貫037)	(2) 5295.5 (1412貫130)	560	上下	8.2

備考 累年平均中( )内ノ數字ハ試験年數ヲ示ス。

上記成績ニヨリK一二一一、K一二一二、收量最モ多ク、K一一九〇、K一三六五臺中六十五號之レニ亞ギテ年平均收量ニ於テK一五六二最モ多ク、臺中六十五號K一二一一、K一二一二之レニ亞ギ他ハ大同小異ナリ。

其ノ二

成績 二十四品種中收量多キモノ十三品種ヲ記載セリ。

播種期二月一日移植期三月十九日

項目 品種名	穂揃期 月日	成熟期 月日	稈長 cm	穂數 本	穂長 cm	一「ヘクター ル當」 収重量 kg	累年平均 重量 kg	立重 kg	品質 凡	穂首 イモチ 病發生 率 %
富士	6.5	7.9	85.8	26.5	19.7	3535.7 (956貫184)	(5) 3860.9 (1029貫571)	517	上下	10.4
千葉てれん す	6.4	7.10	92.1	23.1	17.5	4041.7 (1077貫784)	(8) 3711.8 (939貫811)	546	上	11.2
龜治一號	5.21	6.28	103.1	16.8	17.6	3430.6 (914貫324)	(8) 3427.5 (915貫998)	476	中上	27.2
436神力二號	6.1	7.7	83.6	26.2	18.6	3148.3 (839貫549)	(3) 3865.9 (1030貫904)	506	中	31.8
撰一二號	5.27	7.5	96.7	27.0	16.0	4127.8 (1100貫744)	(1) 4127.8 (1100貫744)	503	中	19.3
中4銀坊主	5.21	6.28	87.3	23.8	16.1	3116.8 (829貫545)	(1) 3110.8 (829貫545)	442	中上	43.4
京都神力	5.27	7.7	87.3	25.5	18.7	4008.6 (1068貫957)	4008.6 (1068貫957)	519	中上	28.2
中生愛國	5.24	6.30	93.9	26.2	17.2	3731.4 (995貫033)	3731.4 (995貫033)	465	上下	35.5
三井	6.3	7.11	94.3	26.5	18.9	5006.5 (1335貫063)	(1) 5006.5 (1335貫063)	540	上	9.6
442旭一號	5.28	7.4	88.2	26.0	18.8	4236.9 (1143貫170)	(3) 4496.5 (1199貫064)	518	上下	19.3
高農三五號	5.30	7.6	90.8	23.9	19.3	3231.3 (861貫678)	(3) 4111.5 (1096貫397)	506	上下	25.2
相川	6.1	7.9	106.8	21.1	21.0	5029.9 (1341貫303)	(1) 5029.9 (1341貫303)	539	中	12.9
比較旭	6.1	7.8	89.2	25.0	18.6	4068.0 (1084貫800)	(1) 4068.0 (1084貫800)	524	上下	23.2

備考 累年平均中( )内ノ數字ハ試驗年數ヲ示ス。

上記成績ニヨリ收量ニ於テ相川、三井、最モ多ク、品質ニ於テハ三井、千葉てれんす最モ良好ナリ。

其ノ三

成績 次ノ如シ比較ニハ臺中六十五號ヲ供用セリ。

播種期一月十九日移植期三月十五日

項目 品種名	穂揃期 月日	成熟期 月日	稈長 cm	穂數 本	穂長 cm	一「ヘクター ル當」 収重量 kg	累年平均 重量 kg	立重 kg	品質 凡	穂首 イモチ 病發生 率 %
臺北 A	6.1	7.10	103.2	18.4	20.1	3857.8 (1028貫744)	(1) 3857.8 (1028貫744)	530	中上	10.7
臺北 B	6.3	7.13	102.6	17.0	20.6	3951.3 (1057貫677)	(1) 3951.3 (1057貫677)	518	中上	5.8
臺北 C	6.1	7.10	104.1	16.7	18.6	3933.8 (1049貫511)	(1) 3933.8 (1049貫511)	546	中上	5.9
臺北一號	6.7	7.19	105.9	19.8	20.4	4050.4 (1080貫104)	(1) 4050.4 (1080貫104)	609	上	5.7
臺中一二號	6.5	7.11	94.7	22.4	18.2	2999.1 (799貫758)	(1) 2999.1 (799貫758)	558	上下	4.0
臺中二六號	5.31	7.10	94.0	18.6	18.6	3888.0 (1036貫797)	(1) 3888.0 (1036貫797)	558	上	4.4
臺中三六號	6.8	7.12	87.7	17.9	18.1	4322.9 (1152貫770)	(1) 4322.9 (1152貫770)	584	上下	2.8
臺中六四號	6.10	7.13	94.9	21.6	18.5	4506.2 (1201貫650)	(1) 4506.2 (1201貫650)	552	上下	3.3
臺中六五號	6.7	7.11	94.4	18.3	18.4	4864.6 (1297貫223)	(1) 4864.6 (1297貫223)	580	上	0.8
高雄三號	6.8	7.15	110.3	19.1	21.7	4349.3 (1159貫810)	(1) 4349.3 (1159貫810)	545	上下	2.0
高雄五號	6.11	7.17	98.7	18.8	20.1	4448.8 (1186貫344)	(1) 4448.8 (1186貫344)	521	中上	2.2
高雄六號	6.5	7.11	108.8	19.5	20.6	4650.9 (1240貫237)	(1) 4650.9 (1240貫237)	548	中上	5.7
高雄七號	6.8	7.13	108.3	17.9	22.6	4793.7 (1278貫317)	(1) 4793.7 (1278貫317)	558	上	2.7
高雄八號	6.8	7.13	106.3	18.0	21.7	5066.8 (1351貫143)	(1) 5066.8 (1351貫143)	550	中上	3.1
比較	6.7	7.13	97.5	20.1	18.6	4854.5 (1294貫533)	(1) 4854.5 (1294貫533)	584	上	2.7

上記ノ成績ヨリシテ收量ニテハ高雄八號最モ多ク、臺中六十五號之レニ亞ギ、品質ニアリテハ臺北一號、臺中二十六號、臺中六十五號、高雄七號等良好ナリキ。

其ノ四 (内地種糯)

成績 四十三品種中收量多キモノ十九品種ヲ記載セリ。

播種期二月一日 移植期三月十九日

項目 品種名	穂揃期 月日	成熟期 月日	稈長	穂數	穂長	一「ヘクマール當」 米重量	累年平均 重量	立重	品質	穂首 イモチ 病發生 率
萬作糯	5.29	7.1	117.4	14.8	20.5	3403.8 (907貫678)	(3) 3745.3 (998貫774)	469	中上	32.8
元氣糯一號	6.5	7.7	90.4	24.2	17.8	3931.7 (1048貫451)	(5) 2839.8 (757貫278)	494	中	22.8
鶴糯	5.20	6.28	87.7	22.8	15.4	3046.0 (812貫265)	(5) 3403.8 (906貫768)	436	中下	33.3
32 神力糯	6.11	7.16	89.5	28.8	17.2	3630.8 (968貫210)	(3) 4141.8 (1104貫477)	505	上下	5.9
20 春糯一二號	6.7	7.8	93.2	26.8	18.4	3665.0 (977貫331)	(5) 3521.4 (939貫038)	473	中上	18.7
25 白糯	5.23	6.30	103.1	17.7	19.3	3018.0 (804貫878)	(5) 3140.1 (873貫358)	443	中下	45.9
改良羽二重糯	6.4	7.8	93.8	25.6	20.5	3142.6 (838貫025)	(3) 3655.3 (974貫744)	463	上下	12.3
銀糯	6.7	7.7	96.3	26.8	18.6	3507.7 (935貫334)	(5) 3567.3 (951貫278)	407	中上	8.9
紀念糯	6.11	7.19	103.6	22.4	22.5	3480.7 (928貫184)	(5) 3023.6 (806貫291)	517	上	3.9
37 晚稻神力糯	6.11	7.19	89.2	28.5	16.7	3779.4 (1007貫837)	(2) 4135.3 (1102貫744)	511	中	3.7

項目 品種名	穂揃期 月日	成熟期 月日	稈長	穂數	穂長	一「ヘクマール當」 米重量	累年平均 重量	立重	品質	穂首 イモチ 病發生 率
36 原種太郎兵衛糯	6.1	7.3	91.6	26.6	17.1	3755.8 (1071貫544)	(2) 3697.4 (986貫024)	475	上	24.8
溝下糯一號	5.30	7.6	101.8	21.6	17.9	3882.6 (1035貫357)	(2) 3956.2 (1054貫984)	471	中	8.0
56 春糯	6.16	7.17	86.4	26.7	18.8	3422.6 (912貫691)	(1) 3422.6 (912貫691)	513	上下	8.3
原種横植糯	5.26	6.30	101.4	23.2	16.6	3655.9 (974貫904)	(2) 3806.7 (1015貫117)	447	上下	20.9
七面鳥糯	6.16	6.27	101.8	27.1	19.3	3191.0 (850貫931)	(2) 3331.1 (888貫291)	491	上	3.4
金時糯一號	6.4	7.8	95.6	24.9	20.2	3508.0 (935貫464)	(2) 3819.9 (1018貫637)	490	上	30.6
平六糯一號	5.27	7.1	89.5	25.7	19.6	2970.2 (738貫718)	(5) 3757.2 (1001貫917)	464	上下	16.8
臺中糯四十七號	6.15	7.16	102.0	20.9	22.3	3651.4 (973貫704)	(1) 3651.4 (973貫704)	496	上下	7.0
臺中糯四十六號	6.15	7.17	105.2	20.7	21.5	4149.3 (1106貫477)	(1) 4149.3 (1106貫477)	511	上	4.8
比較(A-)	6.3	7.17	99.3	19.1	26.8	3723.5 (922貫937)	3723.5 (922貫937)	518	上下	9.5

備考 累年平均中( )内ノ數字ハ試驗年數ヲ示ス。

上記ノ成績ニヨリ收量ニ於テハ臺中糯四十六號最モ多ク、元氣糯、溝下糯之レニ亞ギ、晚稻神力糯、原種太郎兵衛糯等良好ナリ。

第二期作  
其ノ一

成績 五十品種中收量多キモノ二十品種ヲ記載セリ。  
比較ニハ臺中六十五號ヲ供用セリ。

播種期七月十六日移植期七月三十一日

項目 品種名	穂揃期 月日	成熟期 月日	稈長	穂數	穂長	一「ヘクター ル當」 収重量	累年平均 重量	立重	品質	穂首 イモチ 病發生 率
K 1188	10.7	11.17	95.2	21.1	18.8	4207.4 (1121貫971)	(2) 3689.7 (978貫584)	544	上	...
K 1242	10.5	11.12	91.4	19.5	19.2	4173.4 (1112貫904)	(2) 3887.2 (1036貫584)	547	上	2.6
K 1248	10.7	11.15	96.7	23.3	20.8	4075.6 (1086貫771)	(2) 3759.1 (1002貫424)	505	上下	2.4
K 1265	10.7	11.18	94.8	21.0	19.3	4168.4 (1111貫571)	(2) 3619.5 (965貫198)	542	上下	...
K 1286	10.8	11.18	92.6	18.9	19.1	4113.2 (1096貫851)	(2) 3760.2 (1002貫717)	562	上	...
K 1318	10.7	11.18	86.1	22.2	18.2	4377.0 (1167貫197)	(2) 4068.9 (1035貫037)	576	上	1.6
K 1416	10.5	11.17	87.0	25.4	17.7	4768.5 (1271貫597)	(2) 4115.1 (1097貫359)	577	上下	1.0
K 1423	10.5	11.16	90.5	26.8	17.9	4671.4 (1245貫704)	(2) 4012.8 (1070貫077)	575	上下	0.4
K 1424	10.4	11.10	103.4	21.2	20.4	4478.1 (1194貫157)	(2) 3729.6 (994貫558)	530	上下	3.3
K 1431	10.7	11.15	87.2	25.2	18.2	4448.7 (1186貫317)	(2) 3942.0 (1051貫197)	561	上	2.8
K 1530	10.5	11.17	95.8	25.2	19.5	4274.8 (1139貫944)	(2) 3582.1 (955貫224)	577	上	0.4
K 1531	10.4	11.12	95.5	18.7	19.7	4145.1 (1105貫357)	(2) 3618.3 (964貫878)	560	上下	1.6
K 1533	10.4	11.16	94.3	22.5	19.1	4614.7 (1230貫584)	(2) 3940.0 (1050貫664)	541	上下	1.8
K 1536	10.4	11.13	97.5	19.0	20.7	4506.7 (1201貫784)	(2) 3550.7 (946貫351)	559	上下	...
K 1549	10.5	11.17	91.2	24.2	19.3	4546.5 (1212貫397)	(2) 4120.2 (1093貫717)	572	上下	...
K 1550	10.7	11.15	91.7	25.5	19.5	4332.8 (1155貫410)	(2) 3869.7 (1031貫917)	560	上	...

項目 品種名	穂揃期 月日	成熟期 月日	稈長	穂數	穂長	一「ヘクター ル當」 収重量	累年平均 重量	立重	品質	穂首 イモチ 病發生 率
K 1551	10.3	11.12	92.3	17.7	20.1	4427.2 (1180貫584)	(2) 4010.8 (1069貫544)	528	上下	5.1
K 1552	10.3	11.15	91.0	12.8	20.1	4081.0 (1088貫264)	(2) 3927.2 (1047貫251)	553	上下	2.3
K 1559	10.3	11.12	87.1	17.4	18.5	4649.6 (1239貫890)	(2) 4352.7 (1160貫717)	567	上	2.0
K 1560	10.6	11.5	89.7	21.7	19.0	4347.0 (1159貫197)	(2) 3971.7 (1059貫117)	549	上下	1.6
臺中六十五 號	10.8	11.14	104.6	19.2	19.3	4908.9 (1369貫037)	(2) 4017.8 (1077貫411)	568	上	1.1

備考 累年平均中( )内ノ數字ハ試驗年數ヲ示ス。

上記成績ニ於テ臺中六十五號最モ收量多ク、K一四一六、K一四二三、K一五五九、  
K一五三三之レニ亞ギ、二ヶ年平均ニ於テK一五五九收量多ク、K一五四九、K一  
四一六之レニ亞グ。

其ノ二

成績 次ノ如シ。比較臺中六十五號ヲ供用セリ。

播種期七月十六日移植期七月二十九日

項目 品種名	穂揃期 月日	成熟期 月日	稈長	穂數	穂長	一「ヘクター ル當」 収重量	累年平均 重量	立重	品質	穂首 イモチ 病發生 率
臺北 A	9.27	11.4	93.0	15.0	19.5	914.9 (777貫305)	(1) 2914.9 (777貫305)	540	上下	8.0
臺北 B	9.28	11.4	100.8	15.5	20.0	3321.5 (885貫731)	(1) 3321.5 (885貫731)	533	上下	9.7
臺北 C	9.26	11.3	99.9	16.8	18.6	2832.6 (755貫358)	(1) 2832.6 (755貫358)	522	上	2.7
臺北一號	9.26	11.4	99.7	16.3	19.5	3353.6 (894貫238)	(1) 3353.6 (894貫238)	537	上下	2.8
臺中一二號	10.4	11.9	95.7	22.9	18.2	3192.1 (851貫225)	(1) 3192.1 (851貫225)	557	上	1.0
臺中二六號	9.24	11.4	91.9	21.4	18.5	2947.4 (785貫971)	(1) 2947.4 (785貫971)	559	上	3.0
臺中三六號	10.8	11.16	84.6	19.3	17.4	3410.0 (909貫331)	(1) 3410.1 (909貫331)	573	上	0.5
臺中六四號	10.8	11.16	93.1	21.6	18.2	3854.3 (1027貫811)	(1) 3854.3 (1027貫811)	556	上	...

項目 品種名	穂揃期 月日	成熟期 月日	稈長	穂數	穂長	一「ヘクター ル當」 穀重量	累年平均 重量	立重	品質	穂首イ モチ病 發生率 %
臺中六五號	10. 6	11.15	96.9	18.4	19.7	3632.6 (968貫958)	(1) 3632.6 (968貫955)	576	上	...
高雄三號	9.28	11. 5	103.4	16.3	19.9	3287.9 (876貫771)	(1) 3287.9 (877貫771)	562	上下	3.1
高雄五號	10. 9	11.16	92.8	16.8	19.4	3215.7 (857貫518)	(1) 3215.7 (857貫518)	550	上下	...
高雄六號	10. 1	11. 7	101.8	16.5	18.9	3420.7 (912貫184)	(1) 3420.7 (912貫184)	556	上下	8.8
高雄七號	10. 3	11. 8	97.7	15.5	20.5	2749.4 (733貫172)	(1) 2749.4 (733貫172)	560	上	1.3
高雄八號	10. 2	11. 9	105.5	19.4	21.2	3582.4 (955貫305)	(1) 3582.4 (955貫304)	555	上	1.8
比較	10. 5	11.14	99.9	17.9	19.4	3967.7 (1053貫051)	(1) 3967.7 (1053貫051)	575	上	2.6

上記成績ヲミルニ比較收量最モ多ク、臺中六十四號、臺中六十五號高雄八號之レニ  
亞ギ良好ナリ。

其 ノ 三

成 績 次ノ如シ、比較トシテ鷺卵ヲ供用セリ。

移植期七月二十九日

項目 品種名	穂揃期 月日	成熟期 月日	稈長	穂數	穂長	一「ヘクター ル當」 穀重量	立重	品質	穂首イ モチ病 發生率 %
鷺 卵	10. 8	11.15	123.2	10.7	23.2	3498.9 (933貫038)	475	中上	...
一 號	9.15	10.18	83.5	15.9	19.7	2521.0 (672貫265)	457	中上	1.6
二 號	9.18	10.20	80.6	13.0	19.1	3096.3 (825貫678)	494	上	0.8
三 號	9.23	10.24	85.7	12.7	18.7	2921.0 (752貫245)	491	上	2.8
四 號	9.22	10.23	86.5	12.8	19.5	2953.0 (737貫465)	488	中上	2.0
五 號	9.17	10.20	72.1	12.7	16.5	2494.0 (665貫065)	507	上下	0.9

上記品種ハ農業部ノ交配品種ニシテ中壘部ニ試作中ノ苗ヲ持參挿秧セルモノナリ。

(二) 純系淘汰

1. 純系分離試験

第一期作 新竹旭、新竹愛國、陸羽一三二號

新竹旭

目 的 純系分離法ニ據リ良質多産ナル新竹旭ノ純系ヲ撰出セムトス。

方法、經過並ニ成績

前年採集セル千本ノ原穂中ヨリ便宜六百穂ヲ撰ビ幅「メートル」ノ短  
冊苗代ニ穂播ヲナシ、挿秧前生育良好ト認ムル四百穂ヲ採リ、一系統  
當二十五株、一本植トセリ。而シテ圃場ニ於テ二回ニ亙リ淘汰ヲ行ヒ  
收穫後更ニ淘汰ノ結果有望ナル次ノ四十系統ヲ撰擇セリ。

第七號 第九號 第二〇號 第二五號 第二八號  
第三四號 第四四號 第四七號 第八二號 第九三號  
第二〇五號 第二〇七號 第二一四號 第二一六號 第二三四號  
第二六四號 第二八三號 第二九一號 第三〇九號 第三一一號  
第三一五號 第三一九號 第三二四號 第三二九號 第三三四號  
第三三八號 第三四八號 第三五二號 第三五三號 第三五四號  
第三五八號 第三六〇號 第三六五號 第三六九號 第三七二號  
第三七六號 第三八四號 第三八八號 第三九〇號 第三九一號

新竹愛國

目 的 較近漸次州下ニ擴ガリ殊ニ北部(新竹)桃園大圳灌溉區域ニ於テ盛ニ栽  
培サル、本種ニツキ優良系統ヲ分離セムトス。

方法、經過並ニ成績

新竹旭ニ準ズ。撰出系統ヲ示セバ次ノ如シ。

第六五號 第七一號 第一〇八號 第一〇九號 第一一五號  
第一二五號 第一三二號 第一四三號 第一四四號 第一四七號  
第一五七號 第一七二號 第二〇六號 第二一〇號 第二一四號  
第二二一號 第二二三號 第二三四號 第二三八號 第二四〇號  
第二四二號 第二六九號 第二七二號 第二七三號 第二八一號  
第二八三號 第二八六號 第二九四號 第三〇七號 第三一七號  
第三一八號 第三二九號 第三三八號 第三四一號 第三四四號  
第三四七號 第三四八號 第三五〇號 第三六八號

陸羽一三二號

目 的 竹南郡下ニ於テ栽培面積漸次擴大シツ、アル本種ニツキ優良系統ヲ分  
離セムトス。

方法、經過並ニ成績

新竹旭ニ準ズ。撰出系統ヲ示セバ次ノ如シ。

第一七號 第二〇號 第二四號 第四三號 第五五號  
第六一號 第六七號 第八三號 第八九號 第九八號

第一〇三號	第一〇四號	第一〇五號	第一一二號	第一一六號
第一二三號	第一二六號	第一四六號	第一五〇號	第一五四號
第一六六號	第一六八號	第一六九號	第一七五號	第一八六號
第一八八號	第一九〇號	第一九四號	第二一五號	第二二四號
第二四三號	第二五〇號	第二八〇號	第二八九號	第二九九號
第三五九號	第三八〇號	第三八二號	第三八八號	第三九五號

第二期作 新竹愛國、鷺卵

新竹愛國

目的 第一期作ノ新竹愛國ニ同ジ。

方法、經過並ニ成績

第一期作ノ新竹愛國ニ準ズ。撰出系統ヲ示セバ次ノ如シ。

第一三號	第一六號	第三〇號	第三二號	第四五號
第五九號	第六八號	第七九號	第八九號	第九一號
第一四八號	第一七二號	第二二〇號	第二二三號	第二二四號
第二二五號	第二三〇號	第二三三號	第二五〇號	第二五一號
第二五三號	第二五四號	第二五八號	第二五九號	第二六六號
第二六九號	第二七四號	第二七八號	第二八〇號	第二八三號
第三〇〇號	第三〇九號	第三一八號	第三五八號	第三七七號
第三八一號	第三八二號	第三八四號	第三八五號	第三八七號

鷺 卵

目的 純系分離法ニ據リ熟期早ク良質多産ナル系統ヲ分離セムトス。

方法、經過並ニ成績

前品種ニ準ズ。撰出系統ヲ示セバ次ノ如シ。

第一號	第二號	第六號	第七號	第一〇號
第一三號	第一八號	第二〇號	第二一號	第二五號
第二八號	第三二號	第三三號	第三四號	第三七號
第三九號	第四六號	第五六號	第六三號	第六八號
第七六號	九九號	第一〇二號	第一一八號	第一一九號
第一二〇號	第一二一號	第一二三號	第一二四號	第一二八號
第一三五號	第一五〇號	第一六一號	第一六三號	第一六五號
第一七〇號	第一八一號	第一八二號	第一八三號	第一八四號
第一八五號	第一八六號	第一八七號	第一九一號	第一九四號
第一九六號	第二一三號	第二二〇號	第二二二號	第二二九號
第二三九號	第二四一號	第二四二號	第二五二號	第二五三號
第二六二號	第二六九號	第二七〇號	第二七六號	第二九〇號

2. 純系撰出試験

第一期作 新竹旭、新竹愛國、陸羽一三二號

新竹旭

目的 分離試験ヲ終了セル各系統ニツキ其ノ特性ヲ精査スルニアリ。

方法、經過並ニ成績

前年度ニ於テ分離撰擇セル四十系統ニツキ各系統一平方「メートル」當八十「グラム」ノ割合ニ播種シ挿秧ニ際シテハ生育良好ナル苗ヲ撰ビ一系統當二百株宛一本植トナシ、本田生育中ノ狀況、經過ハ是ヲ充分觀察記帳シ、就中其出穂期ニ際シテハ特ニ其ノ整否、純否ヲ精査シ尙ホ收穫物ニツキ調査ヲ行ヒ次ノ十五系統ヲ撰出シ次年度ニ於ケル生産力比較試験ニ供用セムトス。

第四二號	第八二號	第八七號	第一〇〇號	第一三八號
第一四六號	第一五一號	第一六九號	第一七二號	第一八一號
第一八三號	第二二七號	第二二九號	第二七三號	第三一一號

新竹愛國

目的、方法、經過並ニ成績

新竹旭ニ準ズ。撰出系統次ノ如シ。

第六〇號	第七二號	第七五號	第八八號	第九〇號
第一三一號	第一三四號	第一三八號	第一四八號	第二三〇號
第二三五號	第三三二號	第三三五號	第三六〇號	第三九〇號

陸羽一三二號

目的、方法、經過並ニ成績

新竹旭ニ準ズ。撰出系統次ノ如シ。

第九四號	第一二五號	第一二六號	第一五八號	第一五九號
第一六一號	第一七八號	第一八三號	第二一八號	第二二〇號
第二四三號	第二八二號	第二八三號	第三四二號	第三六九號

第二期作 鷺 卵

目的、方法、經過並ニ成績

第一期作ニ準ズ。撰出系統次ノ如シ。

第二號	第三號	第六號	第二六號	第二九號
第三〇號	第三二號	第三三號	第三四號	第四五號
第五四號	第五五號	第五八號	第七一號	第七三號
第七六號	第八二號			

3. 生産力比較試験

目的 純系撰出試験ノ成績ニ據リ撰擇セラレタル各系統ニツキ其ノ生産力ヲ比較シ實用的州下ニ適應スル優良系統ヲ決定セムトスルニアリテ、本試験ハ特ニ成績ノ正鵠ヲ期スルタメ三箇年連續施行ス。

方法 試験施行ノ方法ハ二區制トシ供試系統ノ兩外側及中央部ニ比較區ヲ設ケ一平方「メートル」當十八株八本植ノ普通栽培法ニ據レリ。

A. 第一回生産力比較試験

第一期作 新竹旭

成績 次ノ如シ。

第 一 新 竹

調査項目 系統番號	穂揃期 成熟期		成 熟 時			級 (一ヘクター)		
	月日	月日	穂長	穂數	穂長	重 量	指 數	立 重
比 較	5.28	7.7	87.9	21.1	18.4	4528.7 (1207貫668)	100.0	570
○ 1	5.29	7.7	85.9	21.7	18.5	4634.9 (1235貫989)	102.3	574
3	5.28	7.8	88.2	21.2	19.0	4323.8 (1153貫023)	95.5	559
4	5.28	7.7	86.4	21.1	18.4	4303.6 (1147貫641)	95.0	574
○ 5	5.28	7.7	85.9	21.7	18.2	4324.2 (1153貫135)	95.5	574
6	5.28	7.7	86.0	22.7	18.6	4215.5 (1124貫147)	93.1	557
○ 7	5.29	7.7	88.5	22.0	18.8	4323.9 (1154貫388)	95.6	571
○ 8	5.28	7.7	91.5	22.1	18.6	4451.4 (1187貫055)	98.3	561
○ 12	5.28	7.7	89.4	22.7	17.6	4489.5 (1197貫215)	99.1	564
○ 13	5.28	7.7	87.6	21.3	18.8	4413.5 (1176貫048)	97.5	567
○ 17	5.28	7.6	89.4	20.4	19.1	4463.9 (1190貫288)	98.6	570
○ 31	5.28	7.7	84.8	19.8	17.9	4234.4 (1129貫187)	93.5	566
○ 36	5.28	7.7	86.4	21.6	18.5	4446.9 (1185貫855)	98.2	580
○ 37	5.28	7.8	88.4	21.8	18.5	5278.8 (1407貫698)	116.6	575

○印ハ撰擇系統ヲ示ス。

前記成績ニ據ルトキハ供試拾參系統中一及ビ三七系統ハ他系統ニ比シ特ニ收量、品  
レノ系統ニモ劣リ良好ナラザルガ故ニ是等ハ淘汰セリ。

第 二 期 作  
新 竹

成 績 次ノ如シ

二 期 作

旭 播種期一月三十日移植期三月十三日

ル當) 容 量	級摺歩合		玄 米 (一ヘクター當)				一ヘクタ ール葉重	稻熱病 被害率
	重量	容量	重 量	立 重	容 量	品 質		
6811.6 (37石760)	83.6	60.4	3786.3 (1009貫693)	790	4792.9 (26石569)	上中	3875	10.2
8075.9 (44石769)	83.4	61.0	3864.1 (1030貫440)	766	4919.9 (27石273)	上中	4013	5.6
7737.6 (42石893)	83.3	59.4	3601.6 (960貫439)	785	4592.4 (25石458)	上	3738	9.3
7494.2 (41石544)	83.4	61.1	3589.7 (957貫265)	784	4580.7 (25石393)	上中	3475	11.0
7538.9 (41石792)	83.6	61.6	3613.8 (963貫692)	778	4645.1 (25石750)	上	3638	12.1
7567.0 (41石948)	83.2	59.0	3505.6 (934貫838)	785	4465.4 (24石754)	中上	3525	17.6
7594.9 (42石102)	83.8	60.7	3625.4 (966貫785)	797	4601.2 (25石507)	上下	3663	11.9
7938.6 (44石008)	82.6	59.5	3674.7 (997貫093)	778	4726.7 (26石202)	中下	3900	13.5
7965.4 (44石156)	83.0	60.3	3722.6 (992貫706)	776	4801.0 (26石614)	中上	4038	15.6
7788.8 (43石177)	83.2	60.3	3671.2 (978貫999)	783	4691.5 (26石007)	中上	3963	14.8
7835.8 (43石433)	83.5	60.9	3728.8 (994貫359)	781	4772.3 (26石455)	中上	4038	15.5
7480.1 (41石466)	83.0	59.5	3514.6 (937貫238)	791	4444.5 (24石638)	上下	3763	18.4
7674.0 (42石541)	83.4	61.1	3704.6 (987貫906)	791	4685.9 (25石976)	上中	3638	8.4
4378.8 (40石904)	82.8	61.0	4369.1 (1165貫103)	781	5587.5 (30石974)	上中	3625	10.6

質優良ニシテ比較(大阪旭)ヲモ凌駕セリ、然ルニ三及ビ四、六ノ系統ハ玄米重量何

新竹愛國、陸羽一三二號  
愛 國

第 二 期  
新 竹

調査項目 系統番號	穂揃期成熟期		成 熟 時			収 穫 (一ヘクタール)		
	月日	月日	稈長	穂數	穂長	重 量	指 數	立 重
比 較	9.23	10.24	97.1	19.0	17.7	3420.2 (912貫065)	100.0	525
60	9.24	10.24	99.9	19.7	17.9	3650.0 (973貫346)	106.7	513
72	9.23	10.25	92.0	19.6	17.1	3845.7 (1025貫533)	112.4	526
75	9.24	10.24	96.5	21.0	17.3	4141.0 (1104貫281)	121.1	506
88	9.23	10.25	96.2	19.7	17.1	3864.9 (1030貫653)	113.0	520
90	9.23	10.24	97.1	19.9	17.4	3888.7 (1037貫000)	113.7	511
131	9.23	10.23	95.5	19.4	19.2	3882.4 (1035貫196)	113.5	510
134	9.24	10.25	97.6	19.4	18.4	3567.2 (951貫265)	104.3	513
138	9.24	10.24	97.7	19.5	17.6	3909.6 (1042貫573)	114.3	517
148	9.23	10.24	93.1	18.5	17.2	3810.1 (1016貫039)	111.4	514
230	9.23	10.25	100.2	18.7	18.3	3748.3 (999貫559)	109.6	524
235	9.23	10.23	94.6	18.7	17.0	3641.2 (970貫999)	106.5	516
332	9.23	10.24	97.3	18.7	17.6	3571.5 (952貫412)	104.4	520
335	9.24	10.24	99.7	22.6	18.0	3379.9 (901貫078)	98.8	514
360	9.24	10.24	91.0	21.7	17.0	3544.3 (945貫158)	103.6	521
390	9.24	10.25	97.2	20.4	16.9	3373.4 (872貫918)	95.7	517

前記成績ニ據ルトキハ殆ンド全系統ノ収量ハ比較(愛國)ニ劣ラズ、尙ホ品質モ略  
陸 羽 一

成 績 次ノ如シ

期 作  
愛 國 播種期七月十七日移植期七月三十日

ル當)	稲摺歩合		玄 米 (一ヘクタール當)				一ヘクタール ノ藥重	螟 虫 被害率
	容 量	重 量	容 量	重 量	立 重	容 量		
6513.0 (36石105)	80.8	53.5	2764.7 (737貫263)	793	3485.1 (19石320)	中上	4783	4.7
7137.8 (39石568)	81.0	52.9	2956.5 (788貫410)	785	3769.9 (20石898)	中上	4525	3.8
7323.1 (40石596)	81.0	53.5	3111.3 (829貫690)	797	3909.0 (21石670)	中	4363	3.4
8182.5 (45石360)	81.0	52.6	3354.2 (894貫465)	780	4304.2 (23石860)	中上	2813	2.8
7429.4 (41石240)	81.3	53.3	3140.6 (837貫504)	794	3960.7 (21石956)	中上	4600	4.2
7609.8 (42石185)	80.5	51.6	3130.4 (834貫784)	799	3919.9 (21石730)	中上	4350	2.8
7625.1 (42石270)	80.8	51.8	3134.4 (835貫850)	795	3942.9 (21石857)	中上	4600	2.4
6953.5 (38石547)	80.8	52.5	2880.4 (768貫116)	790	3648.3 (20石224)	中	4150	2.4
7577.1 (42石004)	81.0	52.5	3165.5 (844貫143)	797	3974.7 (22石034)	上下	4563	5.2
7420.3 (41石134)	80.8	52.4	3077.2 (820貫597)	791	3888.3 (21石555)	中	4625	4.1
7153.6 (39石656)	80.3	53.4	3008.0 (802貫143)	788	3820.2 (21石177)	中上	4588	3.6
7063.2 (39石155)	80.5	52.1	2931.2 (781貫663)	797	3678.0 (20石389)	中上	4825	3.9
6868.2 (38石074)	80.0	53.0	2857.2 (761貫930)	785	3639.7 (20石177)	中上	4750	3.6
6573.9 (36石442)	80.5	52.8	2720.1 (725貫369)	784	3469.5 (18石233)	中	4125	2.4
6811.5 (37石760)	81.3	53.8	2880.0 (768貫010)	787	3660.9 (20石294)	中上	4625	1.7
6331.5 (35石099)	82.0	53.4	2684.2 (715貫796)	794	3380.6 (18石740)	中	4650	4.0

同程度ナルガ故ニ重ネテ次年第一期作ニ於テ各系統ノ生産力ヲ知ラムトス。

三 二 號



第 二 陸 羽 一

調査項目 系統番號	穂揃期 成熟期		成 熟 時			穂 (一ヘクタール當)		
	月日	月日	稈長	穂數	穂長	重 量	指 數	立 重
比 較	9.22	10.22	93.0	15.8	18.2	2247.4 (865貫974)	100.0	519
94	9.23	10.23	93.8	18.8	18.0	3591.2 (957貫665)	110.6	506
125	9.23	10.23	101.8	18.4	19.5	3616.6 (964貫439)	111.4	498
126	9.23	10.23	103.7	17.2	18.9	3488.9 (930貫385)	107.4	518
158	9.23	10.22	102.2	17.2	18.7	3314.7 (883貫931)	102.1	510
159	9.22	10.22	103.6	17.8	18.5	3487.7 (930貫065)	107.4	512
161	9.23	10.21	98.7	16.4	18.1	3344.7 (891貫931)	103.0	512
178	9.20	10.21	97.8	17.9	18.0	3288.1 (876貫838)	101.3	510
183	9.22	10.22	89.5	18.3	17.4	4296.5 (1145貫748)	132.3	512
218	9.22	10.22	96.8	18.9	17.7	4849.1 (1293貫110)	149.3	502
220	9.23	10.23	99.1	20.1	19.3	4262.6 (1136貫708)	131.3	534
243	9.22	10.23	88.4	19.5	16.8	4520.3 (1205貫428)	139.2	518
282	9.20	10.22	89.4	18.4	17.1	3816.2 (1017貫666)	117.5	508
283	9.20	10.21	90.9	18.0	17.5	3756.6 (1001貫773)	115.7	520
342	9.22	10.22	90.9	17.6	18.8	3787.1 (1009貫906)	116.6	527
369	9.22	10.22	96.7	16.6	18.3	3805.4 (1014貫786)	117.2	506

前記成績ニ據ルトキハ各系統ノ收量、品質共ニ比較(陸羽一三二)ニ劣ラズ良好ナ

B. 第 二 回  
第 二 期 作

成 績 次ノ如シ

期 作  
三 二 號 播種期七月十七日移植期七月三十日

ル當)	収摺歩合		玄 米 (一ヘクタール當)				一ヘクタール當重	螟 虫 被害率
	容 量	重 量	重 量	立 重	容 量	品 質		
6262.9 (34石718)	80.3	51.7	2606.1 (694貫969)	806	3233.8 (17石927)	中	5025	4.8
7101.4 (29石367)	79.8	50.6	2864.4 (763貫850)	793	3589.1 (19石896)	中	4813	5.5
7264.3 (40石270)	80.3	50.0	2902.9 (774貫116)	799	3633.5 (20石142)	中	5125	3.5
6749.3 (37石415)	80.3	51.4	2800.7 (746貫862)	808	3469.6 (19石234)	中上	5038	6.3
6493.1 (36石022)	80.3	50.9	2660.3 (709貫422)	805	3303.9 (18石315)	中上	5000	2.9
6815.9 (37石779)	81.5	51.6	2843.6 (758貫308)	808	3519.2 (19石509)	上下	5038	4.3
6540.0 (36石255)	79.8	50.7	2667.9 (711貫449)	805	3315.9 (18石382)	中上	4725	4.3
6453.1 (35石773)	80.9	51.8	2629.7 (701貫262)	789	3334.5 (18石485)	中	4950	3.6
8393.0 (46石554)	80.3	51.9	3445.8 (918貫891)	792	4345.4 (24石089)	中上	5088	3.7
9659.5 (53石547)	80.5	49.9	3903.5 (1040貫346)	810	4819.2 (26石715)	中	4950	3.1
7975.9 (44石214)	80.0	52.6	3410.1 (909貫371)	812	4201.1 (23石289)	上下	5375	3.2
8726.4 (43石375)	80.0	51.7	3616.2 (964貫332)	802	4509.0 (24石996)	中	5250	2.4
7533.1 (41石760)	80.3	51.1	3059.5 (815貫877)	797	3838.7 (21石280)	中上	4750	3.7
7217.3 (40石009)	80.0	52.5	3008.9 (802貫383)	794	3792.6 (21石024)	中上	4925	4.3
7187.8 (39石846)	81.0	53.4	3067.6 (818貫037)	800	3837.9 (21石275)	上下	4750	3.2
7528.9 (41石137)	80.5	50.6	3063.4 (816貫917)	804	3812.8 (21石136)	中上	4925	3.1

ル結果ヲ示セシガ故ニ引續キ次年第一期作ニ於ケル收量品質ヲ知ラントス。

生産力比較試験  
鷺 卵

鶯

調査項目 系統番號	穂揃期 月日	成熟期 月日	成熟時			籾 (一ヘクタール當)		
			穂長	穂數	穂長	重量	二年平均重量	指數
比較	10. 7	11.11	122.8	13.5	22.7	3182.4 (848貫651)	3327.7 (887貫398)	100.0
○ 1	10. 8	11.13	120.0	14.0	21.8	3309.7 (882貫598)	3434.5 (915貫878)	103.2
○ 2	10. 7	11.13	117.4	14.3	21.1	3507.8 (935貫425)	3505.2 (934貫732)	105.3
○ 5	10. 8	11.13	118.6	13.8	21.8	3292.2 (877貫931)	3373.4 (899貫585)	101.4
○ 9	10. 8	11.12	117.8	13.7	22.3	3239.0 (863貫744)	3359.5 (895貫878)	101.0
○ 10	10. 7	11.14	119.5	13.7	21.9	3096.1 (825貫637)	3289.4 (877貫184)	98.8
○ 21	10. 8	11.13	118.8	13.3	21.0	3103.0 (827貫477)	3282.8 (875貫424)	98.7
○ 24	10. 8	11.13	118.3	13.5	21.5	3182.0 (848貫544)	3317.7 (884貫731)	99.7
○ 31	10. 7	11.12	116.9	13.3	21.7	3426.2 (913貫665)	3469.7 (925貫265)	104.3

○印ハ撰擇系統ヲ示ス。

前記成績ニ據ルトキハ比較(新竹鶯卵七號)ニ對シ各系統殆ンド劣ラザル結果ヲ示シ各系相互ノ優劣ハ輕々シク決定シ得ザル狀績ナルガ故ニ是等ハ更ニ累ネテ試驗スル

C. 第三回生産  
第二期作

成績次ノ如シ。

卵

播種期六月十二日移植期七月二十五日

立重	容量	籾摺歩合		玄米 (一ヘクタール當)				一ヘクタール重	螟害率
		重量	容量	重量	立重	容量	品質		
490.2	6493.8 (35石998)	80.9	50.6	2575.1 (686貫702)	784.2	3284.1 (18石205)	上下	4937.5	0.4
505.0	6554.4 (36石334)	82.3	52.5	2722.1 (725貫902)	791.0	3442.1 (19石081)	上下	5012.5	1.0
464.5	7628.4 (42石288)	82.5	48.5	2593.9 (771貫716)	791.5	2656.7 (20石271)	上	4650.0	0.6
497.0	6629.0 (36石748)	82.0	51.9	2700.4 (720貫116)	786.0	3435.2 (19石043)	上下	4900.0	0.2
494.0	6554.1 (36石333)	81.8	51.5	2648.2 (706貫195)	784.0	3376.9 (18石720)	上下	4650.0	0.5
516.5	5999.3 (33石257)	82.5	54.0	2553.8 (681貫022)	789.5	3236.7 (17石943)	上下	5112.5	0.1
505.0	6143.9 (34石059)	82.0	52.5	2544.5 (678貫542)	788.5	3226.3 (17石885)	上	4187.5	1.2
507.5	6275.4 (34石788)	82.0	53.0	2609.3 (695貫822)	786.0	3318.7 (18石397)	上下	4887.5	1.6
498.5	6880.0 (38石139)	82.3	51.9	2818.4 (751貫583)	790.0	3567.6 (19石777)	上下	4387.5	0.7

僅カニ玄米收量ニ於テ劣ルモノニ系統アレド籾摺歩合、玄米立重、品質等共ニ良ク事トセリ。然レドモ系統二號ハ收量品質共ニ特ニ良好ニシテ有望ナルガ如シ。

力比較試驗

鶯 卵

鷲

調査項目 系統番號	穂揃期		成熟時			籾 (一ヘクタール當)		
	月日	月日	穂長	穂數	穂長	重量	三年平均重量	指數
比較	10. 7	11.12	124.6	11.9	22.7	3249.2 (866貫464)	2992.9 (798貫117)	100.0
○ 4	10. 8	11.13	122.9	11.1	22.2	3420.1 (912貫038)	3008.5 (802貫277)	100.5
7	10. 8	11.12	116.7	13.0	21.6	3314.0 (833貫744)	2926.6 (780貫436)	97.8
○ 9	10. 8	11.13	119.0	11.6	21.5	3374.2 (899貫798)	3064.7 (817貫264)	102.4
○ 12	10. 7	11.12	119.9	11.7	20.9	3201.3 (853貫691)	3006.2 (801貫663)	100.4
30	10. 7	11.12	123.2	11.4	21.9	3330.4 (888貫118)	2947.9 (786貫116)	98.5
32	10. 7	11.12	123.1	13.0	21.4	3270.4 (872貫118)	2745.2 (732貫062)	91.7
39	10. 8	11.13	114.1	12.7	21.2	3274.9 (873貫318)	2947.1 (785貫903)	98.5
○ 40	10. 8	11.12	125.4	12.1	21.8	3226.9 (860貫517)	3012.0 (803貫477)	100.7

○印ハ撰擇系統ヲ示ス

前表ヲ觀ルニ比較(新竹鷲卵七號)ニ比シ各系統共ニ籾摺歩合並ニ立重優ルモ特記ス  
四〇號ハ品質特ニ良好又收量多ク優秀ト認メラル、ガ故ニ次年ノ原種決定試驗ニ供

D. 原種決定

目的 生産力比較試驗ノ成績ニ據リ優良ト認メラレタル系統ヲ從來本試驗場  
比較シ其ノ優劣ヲ知り將來ノ原種ヲ決定セムトスルニアリ。

方法 試驗ノ方法、其他ハ生産力比較試驗ニ準ズ、

第二期作

成績 次ノ如シ

卵

播種期六月十二日 移植期七月二十五日

立重	容量	籾摺歩合		玄米 (一ヘクタール當)			一ヘクタール 米重	螟害率	
		重量	容量	重量	立重	容量			品質
489.5	6638.4 (36石800)	80.7	51.2	2621.0 (698貫942)	771.3	3398.1 (18石887)	上下	5775.0	4.3
490.0	6980.6 (38石697)	81.5	51.2	2787.4 (743貫316)	781.0	3569.0 (19石785)	上下	5487.5	6.2
493.0	6654.3 (36石888)	81.3	52.0	2692.5 (718貫009)	779.0	3456.3 (19石160)	中上	5287.5	3.8
497.0	6789.0 (37石635)	81.5	52.2	2750.1 (733貫369)	776.0	3544.0 (19石646)	上下	5500.0	6.4
496.0	6452.0 (35石767)	81.0	51.4	2594.4 (691貫849)	782.0	3317.4 (18石390)	上	4575.0	6.0
496.0	6714.6 (37石222)	82.8	53.0	2755.0 (734貫916)	774.0	3500.7 (19石739)	上	5025.0	5.4
494.0	6600.2 (36石699)	82.0	52.3	2681.7 (715貫129)	775.0	3460.3 (19石182)	上	5325.0	5.9
495.0	6615.9 (36石675)	81.5	51.7	2669.7 (711貫929)	780.5	3420.8 (18石963)	上下	5125.0	4.0
496.5	6503.4 (36石052)	82.3	52.8	2654.1 (707貫769)	774.5	3427.0 (18石996)	上中	4912.5	5.5

ベキハ系統四號、九號ハ收量殊ニ良好ニシテ且ツ品質モ劣ラズ、而テ尙系統十二號  
用スルコトセリ。

定 試 驗

ニ於テ育成試驗ノ結果最モ優良ト認ムル品種、若シクハ之レニ匹敵スル優良品種ト

鷲 卵

鷺

調査項目 系統番號	穂揃期		成熟時			籾 (一ヘクター)		
	穂揃期	成熟期	科長	穂數	穂長	重量	指數	立重
	月日	月日	釐	本	釐	匁	匁	匁
比較 (新竹鷺卵十一號)	10. 7	11.11	122.6	10.6	22.3	3080.1 (821貫370)	100.0	496.5
○ 1	10. 6	11.11	118.5	11.5	20.2	3065.0 (817貫344)	99.5	504.0
○ 4	10. 8	11.12	117.9	12.2	20.7	2894.2 (771貫796)	94.0	490.0
5	10. 6	11.12	121.0	12.6	21.7	2849.8 (759貫956)	92.5	499.0
6	10. 8	11.13	117.0	11.7	20.7	2788.5 (743貫609)	90.5	499.0
59	10. 7	11.12	123.6	12.2	22.1	2942.1 (784貫570)	95.5	496.5
○ 117	10. 6	11.11	123.4	11.9	22.8	3076.3 (820貫357)	99.9	493.5
193	10. 6	11.10	122.5	10.7	23.1	2806.6 (748貫436)	91.1	479.0
○ 570	10. 7	11.11	120.4	12.5	21.0	3012.3 (803貫290)	97.8	505.0
○(新竹鷺卵七號)	10. 8	11.13	120.3	12.6	20.7	3071.8 (819貫157)	99.7	486.0
○(新竹鷺卵九號)	10. 7	11.11	120.1	12.3	21.5	3470.8 (925貫558)	112.7	489.0

○印ハ選擇優良系統ヲ示ス。

前表ニ據ルトキハ籾「ヘクター」當收量ニ於テ新竹鷺卵九號最多ニシテ比較(新竹「ター」當重量ニ於テハ新竹鷺卵九號最多ニシテ一號新竹鷺卵七號、比較、五七〇比較及ビー號是ニ亞グ尙ホ四號ハ品質悪ルキガ如キモ各系統相互間ニハ差程ノ差異ヲ除ク事トセリ。

卵

播種期六月十二日移植期七月二十五日

ル當)	籾摺歩合		玄米 (一ヘクタール當)				一ヘクター ル莖重	螟虫 被害率
	容量	重量	容量	重量	立重	品質		
	立	%	%	匁	匁	立		
6205.0 (34石397)	80.0	51.3	2464.1 (657貫102)	774.7	3181.0 (17石634)	上中	4870.8	6.7
6072.2 (33石661)	81.0	53.3	2483.2 (662貫195)	768.0	3233.8 (17石927)	上中	4700.0	2.3
5906.4 (32石742)	80.8	51.2	2387.2 (623貫261)	773.5	3021.5 (16石750)	中	4875.0	7.0
5712.7 (31石668)	82.0	53.0	2336.6 (623貫101)	772.0	3027.5 (16石783)	上中	4837.5	6.0
5587.4 (30石974)	80.3	52.1	2241.2 (607貫661)	769.5	2908.5 (15石569)	上下	4925.0	7.6
5926.3 (32石852)	78.8	51.2	2317.0 (617貫874)	764.5	3030.8 (16石801)	上下	4987.5	6.9
6232.5 (34石550)	78.5	50.8	2414.9 (643貫981)	763.5	3163.1 (17石535)	上	4950.0	4.8
5858.9 (32石479)	77.3	48.4	2168.3 (578貫221)	765.0	2833.8 (15石709)	上	4650.0	7.9
5964.8 (33石066)	80.8	53.0	2432.3 (648貫621)	770.7	3159.0 (17石512)	上	5050.0	5.6
6326.8 (35石056)	80.8	50.8	2480.2 (661貫395)	773.5	3205.9 (17石772)	上下	4975.0	6.7
7093.3 (39石322)	81.0	51.4	2811.4 (749貫716)	771.5	3645.3 (20石208)	上下	5050.0	6.4

鷺卵一一號)一一七號、新竹鷺卵七號、一號、五七〇號、順次相亞グ。玄米「ヘクター」當重量ニ於テハ一一七號、品質ニ於テハ一一七號、一九三號、五七〇號最良ニシテナキガ如ク從ツテ收量ノ點ニ於テ五號、六號、五九號、一九三號ノ收量少ナキモノ

(三) 人工交配

1. 雜種第二代目

第一期作		
仙石四號	×龜ノ尾	一系
仙石四號	×旭	一系
龜治	×旭	三系
} 五系		
第二期作		
新竹鷺卵三號	×A1	五系
新竹鷺卵一一號	×愛國	四系
} 九系		

2. 雜種第三代目

第一期作		
三井神力	×龜尾	一二系
長崎晚三號	×龜尾	七系
愛國	×三井神力	一四系
大阪旭	×晚二號	四系
大阪旭	×龜尾	三〇系
晚生	×晚二號	一三系
平六糯	×龜尾	三一系
平六糯	×旭	五系
} 一一六系		
第二期作		
仙石三號	×鷺卵七號	一〇系
鷺卵七號	×神力糯	三四系
鷺卵九號	×A2	一四系
鷺卵七號	×旭	一一系
} 六九系		

3. 雜種第四代目

第一期作		
旭	×萬作	六系
龜治	×旭	一系
龜治	×龜尾	一系
大阪旭	×晚二號	五系
大阪旭	×幡州	二系
大阪旭	×龜尾	二系
仙石四號	×旭	二系
仙石三號	×龜尾	三系
} 二二系		

第二期作		
新竹鷺卵三號	×A1	三系
同	×A2	一系
同五號	×A1	一系
同	×A2	一系
A1	×新竹鷺卵七號	一系
新竹鷺卵四號	×A1	六系
} 一三系		

四 病虫害防除ニ關スル試驗

(一) 稻熱病抵抗力品種撰擇試驗

(全島農事試驗場共同實施本年着手)

目的 本試驗ハ新品種、新來品種ノ稻熱病抵抗力在定像備試驗ニシテ第二次の本試驗施行ニ當リ比較對照スベキ基本的標準品種ヲ決定スルニアリ

供試品種 第一期作ノミ

龜ノ尾、臺中六十五號、嘉義晚二號、愛國、中村、中稻愛國



肥料 本場標準肥料倍量(但シ硫酸アンモニヤ、過磷酸石灰、硫酸加里ヲ使用)  
 區制 一區〇・一「アール」二區制  
 耕種 一般耕種法ニヨル  
 調査 本試験實施打合せ決定事項ノ調査方法ニ據リ葉イモチ病調査二回、節イモチ病調査二回、穂イモチ病調査一回行フ。  
 成績 各回ノ調査成績ノ結果、各種イモチ病ニ對シテ、臺中六十五號最モ強ク、龜ノ尾、中村最モ弱カリシヲ以テ本試験實施協議會打合ノ結果感受性ノ標準トシテ龜ノ尾、不感受性ノ標準トシテ臺中六十五號ヲ選定シ次年度ハ引續キ三井、旭、愛國、嘉義晚二號、臺農十八號、臺中特六號ヲ加ヘ實施スルコト、セリ。

(二) 鐵甲龜驅除豫防法ニ關スル試験 (昭和四年ヨリ繼續)

目的 苗代及本田ニ於ケル鐵甲龜ノ驅除豫防法ニ關シ適當ナル方法ヲ試查セントス。

試験方法 一、藥劑撒布ニ因ル驅除法  
 二、捕殺ニヨル驅除

使用藥劑 (イ) イマヅ殺虫劑  
 (ロ) 硫酸ニコチン  
 (ハ) 除虫菊粉

區制 1、硫酸ニコチン八百倍  
 2、硫酸ニコチン千倍  
 3、硫酸ニコチン千五百倍  
 4、硫酸ニコチン八百倍除虫菊加用  
 5、硫酸ニコチン千倍除虫菊加用  
 6、硫酸ニコチン<sup>千</sup>五百倍除虫菊加用  
 7、イマヅ殺虫劑二〇瓦

8、イマヅ殺虫劑三〇瓦  
 9、イマヅ殺虫劑四〇瓦  
 10、イマヅ殺虫劑二〇瓦除虫菊加用  
 11、イマヅ殺虫劑三〇瓦除虫菊加用  
 12、イマヅ殺虫劑四〇瓦除虫菊加用  
 13、除虫菊四〇瓦  
 14、除虫菊五〇瓦  
 15、除虫菊六〇瓦

備考 (1) 1-15ハ石鹼水十立當ノ量トス

(2) 石鹼水ハ水十立ニ對シ石鹼二十瓦ノ割

成績 豫メ葉上ノ成虫數ヲ調査シオキ藥液撒布後三時間ニテ死虫數ヲ調査セルニ硫酸ニコチン八百倍—千倍、イマヅ殺虫劑二〇—三〇瓦ノ液殺虫力強キヲ認ム。

五 肥料ニ關スル試験

(一) 堆積肥料ノ肥効試験 (昭和三年ヨリ繼續)

目的 水稻ニ對スル堆積肥料ノ肥効ヲ知ラムトスルニアリ。

供試品種

第一期作 中村種  
 第二期作 鶯卵

試験ノ區分

一、無堆肥區  
 二、堆肥區  
 三、稻藪區

供試面積及區制 一區〇・五「アール」三區制

成績 次ノ如シ

第 一 中

調査項目 試験ノ區別	穂揃期 月日	成熟期 月日	生育 日数	成熟時			収 量	
				稈長	穂數	穂長	重 量	六ヶ年 平均重量
(1)無堆肥區	6. 2	7. 7	134	103.2	17.2	20.1	3966.9 (1057貫841)	3492.2 (938貫121)
(2)堆 肥 區	6. 3	7. 8	135	105.5	17.9	19.8	4386.5 (1169貫785)	3301.0 (1013貫601)
(3)稻 藁 區	6. 3	7. 8	135	104.7	16.7	20.0	3931.0 (1048貫268)	3674.8 (979貫943)

六ヶ年平均成績ニヨレバ堆肥區ノ収量品質最モ良ク稻藁區之ニ亞グ。

第 二 鶯

調査項目 試験ノ區別	穂揃期 月日	成熟期 月日	生育 日数	成熟時			収 量	
				稈長	穂數	穂長	重 量	六ヶ年 平均重量
(1)無堆肥區	10. 7	11.15	150	124.0	11.1	22.6	3203.5 (878貫268)	3280.8 (874貫881)
(2)堆 肥 區	10. 8	11.16	151	123.1	11.8	22.6	3490.7 (930貫854)	3496.3 (932貫343)
(3)稻 藁 區	10. 8	11.16	151	126.8	11.5	23.1	3604.2 (961貫121)	3328.7 (887貫654)

六ヶ年平均成績ニヨレバ堆肥區ノ成績及品質最モ良ク稻藁區之ニ亞グ。

期 作  
村 播種期二月二十三日移植期三月三十日

指數	(-ヘクタール當)		収摺歩合		玄 米 (-ヘクタール當)			品質	穂首イモ チ發生率
	立重	容 量	重量	容量	重 量	立重	容 量		
100.0	554	7157.1 (39石675)	82.3	57.6	3266.0 (870貫934)	796	4104.8 (22石755)	上ノ下	7.9
108.6	554	7919.9 (43石904)	82.3	57.8	3611.6 (963貫095)	789	4579.6 (25石387)	上	7.4
105.0	563	6974.8 (38石665)	82.5	58.3	3243.9 (865貫041)	796	4071.7 (22石571)	上ノ下	7.2

期 作  
卵 播種期六月十八日移植期七月二十七日

指數	(-ヘクタール當)		収摺歩合		玄 米 (-ヘクタール當)			品質	穂首イモ チ發生率
	立重	容 量	重量	容量	重 量	立重	容 量		
100.0	517	6368.0 (35石301)	81.0	50.4	2667.8 (711貫414)	831	3210.5 (17石797)	中ノ上	0.4
106.6	520	6708.6 (37石189)	80.8	50.5	3099.3 (826貫481)	832	3723.3 (20石640)	上ノ下	0.1
101.5	527	6837.4 (37石903)	81.2	51.3	2925.6 (780貫161)	834	3507.7 (19石445)	中ノ上	0.7

(二) 深耕ト施肥量トノ關係試驗 (昭和三年ヨリ繼續)

目的 稻作上耕度ノ深淺ニ對スル肥料ノ用量ヲ異ニシ之レガ生育及收量トノ關係ヲ調査セントスルニアリ。

供試品種

第一期作 中 村 伊豫仙石四號

第二期作 鷺 卵 伊豫仙石四號

試驗ノ區分

- 1、一〇糎(三寸三分)耕 無肥料區
- 2、同 普通肥料五割減區
- 3、同 普通肥料區
- 4、同 普通肥料五割増區
- 5、同 普通肥料倍量區
- 6、二〇糎(六寸六分)耕 無肥料區
- 7、同 普通肥料五割減區
- 8、同 普通肥料區
- 9、同 普通肥料五割増區
- 10、同 普通肥料倍量區
- 11、三〇糎(九寸九分)耕 無肥料區
- 12、同 普通肥料五割減區
- 13、同 普通肥料區

14、同 普通肥料五割増區

15、同 普通肥料倍量區

供試面積及區制 各品種一區〇・一五「アール」三區制

成 績 次ノ如シ

供試品種	區制	成 績
中 村	一〇糎(三寸三分)耕	無肥料區
中 村	同	普通肥料五割減區
中 村	同	普通肥料區
中 村	同	普通肥料五割増區
中 村	同	普通肥料倍量區
鷺 卵	二〇糎(六寸六分)耕	無肥料區
鷺 卵	同	普通肥料五割減區
鷺 卵	同	普通肥料區
鷺 卵	同	普通肥料五割増區
鷺 卵	同	普通肥料倍量區
中 村	三〇糎(九寸九分)耕	無肥料區
中 村	同	普通肥料五割減區
中 村	同	普通肥料區
中 村	同	普通肥料五割増區
中 村	同	普通肥料倍量區
鷺 卵	三〇糎(九寸九分)耕	無肥料區
鷺 卵	同	普通肥料五割減區
鷺 卵	同	普通肥料區
鷺 卵	同	普通肥料五割増區
鷺 卵	同	普通肥料倍量區



第 中

調査項目 試験ノ區別	穂揃期	成熟期	生育 日數	成 熟 時			穀	
				稈長	穂數	穂長	重 量	六ヶ年 平均重量
	月 日	月 日	日	釐	本	釐	斤	斤
(1) 10 糶 耕 無 肥 料 區	5.24	6.25	141	86.2	9.2	16.5	1804.1 (481貫094)	1644.2 (438貫454)
(2) 10 糶 耕 普通肥料五割減 區	5.25	6.25	141	95.4	12.8	17.5	3273.6 (872貫961)	2627.3 (600貫614)
(3) 10 糶 耕 普通肥料區	5.26	6.26	142	103.7	15.4	18.0	4075.9 (1086貫908)	3685.3 (982貫668)
(4) 10 糶 耕 普通肥料五割増 區	5.27	6.28	144	108.3	17.8	19.6	4019.0 (1071貫735)	4055.5 (1081貫415)
(5) 10 糶 耕 普通肥料倍量區	5.27	6.30	146	114.0	18.6	19.4	3736.2 (996貫321)	4222.5 (1126貫001)
(6) 20 糶 耕 無 肥 料 區	5.28	6.25	141	85.6	9.6	17.0	1875.0 (500貫001)	1670.8 (445貫547)
(7) 20 糶 耕 普通肥料五割減 區	5.24	6.25	141	100.3	13.6	17.7	2993.6 (798貫294)	2690.9 (717貫574)
(8) 20 糶 耕 普通肥料區	5.25	6.26	142	105.8	15.8	18.1	4110.3 (1096貫081)	3737.1 (996貫561)
(9) 20 糶 耕 普通肥料五割増 區	5.27	6.28	144	113.1	18.2	19.4	3944.9 (1051貫975)	3969.6 (1055貫561)
(10) 20 糶 耕 普通肥料倍量區	5.28	6.30	146	116.2	18.8	19.7	3690.2 (984貫055)	4131.0 (1101貫601)
(11) 30 糶 耕 無 肥 料 區	5.23	6.25	141	85.8	10.2	16.9	1783.6 (475貫627)	1612.8 (430貫081)
(12) 30 糶 耕 普通肥料五割減 區	5.25	6.25	141	96.1	12.8	17.6	3142.3 (837貫948)	2661.9 (709貫841)
(13) 30 糶 耕 普通肥料區	5.26	6.26	142	105.4	15.9	18.5	4045.9 (1078貫908)	3572.5 (952貫668)
(14) 30 糶 耕 普通肥料五割増 區	5.27	6.28	144	111.8	18.3	19.2	3971.4 (1059貫041)	3930.5 (1048貫135)
(15) 30 糶 耕 普通肥料倍量區	5.27	6.29	145	111.7	16.3	19.0	4036.1 (1076貫295)	4175.2 (1113貫388)

期 作

村 播種期二月三日移植期三月十二日

(一ヘクタール當)			糶摺歩合		支 米 (一ヘクタール當)			穂首イモ チ發生率	
指數	立重	容 量	重量	容量	重 量	立重	容 量		品質
	斤	立	%	%	斤	斤	立	%	
44.6	586	3072.6 (17石033)	82.7	60.1	1490.0 (397貫334)	806	1845.2 (10石229)	上	0.6
71.3	584	5606.6 (31石080)	83.0	59.8	2715.8 (724貫214)	810	3350.3 (18石572)	上	1.4
100.0	557	7316.4 (40石558)	83.2	58.4	3356.6 (895貫094)	797	4254.6 (23石585)	上ノ下	6.0
110.0	522	7714.7 (42石766)	81.0	54.0	3250.8 (866貫881)	784	4149.9 (22石005)	中ノ上	9.0
114.6	508	7358.6 (40石792)	80.0	52.5	2988.3 (796貫881)	765	3856.6 (21石379)	中ノ上	11.4
45.3	586	5203.4 (17石758)	82.8	60.3	1553.6 (414貫294)	805	1928.8 (10石692)	上	0.5
73.0	591	5065.5 (28石081)	83.4	60.9	2497.9 (666貫107)	810	3083.9 (17石096)	上	1.3
101.4	569	7225.8 (40石056)	82.7	58.7	3530.8 (941貫548)	801	4244.6 (23石530)	上ノ下	5.4
107.7	543	7256.3 (40石225)	80.8	55.5	3187.3 (859貫943)	791	4026.2 (22石319)	中ノ上	17.5
112.1	531	6983.4 (38石712)	81.1	54.5	2994.1 (798貫423)	790	3793.6 (21石030)	中ノ下	12.9
43.8	580	3074.9 (17石046)	82.5	59.8	1471.5 (392貫400)	800	1834.4 (10石169)	上	0.5
72.2	582	5454.1 (30石235)	83.3	59.8	2644.9 (705貫308)	811	3253.4 (18石035)	上	1.3
96.5	571	7083.1 (39石265)	82.6	58.4	3345.3 (892貫031)	808	4138.9 (22石944)	上ノ下	4.9
106.7	537	7400.0 (41石022)	82.0	56.1	3256.1 (868貫294)	786	3474.9 (19石263)	中ノ上	10.2
113.3	563	7307.1 (40石507)	82.0	56.6	3309.9 (882貫641)	801	4134.4 (22石919)	中ノ上	6.3

第 一 伊 豫 仙

調 査 項 目 試 験 区 別	穂 揃 期	成 熟 期	生 育 日 數	成 熟 時			穀	
				穂 長	穂 數	穂 長	重 量	四ヶ年 平均重量
月	日	月	日	cm	個	cm	kg	kg
(1) 10 糶 耕 無 肥 料 區	6. 1	7. 7	168	80.6	8.5	19.4	1837.7 (490貫054)	1787.0 (476貫721)
(2) 10 糶 耕 普 通 肥 料 五 割 減 區	6. 2	7. 7	168	86.1	11.0	20.4	2737.3 (729貫948)	2825.7 (743貫521)
(3) 10 糶 耕 普 通 肥 料 區	6. 3	7. 9	170	94.4	14.0	21.4	4030.9 (1074貫908)	3966.0 (1057貫601)
(4) 10 糶 耕 普 通 肥 料 五 割 増 區	6. 5	7. 11	172	100.4	17.2	22.0	4719.4 (1258貫508)	4682.5 (1248貫668)
(5) 10 糶 耕 普 通 肥 料 倍 量 區	6. 6	7. 13	174	101.9	17.7	21.8	4479.3 (1194貫481)	4908.6 (1308貫962)
(6) 20 糶 耕 無 肥 料 區	6. 1	7. 7	168	79.0	8.9	19.3	1853.0 (494貫134)	1898.8 (506貫347)
(7) 20 糶 耕 普 通 肥 料 五 割 減 區	6. 3	7. 7	168	89.2	12.0	20.6	2879.8 (767貫948)	3022.0 (805貫868)
(8) 20 糶 耕 普 通 肥 料 區	6. 3	7. 9	170	91.2	14.1	20.5	4369.3 (1165貫148)	4067.1 (1084貫561)
(9) 20 糶 耕 普 通 肥 料 五 割 増 區	6. 5	7. 11	172	101.2	17.2	21.7	4722.7 (1259貫388)	4747.7 (1266貫055)
(10) 20 糶 耕 普 通 肥 料 倍 量 區	6. 6	7. 13	174	102.2	17.8	21.8	4355.2 (1161貫388)	5010.1 (1336貫028)
(11) 30 糶 耕 無 肥 料 區	6. 1	7. 7	168	77.9	8.7	19.9	1526.6 (407貫094)	1847.9 (492貫774)
(12) 30 糶 耕 普 通 肥 料 五 割 減 區	6. 3	7. 8	169	89.4	12.5	20.2	2922.5 (779貫334)	3043.5 (811貫601)
(13) 30 糶 耕 普 通 肥 料 區	6. 5	7. 9	170	95.6	14.3	20.7	3963.6 (1056貫961)	4105.7 (1094貫855)
(14) 30 糶 耕 普 通 肥 料 五 割 増 區	6. 5	7. 11	172	100.0	17.2	21.5	4694.5 (1251貫368)	4886.8 (1303貫148)
(15) 30 糶 耕 普 通 肥 料 倍 量 區	6. 7	7. 13	174	102.4	18.5	21.2	4599.6 (1226貫562)	5181.2 (1381貫655)

期 作 石 四 號 播種期一月二十日移植期三月十二日

指 數	一ヘクタール當		穀 摺 歩 合		玄 米 (一ヘクタール當)				穂 首 イ モ チ 發 生 率
	立 重	容 量	重 量	容 量	重 量	立 重	容 量	品 質	
kg	kg	kg	kg	%	kg	kg	kg	%	
45.1	587	3129.0 (17石346)	81.5	59.2	1497.6 (319貫360)	809	1850.9 (10石260)	上ノ下	0.7
71.2	588	4652.0 (25石788)	81.8	59.0	2238.4 (586貫970)	816	2744.1 (15石212)	上ノ下	1.5
100.0	589	6843.5 (37石937)	82.3	59.6	3316.4 (884貫374)	814	4073.9 (22石584)	上ノ下	1.2
118.1	563	8375.3 (46石428)	82.2	57.1	3877.0 (1033貫868)	811	4782.7 (26石513)	中ノ上	2.6
123.8	562	7975.8 (44石214)	81.7	57.5	3643.3 (971貫548)	798	4587.4 (25石430)	中ノ上	2.1
47.9	590	3137.3 (17石392)	81.7	59.4	1515.7 (404貫187)	812	1866.7 (10石348)	上ノ下	1.5
76.2	583	4937.8 (27石373)	82.2	58.9	2366.9 (631貫174)	813	2910.9 (16石136)	上ノ下	1.2
102.5	587	7450.6 (41石302)	82.5	59.3	3602.8 (960貫748)	816	4412.6 (24石461)	上ノ下	1.6
119.7	573	8237.1 (45石662)	82.2	58.1	3878.3 (1034貫215)	811	4783.3 (26石516)	中ノ上	1.6
126.3	560	7776.4 (43石103)	81.5	56.8	3547.4 (945貫975)	807	4405.6 (24石422)	中ノ上	5.3
46.6	573	2663.7 (14石766)	81.2	57.5	1372.8 (366貫080)	810	1531.7 (8石491)	上ノ下	0.7
76.7	593	4928.9 (27石323)	82.5	60.4	2412.0 (643貫201)	811	2975.5 (16石495)	上ノ下	1.4
103.5	593	6679.7 (37石029)	83.8	60.5	3323.3 (886貫214)	822	4041.0 (22石401)	上ノ下	1.2
123.2	578	8123.8 (45石034)	82.3	58.5	3862.7 (1030貫055)	816	4731.2 (26石227)	中ノ上	1.2
130.6	570	8755.5 (44石767)	82.2	57.7	3778.2 (1007貫521)	813	4648.1 (25石767)	中ノ上	2.1

第 二 期  
伊 豫 仙

調 査 項 目 試 験 ノ 區 別	穂 抽 期	成 熟 期	生 育 日 數	成 熟 時			穀	
				稈 長	穂 數	穂 長	重 量	五 ヶ 年 平 均 重 量
(1) 10 糶 耕 區 無 肥 料 區	10. 1	11. 4	106	86.7	11.5	19.0	2832.5 (755貫334)	2105.3 (561貫414)
(2) 10 糶 耕 區 普 通 肥 料 五 割 減 區	10. 1	11. 5	107	93.9	13.4	20.2	3793.9 (1013貫041)	2944.1 (785貫094)
(3) 10 糶 耕 區 普 通 肥 料 區	10. 2	11. 6	108	95.6	14.5	20.5	4049.3 (1079貫815)	3431.1 (914貫961)
(4) 10 糶 耕 區 普 通 肥 料 五 割 增 區	10. 2	11. 8	110	98.6	17.0	21.2	4286.7 (1143貫121)	3738.0 (996貫801)
(5) 10 糶 耕 區 普 通 肥 料 倍 量 區	10. 3	11. 9	111	101.6	18.4	21.5	4169.0 (1111貫735)	4046.6 (1079貫095)
(6) 20 糶 耕 區 無 肥 料 區	10. 1	11. 4	106	88.6	11.3	19.9	2887.6 (760貫028)	2166.5 (577貫734)
(7) 20 糶 耕 區 普 通 肥 料 五 割 減 區	10. 1	11. 5	107	97.0	14.0	20.9	3778.7 (1007貫655)	3107.1 (828貫561)
(8) 20 糶 耕 區 普 通 肥 料 區	10. 2	11. 6	108	99.3	14.9	21.6	4261.5 (1136貫401)	3475.4 (926貫774)
(9) 20 糶 耕 區 普 通 肥 料 五 割 增 區	10. 3	10. 7	109	98.6	17.5	21.1	3271.1 (857貫894)	3656.4 (975貫041)
(10) 20 糶 耕 區 普 通 肥 料 倍 量 區	10. 4	11. 9	111	107.0	18.3	22.0	4646.2 (1238貫938)	4207.6 (1122貫028)
(11) 30 糶 耕 區 無 肥 料 區	10. 1	11. 4	106	87.8	11.7	20.1	3358.6 (895貫628)	2353.4 (627貫574)
(12) 30 糶 耕 區 普 通 肥 料 五 割 減 區	10. 1	11. 5	107	96.1	14.8	20.7	3394.2 (1038貫455)	3146.2 (833貫988)
(13) 30 糶 耕 區 普 通 肥 料 區	10. 2	11. 6	108	100.1	15.6	21.2	4159.5 (1109貫291)	3574.0 (953貫068)
(14) 30 糶 耕 區 普 通 肥 料 五 割 增 區	10. 3	11. 7	109	103.9	17.9	21.6	4352.4 (1160貫641)	3971.1 (1053貫961)
(15) 30 糶 耕 區 普 通 肥 料 倍 量 區	10. 4	11. 9	111	104.2	18.0	21.5	4257.8 (1135貫415)	4254.0 (1134貫401)

期 作  
石 四 號 播種期七月二十一日移植期八月一日

指 數	(一ヘクタール當)		糶 摺 歩 合		支 米 (一ヘクタール當)			穂 首 イ モ チ 發 生 率	
	立 重	容 量	重 量	容 量	重 量	立 重	容 量		品 質
61.4	585	4836.8 (26石313)	81.5	61.8	3466.6 (924貫428)	771	2987.4 (16石561)	上ノ下	...
85.8	584	6508.2 (36石078)	80.9	61.1	3073.5 (819貫601)	778	3951.6 (21石906)	上ノ下	0.1
100.0	570	7105.1 (39石387)	80.8	58.8	3269.4 (871貫841)	783	4175.7 (23石148)	上ノ下	0.8
108.9	563	7616.7 (42石223)	80.9	58.9	3471.6 (925貫761)	773	4355.7 (24石146)	中ノ上	1.1
117.9	550	7590.2 (42石076)	80.7	57.0	3365.4 (897貫441)	778	4326.6 (23石985)	中ノ上	2.1
63.1	575	5023.2 (27石846)	81.4	60.3	2350.3 (626貫747)	777	3024.4 (16石766)	上ノ下	1.1
90.6	572	6605.2 (36石616)	81.3	60.0	3073.5 (819貫601)	776	3962.4 (21石966)	上ノ下	0.4
101.3	573	7446.8 (41石281)	81.3	60.0	3467.8 (924貫748)	776	4466.8 (24石762)	上ノ下	1.0
106.6	549	7691.5 (42石638)	80.8	57.8	3408.4 (908貫908)	768	4436.1 (24石592)	中ノ上	0.8
122.6	543	8562.2 (47石465)	79.7	55.9	3701.4 (987貫041)	773	3789.2 (21石005)	中ノ下	1.1
68.6	573	5862.0 (32石496)	81.8	60.2	2744.1 (731貫761)	778	3524.9 (19石540)	上ノ下	0.1
91.7	575	6777.5 (37石571)	81.9	60.6	3189.7 (850貫588)	776	4109.5 (22石781)	上ノ下	0.2
104.2	564	7379.1 (40石906)	81.3	59.2	3381.9 (901貫841)	775	4366.3 (24石205)	上ノ下	0.5
115.7	548	7938.6 (43石008)	81.7	58.1	3554.4 (947貫841)	770	4614.3 (25石579)	中ノ上	0.9
124.0	543	7834.2 (43石429)	80.3	57.0	3419.9 (911貫974)	777	4466.7 (24石761)	中	1.6

鷺

調査項目 試験ノ區別	穂揃期 月日	成熟期 月日	生育 日数	成熟時			収 穫	
				穂長	穂數	穂長	重 量	六ヶ年 平均重量
				本	本	本	斤	斤
(1) 10 糶 耕 無 肥 料 區	10. 8	11.12	137	112.1	7.3	21.0	1966.9 (524貫507)	2006.7 (535貫174)
(2) 10 糶 耕 普通肥料五割減 區	10. 9	11.14	139	119.3	10.0	21.5	2815.0 (750貫668)	2794.8 (745貫281)
(3) 10 糶 耕 普通肥料區	10. 9	11.15	140	124.1	11.2	22.1	3085.2 (822貫721)	3200.0 (853貫334)
(4) 10 糶 耕 普通肥料五割増 區	10.10	11.16	141	125.1	11.8	22.2	2959.3 (789貫148)	3475.6 (926貫828)
(5) 10 糶 耕 普通肥料倍量區	10.11	11.17	142	131.4	12.5	23.1	3078.9 (821貫041)	3619.3 (965貫148)
(6) 20 糶 耕 無 肥 料 區	10. 8	11.12	137	110.3	8.4	20.9	1931.4 (515貫041)	2060.5 (549貫467)
(7) 20 糶 耕 普通肥料五割減 區	10. 9	11.14	139	120.8	10.4	22.1	2606.9 (695貫174)	2845.2 (758貫721)
(8) 20 糶 耕 普通肥料區	10. 9	11.15	140	124.3	11.9	22.8	3115.0 (830貫668)	3284.5 (875貫868)
(9) 20 糶 耕 普通肥料五割増 區	10.10	11.16	141	126.4	12.0	21.8	2981.4 (795貫041)	3523.2 (939貫521)
(10) 20 糶 耕 普通肥料倍量區	10.11	11.17	142	131.8	12.9	23.2	3220.7 (858貫354)	3726.7 (993貫788)
(11) 30 糶 耕 無 肥 料 區	10. 8	11.12	137	109.6	8.8	21.0	2074.7 (553貫254)	2049.6 (546貫561)
(12) 30 糶 耕 普通肥料五割減 區	10. 9	11.13	138	120.0	10.9	21.6	2784.3 (742貫481)	2873.1 (766貫161)
(13) 30 糶 耕 普通肥料區	10.10	11.15	140	122.9	11.9	22.5	3120.0 (832貫001)	3170.1 (845貫361)
(14) 30 糶 耕 普通肥料五割増 區	10.11	11.17	142	127.6	12.7	22.3	2975.5 (795貫468)	3492.3 (931貫281)
(15) 30 糶 耕 普通肥料倍量區	10.11	11.17	142	134.5	13.3	23.3	3123.3 (832貫881)	3803.1 (1014貫161)

以上ノ成績ニヨリ30糶無肥料區ハ第一期作第二期作ニ於テモ20糶耕ニ及バザルハ之  
ベキナレドモ品種ニヨリ差違アル如ク仙石四號ハ第一、二期共第一期中村及第二期

卵

播種期六月二十八日移植期八月一日

指數	(一ヘクタール當)		糶摺歩合		玄 米 (一ヘクタール當)			品質	穂首イモ チ發生率
	立重	容 量	重量	容量	重 量	立重	容 量		
	斤	立	%	%	斤	斤	立		
62.7	526	3735.8 (20石709)	80.0	54.8	1573.5 (419貫601)	769	5046.7 (11石346)	上ノ下	0.2
87.3	526	5354.3 (29石632)	80.3	54.8	2259.4 (602貫507)	770	2932.2 (16石255)	上ノ下	1.3
100.0	521	5921.7 (32石827)	80.0	54.3	2470.7 (658貫854)	767	3221.1 (17石856)	中ノ上	0.7
108.6	515	5742.1 (31石831)	80.5	53.9	2382.8 (635貫414)	769	3100.0 (17石188)	中	0.7
113.1	510	6040.9 (33石488)	79.7	53.3	2452.9 (654貫107)	763	3214.2 (17石818)	中ノ下	...
74.1	526	3673.4 (20石363)	80.0	54.9	1545.4 (412貫107)	766	2017.4 (11石183)	上ノ下	0.1
88.9	522	4993.9 (27石684)	79.8	54.4	2081.0 (554貫953)	766	2717.8 (15石066)	上ノ下	0.3
102.6	515	6045.2 (33石512)	80.2	53.8	2497.6 (666貫027)	768	3250.7 (18石020)	上ノ下	0.8
110.1	509	5861.9 (32石495)	79.8	53.1	2380.6 (634貫827)	764	3115.4 (17石270)	中ノ下	0.4
116.5	505	6373.4 (35石331)	80.1	53.3	2578.8 (687貫681)	760	3394.7 (18石819)	中	...
64.1	524	3960.2 (21石953)	80.2	55.2	1663.4 (443貫574)	762	2182.7 (12石100)	上ノ下	..
89.8	521	5349.6 (29石656)	79.8	54.2	2222.5 (592貫667)	767	2901.2 (16石033)	上	...
99.1	517	6035.4 (33石457)	80.0	54.1	2496.0 (665貫601)	765	3264.8 (18石098)	上ノ下	0.1
109.1	510	5831.4 (32石326)	80.5	53.6	2396.0 (638貫924)	767	3125.1 (17石324)	中ノ下	0.1
118.8	502	6224.9 (34石508)	79.8	52.7	2493.2 (664貫854)	761	3278.1 (18石172)	中	...

レ極度ノ深耕ハ漸進的ニ行フベキモノ、證ナルベク、又肥料ノ増施ハ深耕ト相伴フ  
作爲卵ヨリ深耕ヲ必要トシ且有機質肥料増施ヲ有効ト認メラル。

(三) 綠肥ノ肥効ニ關スル試驗 (昭和六年ヨリ繼續)

目的 水稻ニ對スル綠肥ノ肥効程度ヲ試査セントス

供試品種

第一期作 旭

第二期作 鶯 卵

試驗ノ區分

第一期作

- 一、烏 豆 區
- 二、大 豆 粕 區
- 三、青 皮 豆 區
- 四、ザードウツキケン區
- 五、豌 豆 區
- 六、大 菜 區

第二期作

- 一、大 豆 粕 區
- 二、田 菁 區
- 三、クロタラリア・サルチアナ區
- 四、クロタラリア・ウサラメンシス區
- 五、クロタラリア・アナギロイデス區
- 六、テフロシア・キャンデーダ區

備考 施用三要素量「ヘクタール」當各要素七五・〇疍トシ磷酸ハ過

磷酸石灰、加里ハ硫酸加里ヲ以テ施用セリ。

成 績 次ノ如シ

第 一 旭

調査項目 試験ノ區別	穂揃期 月日	成熟期 月日	生育 日数	成 熟 時			穀	
				穂長	穂数	穂長	重 量	三ヶ年 平均重量
1 烏 豆 區	6.3	7.8	141	79.1	17.2	18.3	3455.4 (921貫441)	3455.4 (921貫441)
2 大 豆 粕 區	6.4	7.9	142	79.8	21.1	18.8	4022.5 (1072貫668)	4487.5 (1196貫668)
3 青 皮 豆 區	6.3	7.8	141	84.1	21.2	19.4	3971.4 (1059貫041)	4410.5 (1176貫135)
4 ザードウツキケ ン區	6.3	7.8	141	81.3	20.1	19.0	3480.2 (928貫054)	4164.5 (1110貫535)
5 豌豆 區	6.4	7.8	141	81.0	20.7	19.5	3614.9 (963貫975)	4241.3 (1131貫015)
6 大 菜 區	6.3	7.8	141	81.8	20.4	19.8	3856.4 (1028貫375)	4329.5 (1154貫535)

三ヶ年ノ平均成績ニヨレバ青皮豆區最モ收量多ク、大菜、豌豆、ザードウツケン

第 二 鷺

調査項目 試験ノ區別	穂揃期 月日	成熟期 月日	生育 日数	成 熟 時			穀	
				穂長	穂数	穂長	重 量	三ヶ年 平均重量
1 大 豆 粕 區	10.10	11.18	153	122.3	11.8	22.0	1974.7 (526貫587)	2143.0 (571貫467)
2 田 菁 區	10.10	11.17	152	120.3	11.7	22.2	1929.9 (514貫641)	2171.5 (579貫067)
3 クロタラリア サルチアナ區	10.10	11.17	152	120.7	11.6	22.1	1894.6 (505貫227)	2119.3 (565貫147)
4 クロタラリア ウサラメシス 區	10.10	11.17	152	124.4	12.6	22.1	1907.5 (508貫667)	2115.4 (564貫107)
5 クロタラリア アナギロイアス 區	10.10	11.17	152	123.2	11.5	22.6	1833.2 (488貫854)	2076.0 (555貫601)
6 テフロシア キャンデーダ區	10.9	11.17	152	120.0	11.3	22.1	2039.1 (543貫761)	2128.3 (567貫547)

三ヶ年平均成績ニヨレバ田菁最モ良クテフロシア之レニ亞ギ、クロタラリアハ大同

期 作

播種期二月十七日移植期三月三十日

(一ヘクタール當)			穀摺歩合		玄 米 (一ヘクタール當)				穂首イモ チ發生率
指數	立重	容 量	重量	容量	重 量	立重	容 量	品質	
77.0	597	5788.4 (32石088)	83.3	61.4	2876.2 (766貫988)	809	3556.4 (19石715)	上ノ下	5.9
110.0	583	6899.8 (38石249)	83.5	60.9	3358.7 (895貫654)	800	4201.0 (23石288)	上ノ下	11.7
98.3	588	6754.6 (37石444)	84.0	60.9	3335.9 (889貫574)	811	4113.4 (22石803)	上ノ下	17.2
92.8	566	6128.1 (33石971)	83.3	59.3	2900.5 (773貫468)	795	3640.5 (20石181)	上ノ下	8.3
94.5	578	6248.3 (34石637)	83.3	60.2	3010.0 (802貫668)	800	3764.7 (20石870)	上ノ下	12.8
96.5	586	6589.2 (36石527)	83.8	61.1	3229.1 (861貫094)	803	4022.3 (22石298)	上ノ下	14.9

之レニ亞グリ。

期 作

播種期六月十八日移植期七月二十七日

(一ヘクタール當)			穀摺歩合		玄 米 (一ヘクタール當)				穂首イモ チ發生率
指數	立重	容 量	重量	容量	重 量	立重	容 量	品質	
100.0	500	3955.8 (21石929)	80.8	48.8	1594.0 (425貫067)	826	1928.1 (10石688)	上中	...
101.3	500	3863.4 (21石417)	80.5	49.1	1553.1 (414貫161)	820	1895.8 (10石509)	上ノ下	0.1
98.9	495	3830.6 (21石235)	81.3	49.1	1538.9 (410貫374)	820	1876.5 (10石402)	上ノ下	0.1
98.7	496	3848.6 (21石335)	80.5	48.8	1535.6 (409貫494)	818	1878.6 (10石414)	上ノ下	0.2
96.9	500	3670.1 (20石345)	81.0	49.2	1484.9 (395貫974)	823	1805.2 (10石007)	上ノ下	0.4
99.3	501	4071.2 (22石569)	81.3	49.4	1656.5 (441貫734)	825	2008.8 (11石136)	上ノ下	0.7

小異ナリ。

(四) 新肥料窒

目的 最近販賣セラレツ、アル各種新肥料ノ肥効ヲ試査セントスルニアリ。

供試品種

第一期作 旭  
第二期作 鶯 卵

試験ノ區分

- 一、石灰窒素區
- 二、硫 磷 安 區
- 三、磷安肥料一號區
- 四、新撰完全肥料區
- 五、ミーキン魚粉末區
- 六、大豆粕區
- 七、硫酸アンモニア區
- 八、ロイナホス區
- 九、アンモホス區

試験ノ面積及區制 - 區〇・三「アール」二區制

施用三要素量一「ヘクタール」當各七五匁宛トシ磷酸ハ過磷酸石灰、加

成 績 次ノ如シ

第 一 旭

調査項目 試験ノ區別	穂抽期 月 日	成熟期 月 日	生育 日數	成 熟 時			穀	
				穂長	穂數	穂長	重 量	三ヶ年 平均重量
(1)石灰窒素區	6. 2	7. 6	154	83.4	19.8	17.8	3658.3 (975貫548)	4001.8 (1067貫548)
(2)硫 磷 安 區	6. 2	7. 7	154	85.3	20.0	18.1	3716.8 (991貫148)	4235.3 (1129貫415)

素肥料試験 (昭和六年ヨリ繼續)

里ハ硫酸加里ヲ以テ施用セリ。

期 作

播種期二月三日移植期三月二十日

指數	一ヘクタール當		穀摺歩合		玄 米 (一ヘクタール當)				穂首イモ チ發生率
	立重	容 量	重量	容量	重 量	立重	容 量	品質	
88.8	594	6159.4 (34石145)	84.0	62.1	3072.9 (819貫441)	805	3822.4 (21石189)	上	1.1
94.0	586	6349.2 (35石197)	84.0	60.9	3122.1 (832貫561)	808	3865.8 (21石430)	上	4.3

調査項目 試験ノ區別	穂摘期	成熟期	生育 日數	成熟時			収	
				穂長	穂數	穂長	重 量	三ヶ年 平均重量
月日	月日	日	穂	本	穂	証	証	
(3) 燐安肥料一號區	6. 2	7. 7	154	83.8	20.9	18.9	3565.8 (950貫881)	(1) 3565.8 (950貫881)
(4) 新撰完全肥料區	6. 2	7. 7	154	83.6	19.9	18.7	3633.0 (963貫801)	4207.3 (1121貫948)
(5) ミーキン 魚粉末區	6. 2	7. 8	155	81.9	17.3	18.1	3892.3 (1037貫948)	4141.0 (1104貫268)
(6) 大豆粕區	6. 3	7. 8	155	88.7	21.8	19.1	3900.3 (1040貫081)	4507.8 (1202貫082)
(7) 硫 酸 アンモニア區	6. 2	7. 7	154	86.5	19.7	19.0	3883.0 (1035貫468)	4373.5 (1166貫268)
(8) ロイナホス區	6. 2	7. 7	154	84.4	20.1	18.2	3776.8 (1007貫148)	4479.1 (1194貫428)
(9) アンモホス區	6. 2	7. 7	154	82.9	18.8	18.9	3830.0 (1021貫335)	4510.5 (1202貫802)

三ヶ年平均成績ニヨレバアンモホス區最モ良ク、ロイナホス、硫酸アンモニア、硫  
第 二

調査項目 試験ノ區別	穂摘期	成熟期	生育 日數	成熟時			収	
				穂長	穂數	穂長	重 量	三ヶ年 平均重量
月日	月日	日	穂	本	穂	証	証	
(1) 石灰窒素區	10. 7	11.15	149	122.4	9.3	22.5	2622.3 (699貫281)	2804.4 (747貫841)
(2) 硫 燐 安 區	10. 8	11.15	150	124.2	9.6	23.2	2564.8 (683貫948)	2761.1 (736貫294)
(3) 燐安肥料一號區	10. 7	11.14	149	124.5	9.9	22.6	2728.8 (727貫681)	(1) 2728.8 (727貫681)
(4) 新撰完全肥料區	10. 8	11.15	150	126.1	9.8	22.7	2576.0 (686貫934)	2769.5 (738貫534)
(5) ミーキン 魚粉末區	10. 8	11.15	150	127.5	10.0	23.3	2996.8 (799貫148)	3096.8 (825貫814)
(6) 大豆粕區	10. 8	11.15	150	127.9	11.2	23.2	2944.5 (785貫201)	2983.0 (795貫468)
(7) 硫 酸 アンモニア區	10. 8	11.15	150	125.7	9.8	23.1	2812.5 (750貫001)	2815.9 (750貫908)
(8) ロイナホス區	10. 7	11.15	150	127.1	10.6	22.7	2982.0 (795貫334)	2916.0 (777貫601)
(9) アンモホス區	10. 7	11.14	149	127.4	10.3	23.0	2794.8 (745貫281)	2893.1 (771貫494)

ミーキン魚粉末區最モ良ク、ロイナホス、アンモホス區之ニ亞ギ其他大同小異ナリ

指数	一ヘクタール當		収摺歩合		支 米 (一ヘクタール當)				穂首イモ チ發生率
	立重	容 量	重量	容量	重 量	立重	容 量	品質	
凡	立	%	%	証	凡	立	立	%	
79.1	589	6059.0 (33石588)	83.8	61.3	3122.1 (832貫561)	808	3865.8 (21石430)	上	2.4
93.3	586	6198.8 (34石363)	83.5	61.1	3033.2 (808貫364)	802	3784.6 (20石980)	上	3.5
91.9	597	6519.4 (36石140)	83.0	61.1	3259.9 (861貫308)	811	3983.7 (22石078)	上	3.0
100.0	575	6789.9 (37石640)	83.8	60.3	3266.7 (871貫121)	799	4090.6 (22石676)	上ノ下	2.8
97.0	587	6615.0 (36石670)	84.0	61.3	3261.7 (869貫788)	805	4049.8 (22石450)	上	2.8
99.4	593	6374.6 (35石338)	84.0	61.7	3172.5 (846貫001)	808	3926.8 (21石768)	上	2.8
100.1	598	6410.7 (35石538)	84.0	62.1	3217.2 (857貫921)	809	3978.6 (22石055)	上	2.5

酸安之ニ亞ギ、其他ハ大差ナシ。  
播 種 期 作

卵 播種期六月十八日移植期七月二十七日

指数	一ヘクタール當		収摺歩合		支 米 (一ヘクタール當)				穂首イモ チ發生率
	立重	容 量	重量	容量	重 量	立重	容 量	品質	
凡	立	%	%	証	凡	立	立	%	
94.0	521	5054.0 (28石017)	83.0	51.0	2178.5 (580貫934)	848	5570.3 (14石248)	上ノ下	...
92.6	518	4968.2 (27石541)	82.3	50.0	2110.3 (562貫748)	851	2481.0 (13石753)	上ノ下	...
91.5	527	5177.4 (28石601)	82.0	50.7	2238.3 (596貫881)	853	2623.7 (14石544)	上ノ下	0.1
92.8	524	4822.9 (26石736)	82.5	51.2	2126.6 (567貫094)	845	2516.7 (13石951)	上ノ下	0.1
103.5	517	5813.8 (32石229)	82.5	50.1	2472.4 (659貫307)	852	2903.7 (16石097)	上ノ下	...
100.0	519	5681.4 (31石495)	82.0	50.1	2415.4 (644貫107)	850	2843.0 (15石760)	上ノ下	...
94.4	516	5470.7 (30石327)	82.5	50.3	2320.4 (618貫774)	847	2742.6 (15石204)	上ノ下	...
97.8	515	5807.3 (32石193)	82.0	50.2	2447.1 (652貫561)	842	2907.0 (16石115)	上ノ下	...
97.0	522	5360.1 (29石714)	83.0	51.1	2320.1 (618貫694)	847	2740.9 (15石194)	上ノ下	...



(五) 施肥標準量

目的 水稻ニ對シ土性ニ適合セル肥料三要素ノ經濟的用量ヲ知ラントスルニ

供試品種 第一期作 旭  
第二期作 鶯 卵

試験ノ區別 試験ノ區名及要素量次ノ如シ。

試 驗 區 名	一	
	窒	素
1、無 窒 素 區		0
2、窒 素 少 量 區		40
3、三 要 素 基 準 區		80
4、窒 素 多 量 區		120
5、窒 素 最 多 量 區		160
6、三 要 素 少 量 區		40
7、三 要 素 多 量 區		120
8、無 要 素 區		0
9、無 磷 酸 區		80
10、磷 酸 少 量 區		80
11、磷 酸 多 量 區		80
12、無 加 里 區		80
13、加 里 少 量 區		80
14、加 里 多 量 區		80

供試面積及區制 --區○●--「アール」二區制

成 績 次ノ如シ

査定試験 (昭和七年ヨリ繼續) 中央研究所農業部委託

アリ。

「ヘクタール」當三要素量

機	酸		加	量
	肥	量		
	80			80
	80			80
	80			80
	80			80
	80			80
	40			40
	120			120
	0			0
	0			80
	40			80
	120			80
	80			0
	80			40
	80			120

調査項目 試験ノ區別	穂摘期 月日	成熟期 月日	生育 日數	成熟時			穀	
				穂長	穂數	穂長	重量	二ヶ年 平均重量
(1)無窒素區	5.28	6.27	144	72.3	14.3	16.9	2375.0 (633貫334)	2669.7 (711貫921)
(2)窒素少量區	5.29	6.28	145	81.1	17.3	17.4	3270.0 (861貫334)	3572.3 (952貫615)
(3)三要素基準區	5.30	6.28	145	84.1	22.1	18.0	3997.5 (1066貫001)	4354.3 (1161貫148)
(4)窒素多量區	5.31	6.30	147	86.3	25.2	19.3	4492.8 (1198貫081)	4880.3 (1301貫415)
(5)窒素最多量區	6.1	7.1	148	86.4	26.3	18.7	4094.5 (1091貫788)	4726.8 (1260貫482)
(6)三要素少量區	5.29	6.38	145	77.2	17.6	16.9	3490.0 (930貫668)	3738.5 (996貫855)
(7)三要素多量區	5.31	7.1	148	84.0	23.3	18.8	4096.6 (1091貫095)	4612.3 (1229貫948)
(8)無要素區	5.28	6.27	144	72.0	13.9	16.9	2265.6 (604貫001)	2563.9 (683貫708)
(9)無磷酸區	5.30	6.29	146	85.1	22.8	17.5	3904.6 (1041貫228)	4277.3 (1140貫615)
(10)磷酸少量區	5.30	6.28	145	82.6	21.5	17.5	4113.6 (1096貫961)	4345.0 (1158貫668)
(11)磷酸多量區	5.30	6.28	145	84.2	21.6	17.9	3789.7 (1010貫588)	4250.4 (1133貫441)
(12)無加里區	5.30	6.28	145	84.8	23.5	17.7	4097.5 (1092貫668)	4321.7 (1152貫455)
(13)加里少量區	5.30	6.28	145	85.1	23.1	18.3	4172.5 (1112貫668)	4443.0 (1184貫801)
(14)加里多量區	5.30	6.28	145	86.4	21.3	18.2	4010.0 (1069貫335)	4356.7 (1161貫788)

備考 五月上旬窒素多量區及窒素最多量區、三要素多量區ニハ葉イモチ病ノ發生等ニハ被害ヲ認メズ其他ハ輕微ナル被害ヲ認メタリ。

成 績 窒素ノ効果最モ顯著ニシテ磷酸、加里ハ其効果顯著ナラズ。

播種期二月三日移植期三月二十日

指數	(一ヘクタール當)		穀摺歩合		玄米 (一ヘクタール當)			品質	穂首イモチ 發生率
	立重	容量	重量	容量	重量	立重	容量		
61.3	590	4028.8 (2石334)	80.4	60.5	1908.4 (508貫907)	784	2434.7 (13石497)	上	1.8
82.0	594	5509.8 (30石544)	81.3	60.9	2658.5 (703貫934)	796	3354.7 (18石597)	上	2.6
100.0	588	6861.1 (38石035)	81.4	60.2	3251.2 (866貫988)	788	4126.8 (22石877)	上	2.6
112.1	545	8244.5 (45石703)	79.7	56.1	3577.0 (953貫868)	775	4618.1 (25石600)	上ノ下	7.5
108.6	537	7630.4 (42石299)	80.4	56.5	3290.0 (877貫334)	764	4306.7 (23石874)	中ノ上	6.6
85.9	593	5888.9 (32石645)	81.2	60.4	2831.8 (755貫148)	797	3551.9 (19石690)	上ノ中	0.9
105.9	550	7447.1 (41石283)	81.9	57.4	3314.3 (883貫814)	777	4265.9 (25石648)	上ノ下	4.0
58.9	573	3953.2 (21石915)	79.7	58.7	1805.2 (481貫387)	778	2320.8 (12石865)	上	1.7
98.2	574	6812.1 (37石763)	80.7	58.8	3149.0 (839貫734)	788	3999.1 (22石169)	上ノ下	4.4
99.8	576	7162.1 (39石708)	80.7	59.1	3317.2 (884貫586)	785	4225.4 (23石424)	上ノ下	1.5
97.6	564	6722.4 (37石266)	80.7	58.1	3056.2 (814貫988)	783	3903.5 (21石639)	上	1.3
99.3	557	7370.1 (40石856)	80.5	57.6	3296.6 (879貫094)	779	4233.5 (23石468)	上	1.2
102.0	577	7245.8 (40石167)	81.4	59.6	3393.5 (904貫934)	787	4312.2 (23貫905)	上	3.7
100.1	577	6949.4 (33石524)	81.2	59.2	3254.2 (867貫788)	793	4106.0 (22石762)	上	2.2

ヲ見、中旬ニハ稍進行セシモ、無要素區、無窒素區、三要素基準區、三要素少量區

第 二 期  
鷲

調査項目 試験ノ區別	穂抽期 月日	成熟期 月日	生育 日数	成 熟 時			穀	
				穂長	穂數	穂長	重 量	二ヶ年 平均重量
(1)無窒素區	10.6	11.11	148	119.7	9.6	22.0	2510.0 (669貫334)	2693.7 (718貫321)
(2)窒素少量區	10.6	11.12	149	124.3	8.5	22.1	2692.5 (718貫001)	2809.4 (749貫174)
(3)三要素基準區	10.7	11.12	149	124.2	11.3	23.2	2745.0 (732貫001)	2912.8 (776貫748)
(4)窒素多量區	10.8	11.13	150	129.1	12.6	22.3	2925.0 (780貫001)	3213.7 (856貫988)
(5)窒素最多量區	10.8	11.14	151	128.9	12.3	22.7	2900.0 (797貫334)	3307.6 (882貫028)
(6)三要素少量區	10.7	11.12	149	118.4	10.9	22.2	2790.0 (744貫001)	2917.3 (777貫948)
(7)三要素多量區	10.9	11.13	150	126.7	12.4	23.2	2992.5 (798貫001)	3246.1 (865貫628)
(8)無要素區	10.6	11.10	147	115.8	8.6	20.8	2457.5 (655貫334)	2653.4 (707貫574)
(9)無磷酸區	10.7	11.12	149	123.9	9.4	22.7	2765.0 (737貫334)	3073.2 (819貫521)
(10)磷酸少量區	10.7	11.12	149	122.6	10.7	22.1	2807.5 (748貫668)	3108.6 (828貫961)
(11)磷酸多量區	10.7	11.12	149	121.9	10.8	22.8	2757.5 (735貫334)	3029.6 (807貫894)
(12)無加里區	10.7	11.12	149	121.6	10.5	21.7	2820.0 (752貫001)	3045.5 (812貫134)
(13)加里少量區	10.7	11.12	149	123.1	11.7	22.1	2730.0 (728貫001)	3044.2 (811貫788)
(14)加里多量區	10.7	11.12	149	123.2	11.2	22.5	2620.0 (698貫668)	2877.3 (767貫281)

以上ノ成績ニヨレバ窒素ノ効果最モ顯著ニシテ磷酸加里之レニアグ  
磷酸

期 作  
卵 播種期六月十六日移植期七月二十七日

指數	(-ヘクタール當)		穀播歩合		支 米 (-ヘクタール當)			穂首イモ チ發生率
	立重	容 量	重量	容量	重 量	立重	容 量	
92.5	513	4892.0 (27石119)	81.9	54.5	2054.8 (547貫947)	771	2666.7 (14石783)	上ノ下 0.1
96.5	497	5425.2 (30石075)	82.3	52.5	2216.0 (590貫934)	779	2846.9 (15貫782)	上ノ下 0.1
100.0	496	5545.2 (30石740)	82.5	52.6	2265.5 (604貫134)	777	2915.2 (16石160)	上ノ下 0.3
110.3	490	5970.2 (33石096)	82.2	51.7	2404.5 (641貫201)	779	3086.7 (17石111)	中 0.3
113.6	490	6108.7 (33石864)	82.2	51.7	2456.3 (655貫014)	778	3157.5 (17石504)	中ノ下 0.4
100.2	503	5546.4 (30石746)	82.0	53.0	2287.7 (610貫054)	778	2940.3 (16石300)	中ノ上 0.25
111.4	486	6161.9 (34石158)	82.4	51.3	2464.5 (657貫201)	780	3159.4 (17石514)	中 0.2
91.1	505	4870.0 (26石997)	82.0	53.0	2015.2 (537貫387)	781	2584.6 (14石328)	上ノ下 0.2
105.5	497	5560.8 (30石826)	81.5	52.1	2254.7 (601貫254)	778	2897.6 (16石063)	中 0.5
106.7	496	5665.3 (31石406)	82.0	52.6	2302.2 (613貫921)	774	2976.7 (16石501)	中ノ上 0.3
104.0	501	5507.3 (30石530)	82.2	53.2	2265.5 (604貫134)	773	2929.9 (16石242)	上ノ中 0.2
104.6	501	5640.0 (31石265)	82.0	52.8	2314.2 (617貫121)	777	2979.6 (16石517)	中ノ上 0.6
104.5	496	5510.5 (30石547)	82.2	52.4	2245.2 (598貫721)	778	3886.4 (21石544)	中ノ上 0.4
93.8	501	5243.7 (29石068)	82.0	53.0	2148.4 (572貫907)	775	2777.4 (15石397)	中ノ上 0.4

### 六 品種ノ試作並優良系統原種保存

#### 1. 優良系統原種保存

目的 本場ニ於テ育成ノ完了セル優良系統ヲ保存試作シ將來ノ種子繼用ニ供セントス。

品 種 第一期作

内地種粳	五品種	十六系統
在來種粳	十四品種	十四系統

第二期作

在來種粳	十二品種	十八系統
在來種糯 (鶯卵糯)	二品種	十八系統

#### 2. 品種保存

目的 從來本場ニテ蒐集セル内地種ヲ保存セルモノニシテ一木植トシ栽培原種ヲ抜き取り種子用トシテ次々ニ保存シ交配用又ハ諸調査用原種ニ供ス。

品 種 第一期作

粳	三七八品種	糯	一九品種
---	-------	---	------

第二期作

粳	一七二品種	糯	四四品種
---	-------	---	------

### 2 甘 藷 作

#### 一 水田甘藷作ニ關スル試驗

(一) 品種比較試驗 (昭和四年ヨリ繼續)

目的 第一期作水田跡地用トシテ栽培スル甘藷ノ優良種ヲ州ノ内外ヨリ蒐集比較試査セントス。

供試品種	臺農一號	臺農三號	臺農九號	臺農十號
	臺農十三號	臺農十四號	臺農十六號	臺農十七號
	臺農十八號	臺農二十號	臺農二十一號	臺農二十二號

臺農二十三號 サウザンクイン ナンシンホール 白和蘭  
 七十日早 青心尾 鐵線藤 紅金瓜

區 制 一品種〇・三「アール」

經過及成績 前年本場ニテ生産セル前各品種ヲ左記耕種梗概ニ基キ四月二十日播種シ八月十九日本圃ニ植付ケ九年二月二十一日收穫セリ、耕種梗概並成績次ノ如シ。

### 耕 種 梗 概

苗 床

整 地 前年第二期作跡地ヲ深耕犁ヲ以テ二回町疇ニ犁起シ、土塊ヲ碎キ地表ヲ均一ニシ幅一米高サ四十柳ノ高畦ヲ作り中央ニ作條ヲ作ル。

肥 料 一「アール」當堆肥五〇疇ヲ施ス、堆肥ハ畦立ノ際施シ諸伏ノ際燒土ヲ適宜施シ覆土用トシテ粗穀灰ヲ施セリ。

播 種 四月二十日各畦ニ堆肥ヲ施シタル後株間三十柳毎ニ種諸ヲ頂部ヲ上ニシ稍斜ニ伏セ諸塊ノ隠ル、ヲ度トシ細碎セル燒土ヲ覆ヒ尙粗穀灰ヲ約十柳ノ厚サニ施用セリ。

本 圃

整 地 第一期作收穫後地ヲ深耕犁ニテ町疇ニ耕起シ良ク土塊ヲ碎キ畝ヲ以テ幅一米高サ四十五柳ノ高畦ヲ作り中央ニ作條ヲ切ル。

肥 料 一「ヘクタール當」  
 堆肥 七五〇〇疇(二、〇〇〇貫) 大豆粕 四五〇疇(一二〇貫)  
 過磷酸石灰三〇〇疇(八〇貫) 硫酸加里一二〇疇(二六貫六七〇)

播 種 八月十八日前記肥料ヲ施シ畝ニテ良ク土ト攪拌ノ上三十柳ノ長サニ諸苗ヲ切り株間三十柳毎ニ斜ニ挿苗シ輕ク土ヲ覆ヒ挿苗終ルト共ニ灌水翌日排水セリ。

管 理 生育中除草二回(九月六日、十月十四日)培土(十月十六日)蔓返(九月七日、十日十日)二回ヲ行ヒ過乾ノ時ハ適宜灌水セリ。

收 穫 二月二十一日  
 成 績 (一ヘクタール當)次ノ如シ。單位疇括弧内ハ貫、算用數字ハ試驗年數ヲ示ス。

收量 品種名	上 諸		屑 諸		生 莖 葉		食味
	本年收量	五ヶ年平均	本年收量	五ヶ年平均	本年收量	五ヶ年平均	
臺農一號	17,716 (4,724貫)	17,103 (4,561貫)	3,189 (850貫)	4,276 (1,140貫)	8,370 (2,232貫)	7,780 (2,075貫)	中下
臺農三號	18,810 (5,016貫)	17,966 (4,791貫)	1,811 (483貫)	2,811 (750貫)	8,048 (2,146貫)	7,441 (1,982貫)	中上
臺農九號	19,377 (5,167貫)	18,840 (5,024貫)	2,062 (550貫)	3,191 (851貫)	11,342 (3,025貫)	9,487 (2,530貫)	上下
臺農十號	19,818 (5,285貫)	18,378 (4,901貫)	1,657 (442貫)	4,397 (1,173貫)	9,751 (2,600貫)	8,275 (2,207貫)	中下
臺農十三號	11,000 (2,933貫)	10,693 (2,851貫)	1,035 (276貫)	2,577 (687貫)	10,811 (2,883貫)	8,890 (2,371貫)	上下
臺農十四號	7,968 (2,125貫)	9,333 (2,650貫)	4,750 (1,267貫)	4,218 (1,124貫)	13,210 (3,523貫)	11,633 (3,102貫)	中下
臺農十六號	9,605 (2,561貫)	11,026 (2,940貫)	3,413 (910貫)	3,427 (914貫)	14,418 (3,845貫)	11,164 (2,977貫)	中上
臺農十七號	18,225 (4,860貫)	18,086 (4,823貫)	1,594 (425貫)	2,940 (784貫)	15,562 (4,150貫)	9,903 (2,641貫)	中上
臺農十八號	17,842 (4,758貫)	17,254 (4,601貫)	1,548 (413貫)	3,671 (979貫)	13,556 (3,615貫)	10,198 (2,719貫)	中下
臺農二十號	10,863 (2,897貫)	10,635 (2,836貫)	1,387 (370貫)	1,696 (452貫)	10,124 (2,709貫)	9,546 (2,546貫)	上下
臺農二十一號	13,830 (3,688貫)	12,104 (3,228貫)	6,396 (1,706貫)	4,275 (1,167貫)	19,643 (5,238貫)	17,103 (4,561貫)	上
臺農二十二號	11,336 (3,023貫)	10,735 (2,863貫)	2,764 (737貫)	2,198 (586貫)	15,177 (4,127貫)	14,459 (3,856貫)	中

收量 品種名	上 諸		屑 諸		生 莖 葉		食味
	本年收量	五ヶ年平均	本年收量	五ヶ年平均	本年收量	五ヶ年平均	
臺農二十三號	10,423 (2,779貫)	8,396 (2,289貫)	3,913 (1,043貫)	3,651 (974貫)	8,804 (2,348貫)	10,778 (2,874貫)	上
サウザンク イン	8,833 (2,355貫)	11,161 (2,976貫)	3,189 (850貫)	2,993 (793貫)	10,485 (2,796貫)	8,900 (2,378貫)	中
ナンシンホ ール	11,982 (3,195貫)	13,062 (3,433貫)	3,136 (836貫)	3,433 (715貫)	7,106 (1,895貫)	6,963 (1,857貫)	上
白 和 蘭	14,007 (3,895貫)	13,730 (3,661貫)	3,947 (1,026貫)	2,864 (764貫)	15,157 (4,042貫)	11,399 (3,040貫)	中下
花 赤 粉	...	6,975 (1,860貫)	...	2,490 (664貫)	...	7,630 (2,035貫)	上
七 十 日 早	24,409 (6,509貫)	21,849 (5,826貫)	3,195 (852貫)	4,432 (1,182貫)	8,435 (2,249貫)	7,463 (1,991貫)	中下
青 心 尾	24,623 (6,566貫)	21,943 (5,851貫)	3,436 (916貫)	3,351 (894貫)	9,569 (2,552貫)	7,978 (2,127貫)	中
鐵 線 藤	27,053 (7,214貫)	20,690 (5,517貫)	2,456 (655貫)	3,351 (894貫)	5,522 (1,473貫)	6,340 (1,691貫)	中下
紅 金 瓜	12,637 (3,370貫)	12,693 (3,386貫)	2,154 (574貫)	2,526 (674貫)	11,336 (3,023貫)	8,781 (2,344貫)	中上

以上ニヨリ上諸收量ニ於テハ在來種ニテハ青心尾、七十日早、鐵線藤良好ナルモ何レモ生莖葉少ナク且食味劣レリ、其他改良種ハ臺農九號、十號、十七號、三號、十八號收量多ク、生莖葉ハ二十一號、二十二號、十四號、十六號多シ、收量食味等ノ點ヨリシテ臺農九號ニ次ギ臺農十七號ハ推獎スルニ足ル品種ナリトス。

### 3 緑肥作物

#### 一 水田緑肥ニ關スル試験

##### 耕種梗概

###### 第一期作用水田緑肥

整地及播種 水稻第二期作收穫後直チニ犁起シ種子ハ肥料ト良ク混交シ三〇柳毎ニ點播ス。

肥料 一「ヘクタール」當  
堆肥一二〇〇〇疋、過磷酸石灰二〇〇疋

播種量 一「ヘクタール」當  
大菜八疋、豌豆六五疋、ザードウキツケン四〇疋、苜蓿一八〇疋  
青皮豆七〇疋

###### 第二期作用水田緑肥

整地及播種 水田畦畔、圳路若クハ防風林ノ堤防等其他ノ空地ヲ利用整地シ所定ノ肥料ヲ施シヨク攪拌シタル上三月下旬條播スルモノトス。

肥料 一「ヘクタール」當  
堆肥一二〇〇〇疋、過磷酸石灰二〇〇疋

播種量 一「ヘクタール」當  
田菁二〇疋、クロタラリア・サルチアナ九疋、クロタラリア・ウサラメンシス六疋、クロタラリア・アナギロイデス三〇疋、テフロシア・キヤンデーダ三〇疋

###### (一) 第一期作用水田緑肥品種試験 (昭和三年ヨリ繼續)

目的 水田裏作トシテ州下ニ適スル緑肥ノ種類ヲ確知セントスルニアリ。

- 試験ノ區分
- 一、大菜區
  - 二、豌豆區
  - 三、ザードウキツケン區
  - 四、青皮豆區
  - 五、苜蓿區

區制 一區〇・五「アール」二區制

成績 次ノ如シ

調査項目 試験ノ區別	水稻内地種栽培跡(11月3日播)				水稻在來種(鷺卵)栽培跡 (11月29日播)			
	收穫期	草丈	一「ヘクタール」當收量		收穫期	草丈	一「ヘクタール」當收量	
			本年	五ヶ年平均			本年	六ヶ年平均
一、大菜區	2.18	83.5	6050.0	7906.7	2.12	81.4	9953.4	9346.8
二、豌豆區	2.11	108.1	5166.7(4)	6441.4	2.12	58.6	7500.0(4)	9983.3
三、ザードウキツケン區	3.7	59.9	16333.4	17831.1	3.11	31.6	9000.0	12514.0
四、青皮豆區	2.12	41.9	5416.7(4)	6744.7	3.11	28.5	3800.0(4)	5013.6
五、苜蓿區	3.11	23.9	8214.3	6275.8	3.11	28.9	8214.3(4)	5208.2

成績 水稻内地種跡ニ栽培セル(播種期早キモノ)緑肥ハ在來種(鷺卵)跡地ニ栽培(播種期遅レタルモノ)セル緑肥ヨリ概シテ成績良好ナリ、尙緑肥ノ種類ハザードウキツケン區收量最モ多ク豌豆區、大菜區、苜蓿區、青皮豆區ハ順次之レニ亞グ。

###### (二) 第二期作用水田緑肥試験 (昭和六年ヨリ繼續)

目的 第二期作用水田緑肥トシテ州下ニ適スル種類ヲ確知セントスルニアリ  
試験ノ區分 一、田菁區

- 二、クロタラリア・サルチアナ區
- 三、クロタラリア・ウサラメンシス區
- 四、クロタラリア・アナギロイデス區
- 五、テフロシア・キヤンデーダ區

成績 次ノ如シ

調査項目 試験ノ區別	播種期	收穫期		草丈	一「ヘクタール」當收量		計	三ヶ年平均
		第一回	第二回		第一回	第二回		
		月日	月日		kg	kg		
一、田菁區	4.8	7.17	10.11	112.1	23050.9	5916.7	29421.9	20510.0
二、クロタラリア・サルチアナ區	4.8	7.14	10.11	111.4	9215.9	8692.6	17908.5	14128.9
三、クロタラリア・ウサラメンシス區	4.8	7.14	10.11	116.9	9611.2	11637.0	21248.1	17594.0
四、クロタラリア・アナギロイデス區	4.8	7.14	10.11	115.1	7705.6	11208.3	18913.9	16220.4
五、テフロシア・キヤンデーダ區	4.8	7.14	10.11	101.2	10261.1	10135.2	20546.3	16381.6

備考 田菁區、收量最モ多ク・クロタラリア・ウサラメンシス、クロタラリア・アナギロイデス、クロタラリア・サルチアナ區之レニ亞ギ、テフロシア、キヤンデーダ區最モ劣レリ。

### 4 水田跡地利用作物

#### 一 水田跡地利用作物ニ關スル試驗

(一) 種類比較試驗 (昭和三年ヨリ繼續)

目的 水稻第二期作收穫後ノ休閒期ヲ利用シ有用作物ヲ栽培セントスルニ當リ如何ナル作物ヲ栽培スルヲ有利ナルヤヲ確カメムトスルニアリ。

供試作物 馬鈴薯、蘿蔔、大芥菜、莢豌豆、甘藍、球莖甘藍、花椰菜、蕃茄、燕麥  
供試面積 一區〇・二「アール」ニ區制トシ更ニ内地種栽培跡及鶯卵糯栽培跡地ニ分チ、尙防風林區ト無防風林區トニ區分セリ。

耕種梗概 各種作物大體左ニ準據セリ。

##### 1. 馬鈴薯

整地及播種 水稻第二期作收穫後幅二米ノ高畦ニ犁起シ土塊ヲ良ク細碎シ畦間五十  
五纏トシ株間三十纏毎ニ深サ十纏ノ植溝ヲ設ケ元肥ヲ施シタル後三纏  
覆土シ畝ニテ良ク土壤ト混合シタル種薯ヲ伏セ細土ヲ約六纏ノ深サニ  
覆ヘリ、播種量一ヘクタール當一・五〇〇疋トセリ。

肥料 「ヘクタール」當

肥料名	元肥	追肥		合計
		第一回	第二回	
堆肥	20000 (5333貫3)	...	...	20000 (5333貫3)
大豆粕	550 (14貫6)	..	...	550 (14貫6)
過燐酸石灰	200 (53貫3)	...	...	200 (53貫3)
人糞尿	...	4000 (1066貫7)	4000 (1066貫7)	8000 (3133貫3)

管理 1. 追肥及中耕除草

第一回 播種後二十日目

第二回 第一回終了後三週間目

2. 除藥

一株一——二本ノ強健株ヲ殘シ他ハ除藥ス

##### 2. 蘿蔔

整地及播種 水稻第二期作收穫後畦幅二米ノ高畦ニ犁起後努メテ均齊ナラシメ株間  
三十纏畦間五十纏 (聖護院ハ株間四十纏トス畦間六十七纏) ノ距離ニ

穴ヲ穿チ元肥ヲ施シ一穴五——六粒宛播種シ其上ニ輕ク覆土ス。播種  
量一「ヘクタール」七疋トス。

肥料 「ヘクタール」當

肥料名	元肥	追肥			合計
		第一回	第二回	第三回	
堆肥	20000.0 (5333貫)	...	...	...	20000.0 (5333貫)
大豆粕	400.0 (106貫667)	...	...	...	400.0 (106貫667)
人糞尿	12000.0 (3200貫0)	40,000	40,000	40,000	24000.0 (6400貫0)
過燐酸石灰	200.0 (5333貫)	...	...	...	200.0 (5333貫)

管理 發芽後二——三回間引ヲ行ヒ強健ナルモノ一株一本位トナシ適宜中耕  
除草ヲ行ヒタリ。追肥ハ三回行ヒ成長繁茂スルニ至レバ下葉ヲ除キ通  
氣ヲ良好ナラシメタリ。

##### 3. 大芥菜

苗床及播種 一平方米當堆肥四疋、人糞尿二・五疋ヲ碎土ト良ク混和シタル後幅一  
米ノ高畦ヲ作り、表面ヲ鎮壓シ人糞尿七〇〇瓦ヲ四——五倍ノ水ニ稀  
釋シ厚薄ナク床面ニ撒布シ一平方米當七瓦 (約〇・六匁) ノ種子ヲ播下  
シ細土ニテ薄ク覆土、尙其上ニ藁ヲ覆ヒオキ種子發芽ニ至ラバ之ヲ除  
キ三——五纏ニ間引ヲ行ヒ三十日後移植セリ。

本圃 第二期作水稻收穫跡地ヲ幅二米ノ高畦ニ犁起シ畦間六〇纏株間四十五  
纏ノ距離ニ植穴ヲ掘リ施肥ノ上一本宛移植ス。

肥料 十「アール」當

肥料名	元肥	追肥			合計
		第一回	第二回	第三回	
堆肥	3750 (1000貫)	...	...	...	3750 (1000貫)
大豆粕	20.0 (50貫3)	...	...	...	20.0 (50貫3)
人糞尿	1200.0 (320貫0)	40.0 (106貫7)	40.0 (106貫7)	40.0 (106貫7)	2400.0 (640貫0)
過燐酸石灰	15.0 (4貫0)	...	...	...	15.0 (4貫0)

管理 生育中二——三回中耕除草ヲ行ヒ追肥ハ中耕ト同時ニ施セリ。

4、莢 豌豆

整地及播種 水稻第二期作收穫後幅二米ノ高畦ニ犁起シ土塊ヲ良ク碎キ均齊ニナシ畦間五十五糎株間三十糎毎ニ植穴ヲ掘リ施肥シ、一穴三—四粒宛點播シ細土ヲ覆ヘリ。  
播種量十「アール」當八疋(約五斗四升トス)

肥料 十「アール」當

肥料名	元 肥	追 肥		合 計
		第 一 回	第 二 回	
堆 肥	1500 (400貫0)	...	...	1500 (400貫0)
人 糞 尿	450.0 (130貫0)	225.0 (60貫0)	225.0 (60貫0)	900.0 (240貫0)
過 燐 酸 石 灰	15.0 (4貫0)	...	...	15.0 (4貫0)
粃 殼 灰	60.0 (16貫0)	...	...	60.0 (16貫0)

管 理 生育中二—三回除草ヲ行ヒ追肥ハ第一回中耕ノ際施與セリ。

5、球莖甘藷、甘藷、花椰菜

苗床及播種 苗床及播種共大體大芥菜ニ準シテ行ヒ播種後二十日頃一回假植ヲ行フ播種量一平方米當五瓦(約〇・四勺)トシ、十「アール」當所要苗床面積球莖甘藷二十平方米、甘藷、花椰菜ハ十五平方米トセリ。

本 圃 第二期作收穫後地ヲ幅二米ノ高畦ニ犁起シ土塊ヲ良ク碎キ均齊ニセシ後畦間五五糎(甘藷ハ一米)株間三十糎(甘藷ハ六十糎)ニ植穴ヲ掘リ元肥ヲ施シ五—六葉ニ成長セル強健ナル苗ヲ一本宛移植シ移植後ハ活着スル迄毎日灌水ヲ行ナヘリ。

肥料 十「アール」當

肥料名	元 肥	追 肥			合 計
		第 一 回	第 二 回	第 三 回	
堆 肥	2500 (666貫7)	...	...	...	2500 (666貫7)
大 豆 粕	70.0 (20貫0)	...	...	...	70.0 (20貫0)
人 糞 尿	400.0 (106貫7)	400.0 (106貫7)	400.0 (106貫7)	400.0 (106貫7)	1600.0 (426貫7)
過 燐 酸 石 灰	25.0 (6貫667)	...	...	...	25.0 (6貫667)

管 理 定植後中耕除草ヲ適宜行ヒ追肥ハ其都度施與セリ。

6、燕 麥

整地及播種 水稻第二期作後地ヲ幅二米ノ直畦ニ犁起シ土塊ヲ碎キ均整トシ畦間五十五糎深サ六糎幅十糎ノ作溝ヲ設ケ施肥ノ上播種シ淺ク覆土ス、播種量—「ヘクタール」當四〇疋トス。

肥料 —「ヘクタール」當

肥料名	元 肥	追 肥	合 計
堆 肥	12000 (13200貫)	...	12000 (13200貫)
人 糞 尿	...	3750 (1000貫)	3750 (1000貫)
過 燐 酸 石 灰	200 (53貫333)	...	200 (53貫333)

管 理 播種後適宜二—三回除草中耕ヲナシ十二月下旬一回刈取人糞尿ヲ追肥シ三月中旬第二回刈取ヲ行ヘリ。

7、蕃 茄

苗床及播種 大芥菜ニ準シ苗床ヲ整地シ播下ス、播種量一平方米當四瓦(約〇・七勺)苗床面積十「アール」當十平方米トセリ。

本 圃 第二期作水稻收穫後地ヲ幅二米ノ高畦ニ犁起シ土塊ヲ碎キ均整ニセル後畦間五十五糎株間五十糎毎ニ植穴ヲ掘リ肥料ヲ施シ良キ土壤ト混合ノ上一本宛移植セリ。

肥料 十「アール」當

肥料名	元 肥	追 肥			合 計
		第 一 回	第 二 回	第 三 回	
堆 肥	1500 (400貫)	...	...	...	1500 (400貫)
人 糞 尿	400 (106貫7)	200 (53貫)	200 (53貫3)	200 (53貫3)	1000 (266貫7)
大 豆 粕	10 (2貫667)	...	...	...	10 (2貫667)
過 燐 酸 石 灰	10 (2貫667)	...	...	...	10 (2貫667)
粃 殼 灰	75 (19貫95)	...	...	...	75 (19貫95)

管 理 定植後適宜二—三回中耕除草追肥ヲ行ヒ常ニ摘芽ヲ行ヒ支柱ヲ立テ一本仕立トセリ。

成 績 次ノ如シ



1. 馬

試 驗 區	播種期	收穫期	上 薯	
			重 量	個 數
	月 日	月 日	kg	個
防風林區	内地種跡	11. 6	15,350 (4093貫3)	214,000
	鶯卵跡	12. 1	10,500 (2800貫0)	169,500
無防風林區	内地種跡	11. 6	6,300 (1680貫0)	108,250
	鶯卵跡	12. 4	10,300 (2746貫7)	163,250

無防風林區ノ内地種跡ハ過乾ノ爲發芽幾分區々ニシテ隨ツテ雨後ノ生育稍不良ナリ  
卵跡ヨリ成績良好ナルハ馬鈴薯ヲ跡地ニ栽培スルニ當リテハ防風林地帯ニ栽培シ内

2. 莢

試 驗 區		播 種 期	收 穫 期
		月 日	月 日 月 日
防風林區	内地種跡	11. 6	2.20-3.10
	鶯卵跡	12. 4	...
無防風林區	内地種跡	11. 6	2.11-3.11
	鶯卵跡	12. 4	...

内地種跡ハ鶯卵跡ニ比シ成績良好ナリ。

鈴 薯 アーリーローズ 一ヘクタール當

下 薯		合 計		累年平均
重 量	個 數	重 量	個 數	
kg	個	kg	個	kg
1,550 (413貫3)	190,500	16,900 (4506貫7)	404,500	(4) 12,260 (3269貫3)
3,500 (933貫3)	240,000	14,000 (3733貫3)	409,000	(6) 10,711 (2856貫3)
1,205 (321貫3)	148,500	7,505 (2001貫3)	256,750	(6) 7,568 (2018貫1)
1,425 (380貫0)	170,500	11,725 (3126貫7)	420,000	(6) 7,782 (2075貫2)

シガ、無防風林區ハ一ヶ月遅レノ防風林區鶯卵跡ヨリ成績悪シク、且内地種跡ハ鶯  
卵跡ニ作付スルヲ有利ナリトス。

莢 豆

收 量 (一ヘクタール當)	累 年 平 均
kg	kg
375.0 (100貫0)	(4) 752.0 (200貫5)
...	(3) 607.0 (161貫9)
629.0 (167貫7)	(6) 877.9 (234貫1)
...	(4) 307.2 (81貫9)

3. 蘿

試 験 区		播種期 月 日	聖 護 院		
			收穫期 月 日	收 量 斤	累年平均 斤
防 風 林 區	内地種跡	11. 6	2.17	30,000 (8000貫0)	(4) 20,544 (5478貫4)
	鶯卵跡	12. 4	3. 6	18,500 (2933貫3)	(6) 13,243 (3531貫5)
無 防 風 林 區	内地種跡	11. 8	2.17	11,500 (3066貫7)	(6) 18,713 (4990貫1)
	鶯卵跡	12. 4	3. 6	18,750 (5006貫0)	(6) 13,144 (3505貫1)

内地種跡ハ鶯卵跡ニ優ルモ防風林區ハ稍モスレバ虫害ニ罹リ易キヲ以テ反ツテ無防小梅花ニ比シ優良ナリ。

4. 球 莖

試 験 区		播種期 月 日	移植期 月 日	パ	
				收穫期 月 日 月 日	
防 風 林 區	内地種跡	9.26	11. 6	3. 6—3.15	
	鶯卵跡	11. 1	12. 4	苗虫害ノ爲中止	
無 防 風 林 區	内地種跡	9.26	11. 6	3.16	
	鶯卵跡	11. 1	12. 4	苗虫害ノ爲中止	

内地種跡ハ鶯卵跡ニ比シ成績良好ニシテ無防風林區ト雖モ相當ノ收量ヲ擧ゲ得ラル

葡 一ヘクタール當

大 梅 花			小 梅 花		
收穫期 月 日	收 量 斤	累年平均 斤	收穫期 月 日	收 量 斤	累年平均 斤
1.28	19,650 (5240貫0)	(4) 14,359 (3829貫1)	1.28	15,625 (4166貫7)	(4) 12,207 (3255貫2)
2.20	15,000 (4000貫0)	(6) 12,634 (3369貫1)	2.20	11,200 (2986貫7)	(4) 6,691 (1784貫3)
1.28	16,500 (4400貫0)	(6) 21,738 (5796貫8)	1.28	8,525 (2273貫3)	(4) 11,908 (3175貫5)
2.20	9,375 (2500貫0)	(6) 11,133 (2968貫8)	3. 6	21,250 (5666貫7)	(4) 14,957 (3988貫5)

風林區成績良好ナル事稀ナラズ、尙在來種ニ於テハ大梅花ハ收量、品質等ノ點ヨリ

甘 藍 一ヘクタール當

パ		ホ ヲ イ ト		
收 量 斤	累年平均 斤	收穫期 月 日 月 日	收 量 斤	累年平均 斤
12,100 (3226貫7)	(4) 18,425 (4714貫1)	2. 9—2.20	19,000 (5066貫7)	(4) 18,018 (4804貫8)
...	(5) 19,233 (5128貫8)	3. 6—3.15	18,250 (4866貫7)	(6) 14,829 (3954貫1)
6,500 (1733貫3)	(6) 20,010 (5336貫0)	2. 9—3.21	19,550 (5213貫3)	(6) 17,835 (4756貫0)
...	(5) 16,182 (4315貫2)	3. 6—3.21	14,813 (3685貫5)	(6) 14,288 (3861貫1)

尙「パープル」(紫)ハ「ホワイト」(白)ニ比シ概シテ收量多シ。

5. 大

試 験 區		播 種 期	移 植 期
		月 日	月 日
防 風 林 區	内 地 種 跡	9.26	11. 6
	鶯 卵 跡	11. 1	12. 4
無 防 風 林 區	内 地 種 跡	9.26	11. 6
	鶯 卵 跡	...	...

内地種跡ハ鶯卵跡地ヨリモ概シテ成績良好ナリ、防風林區ガ無防風林區ニ比シ成績

6. 燕

試 験 區		播 種 期	收 穫 期
		月 日	月 日
防 風 林 區	内 地 種 跡	11. 6	3.18
	鶯 卵 跡	12. 4	3.18
無 防 風 林 區	内 地 種 跡	11. 6	3.21
	鶯 卵 跡	12. 4	3.21

内地種跡ハ鶯卵跡ニ優ルハ勿論ニシテ且防風林區良好ナリ、乾草歩合ハ早播ノ分ニ

芥 菜 一ヘクタール當

收 穫 期	收 量	累 年 平 均
月 日	kg	kg
1.13	34,500 (9300貫0)	(4) 18,193 (4851貫5)
2.18	29,000 (7733貫3)	(5) 19,838 (5290貫1)
1.13	40,125 (10700貫0)	(5) 22,306 (5948貫3)
...	...	(4) 20,223 (5392貫8)

稍劣レルハ氣温ノ關係ニヨリ害虫ノ被害概シテ多カリシニ由ルモノナリ。

麥 (飼料用) 一ヘクタール當

草 丈	收 量	累 年 平 均	乾 草 歩 合
米	kg	kg	%
1.333	24,500 (6533貫3)	(3) 28,350 (7600貫0)	20.0
0.763	16,750 (4566貫7)	(6) 19,509 (5202貫4)	17.0
1.378	31,100 (8233貫3)	(6) 23,423 (6246貫1)	19.0
0.816	13,000 (3466貫7)	(6) 13,703 (3654貫1)	18.5

0%内外選播ノ分十八%以下ニアリ。

7. 花

試 験 区	播種期	移種期	ミツケルマスホワイト			
			收穫期	收 量	累年平均	
	月 日	月 日	月 日	kg	kg	
風 防 林 區	内地種跡	9.26	11. 6	2.13	6,030	(4) 7,070
				3. 4	(1608貫0)	(1835貫3)
無 防 風 林 區	内地種跡	9.26	11. 6	2.17	9,115	(4) 9,112
				3. 3	(2431貫0)	(2430貫0)
風 防 林 區	鶯卵跡	11. 1	12. 4	3. 4	4,700	(4) 6,060
				3.18	(1253貫3)	(1616貫0)
無 防 風 林 區	鶯卵跡	11. 1	12. 4	3. 4	6,800	(4) 4,402
				3. 3	(1813貫3)	(1173貫9)

試 験 区	播種期	移種期	インブルトスノーボール			
			收穫期	收 量	累年平均	
	月 日	月 日	月 日	kg	kg	
防 風 林 區	内地種跡	9.26	11. 6	2.13	11,010	(2) 8,895
				3.18	(3936貫0)	(2372貫0)
無 防 風 林 區	内地種跡	9.26	11. 6	2. 9	6,890	(2) 5,995
				3.21	(1837貫3)	(1688貫7)
風 防 林 區	鶯卵跡	11. 1	12. 4	2.17	8,250	(2) 5,825
				3.18	(2200貫0)	(1553貫3)
無 防 風 林 區	鶯卵跡	11. 1	12. 4	2.20	7,095	(2) 4,393
				3.21	(1892貫0)	(1172貫8)

防風林區ハ無防風林區ニ比シ概シテ良好ニシテ「アーリースノーボール」種最モ良ク支

椰 菜 一ヘクタール當

アーリースノーボール			支 那 種		
收穫期	收 量	累年平均	收穫期	收 量	累年平均
月 日	kg	kg	月 日	kg	kg
1.18	9,678	(4) 9,637	2. 3	6,925	(4) 7,434
2.20	(2530貫8)	(2570貫0)	2.13	(1846貫7)	(1932貫4)
2.20	9,805	(4) 9,789	2.20	8,615	(5) 6,068
3.15	(2614貫7)	(2610貫4)	3.15	(2197貫3)	(1618貫1)
1.13	7,470	(4) 10,445	2. 3	7,350	(4) 6,349
2.20	(1992貫0)	(2784貫3)	2. 9	(1960貫0)	(1693貫1)
2.20	7,095	(4) 7,073	3. 4	6,600	(4) 5,353
3.21	(1892貫0)	(1886貫1)	3.21	(1760貫0)	(1427貫5)

アーリーシヤイアント			フアストクropp		
收穫期	收 量	累年平均	收穫期	收 量	累年平均
月 日	kg	kg	月 日	kg	kg
2. 9	5,665	(3) 7,186	1.28	6,385	(1) 6,385
3. 4	(1510貫7)	(1916貫3)	3. 4	(1702貫7)	(1702貫7)
3. 4	8,000	(3) 6,541	2.17	7,745	(1) 7,745
3.18	(2133貫3)	(1744貫3)	3.15	(2065貫3)	(2065貫3)
2. 9	6,670	(3) 6,538	1.28	8,363	(1) 8,363
3. 4	(1778貫7)	(1743貫5)	2.20	(2230貫1)	(2230貫1)
3. 4	8,100	(3) 6,056	2.17	5,569	(1) 5,569
3.15	(2160貫0)	(1614貫9)	3. 4	(1485貫1)	(1485貫1)

那種之ニ亞グ。

8. 甘

試験区	播種期	移種期	パンダゴ			サクセツ		
			收穫期	收量	累年平均	收穫期	收量	
			月日	月日	月日	月日	斤	斤
防風林区	内地種跡	9.26	11.6	3.18	13,200 (853貫3)	(4) 2,997 (799貫2)	2.9 3.16	31,250 (8333貫3)
	鶯卵跡	11.1	12.4	3.18	...	(2) 1,350 (360貫0)	3.15	18,000 (4800貫0)
無防風林区	内地種跡	9.26	11.6	3.21	22,500 (6000貫0)	(4) 13,138 (3593貫5)	2.20 3.21	19,990 (5330貫7)
	鶯卵跡	11.1	12.4	3.21	630 (168貫0)	(3) 1,310 (349貫3)	3.16 3.21	13,500 (3600貫0)

試験区	播種期	移種期	カノンボール			オータム		
			收穫期	收量	累年平均	收穫期	收量	
			月日	月日	月日	月日	斤	斤
防林区	内地種跡	9.26	11.6	3.20 3.15	29,500 (7866貫6)	(3) 20,000 (5333貫3)	3.15	6,500 (1733貫3)
	鶯卵跡	11.1	12.4	3.15 3.18	10,200 (2720貫0)	(3) 12,819 (3418貫4)	3.8	11,000 (2932貫7)
無防風林区	内地種跡	9.26	11.6	2.20 3.21	17,290 (4010貫7)	(4) 15,645 (4172貫0)	3.16 3.21	10,500 (2800貫0)
	鶯卵跡	11.1	12.4	3.16 3.21	8,650 (2206貫7)	(4) 10,336 (2756貫3)	3.21	280 (74貫7)

内地種跡ニテハ「サクセツシヨン」「コペンハーゲンマーケット」、中野早生、「オータム」、中野早生、「カノンボール」等成績良好ナリキ。

藍 一ヘクタール當

シヨン	コペンハーゲンマーケット			在來種		
	累年平均	收穫期	收量	累年平均	收穫期	收量
	斤	月日	斤	斤	月日	斤
(4) 20,470 (5458貫4)	2.9 3.15	32,980 (8794貫6)	(4) 21,519 (5733貫4)	3.4 3.18	21,800 (5813貫3)	(4) 15,294 (4078貫4)
(4) 11,524 (3073貫1)	3.4 3.15	17,500 (4266貫7)	(4) 16,977 (4527貫2)	3.15 3.18	12,600 (3360貫0)	(3) 8,165 (2177貫3)
(4) 21,923 (5848貫8)	3.9 3.16	16,200 (4320貫0)	(4) 18,513 (4936貫8)	3.16 3.21	13,900 (3706貫7)	(4) 9,794 (2611貫7)
(4) 11,195 (2985貫3)	3.16 3.21	20,250 (5400貫0)	(4) 12,675 (3380貫0)	3.21	7,900 (2106貫7)	(3) 6,455 (1721貫3)

キング	オールヘッドアーリー			中野早生		
	累年平均	收穫期	收量	累年平均	收穫期	收量
	斤	月日	斤	斤	月日	斤
(3) 15,088 (4023貫5)	2.13 3.18	23,000 (6133貫3)	(2) 24,900 (6640貫0)	2.9 3.4	26,510 (7069貫3)	26,510 (7069貫3)
(2) 7,500 (2100貫0)	3.4 3.18	22,800 (6089貫0)	(2) 11,600 (3193貫3)	3.4 3.18	20,500 (5466貫7)	(1) 20,500 (5466貫7)
(3) 16,753 (4467貫5)	2.20 3.16	18,350 (4993貫3)	(2) 12,675 (3380貫0)	2.17 3.16	18,650 (4973貫3)	(1) 18,650 (4973貫3)
(2) 900 (240貫0)	3.16 3.21	16,750 (4466貫7)	(3) 7,133 (1902貫1)	3.16 3.12	16,350 (4350貫0)	(1) 16,350 (4350貫0)

ルヘッドアーリー」。在來種等成績良ク、鶯卵種跡ニ於テハ「コペンハーゲンマー

9、蕃

試 験 区		播種期	移種期	マ ツ チ レ ス		
				收穫期	收 量	未熟果收量
		月 日	月 日	月 日	斤	斤
防 風 林 區	内地種跡	10.15	11.6	3.18	14,370 (3832貫0)	...
	鶯卵跡	11.10	12.4	收穫不能	...	...
無 防 風 林 區	内地種跡	10.15	11.6	3.18	8,810 (2349貫3)	...
	鶯卵跡	11.10	12.4	收穫不能	...	...

試 験 区		播種期	移植期	プリンセスオ	
				收穫期	收 量
		月 日	月 日	月 日	斤
防 風 林 區	内地種跡	10.15	11.6	3.18	14,965 (3990貫7)
	鶯卵跡	11.10	12.4	收穫不能	...
無 防 風 林 區	内地種跡	10.15	11.6	3.18	12,170 (3245貫3)
	鶯卵跡	11.10	12.4	收穫不能	...

一月上中旬気温頗ニ低下セル爲メ寒害ヲ受ケ何レモ生育不良ニシテ鶯卵跡栽培區ハ跡地利用トシテノ蕃茄ノ栽培ハ早植程有利ニシテ十二月ニ入り植付ケシモノハ成績スベキモノ、如シ。

茄 一ヘクタール當

ベストオーガナル			ボンテローサ		
收穫期	收 量	未熟果收量	收穫期	收 量	未熟果收量
月 日	斤	斤	月 日	斤	斤
3.18	12,570 (3852貫0)	...	3.18	12,000 (3200貫0)	...
收穫不能	...	...	收穫不能	...	...
3.18	15,100 (4036貫7)	...	3.18	2,145 (572貫0)	...
收穫不能	...	...	收穫不能	...	...

ブウエルス		スパークアーリアナ		
未熟果收量	收穫期	收 量	未熟果收量	
斤	月 日	斤	斤	
...	3.18	10,310 (2749貫3)	...	
...	收穫不能	...	...	
...	3.18	8,150 (2173貫0)	...	
...	...	...	...	

何レモ收穫ヲ見ルニ至ラザリキ。

良好ナラズ結局内地種跡ニ成ル可ク早ク栽培シ、一月中旬頃ヨリ收穫スル如ク栽培

(二) 水田跡地用馬鈴

目的 水田跡地用種薯ヲ如何ナル方法ニヨリ貯藏シ自給自足シ得ルヤヲ考究  
供試方法

左記區分ニ昭和八年春本場産種薯ヲ三丘ヅ、貯藏シ毎月一回其状態ヲ

- 1、稻藁内貯藏區
- 2、川砂内貯藏區
- 3、粗殼灰内貯藏區
- 4、箱内貯藏區
- 5、粗殼内貯藏區
- 6、懸垂内貯藏區

品 種 本場産「アーリーローズ」「メークイン」、男爵薯、白早生丸形薯、極  
セリ。

經過及成績 次ノ如シ

試 験 區	品 種 名	貯藏開始(五月十三日)	
		重 量	個 數
稻 藁 内 貯 藏 區	ア ー リ ー ロ ー ズ	3,000	88
	メ ー ク イ ン	3,000	90
	男 爵 薯	3,000	70
	白 早 生	3,000	80
	極 早 生	3,000	61
川 砂 内 貯 藏 區	ア ー リ ー ロ ー ズ	3,000	88
	メ ー ク イ ン	3,000	90
	男 爵 薯	3,000	70
	白 早 生	3,000	80
	極 早 生	3,000	61
粗 殼 灰 内 貯 藏 區	ア ー リ ー ロ ー ズ	3,000	88
	メ ー ク イ ン	3,000	90
	男 爵 薯	3,000	70
	白 早 生	3,000	80
	極 早 生	3,000	61

薯種薯貯藏ニ關スル試験 (昭六年ヨリ繼續)

セムトス。

調査シ八年秋水田跡地ニ栽培セリ。

早生薯ノ五種ヲ五月十三日各區分ニ隨ヒ夫々容器ニ入レ倉庫内冷涼ナル場所ニ貯藏

貯藏終了(十一月十四日)		貯 藏 成 績
重 量	個 數	
1,690	41	九、一四調査時迄ハ異状ナカリシガ其後腐敗 個數増加セリ、上記ハ殘存個數 九、一四迄ノ 貯藏ハ前年ト同ジク稍良好
0.260	14	
0.250	8	
...	...	
0.060	3	
1,890	74	腐敗ハ割合少カリシモ、芽伸長纖弱且發根多 シ
1,880	74	同
1,850	62	同發根旺盛芽伸長長シ
1,800	70	同發根旺盛芽伸長纖弱
1,690	52	同發根旺盛芽稍強健
1,680	75	芽ノ伸長ハ中位ニシテ稍良好、九、一四以降腐 敗數増加
0.285	9	同
1.110	36	同
0.210	39	同
...	...	同

試 験 區	品 種 名	貯藏開始(五月十三日)	
		重 量	個 数
箱 内 貯 藏 區	ア ー リ ー ロ ー ズ	3,000	88
	メ ー ク イ ン	3,000	90
	男 爵 薯	3,000	70
	白 早 生	3,000	80
	極 早 生	3,000	61
籾 殻 内 貯 藏 區	ア ー リ ー ロ ー ズ	3,000	88
	メ ー ク イ ン	3,000	90
	男 爵 薯	3,000	70
	白 早 生	3,000	80
	極 早 生	3,000	61
懸 垂 貯 藏 區	ア ー リ ー ロ ー ズ	3,000	68
	メ ー ク イ ン	3,000	113
	男 爵 薯	3,000	60
	白 早 生	3,000	62
	極 早 生	3,000	61

發芽状態ハ六月十四日第一回調査時九割程度發芽シ芽長一—二纏ニシテ芽ノ伸長分ニヨリ良、不良アリ、砂區ニ於テ七月十四日調査時ヨリ稍發根ヲ認メタリ、薯面部分認メラシモ貯藏區分ニヨリ差異アリ、貯藏所ノ關係カ、又氣温ノ關係ト思料セ腐敗ハ箱貯藏最モ多ク、籾藁區及籾殻灰區之ニ亞ギ懸垂區及籾殻區稍少ナカリキ。要スルニ貯藏區分ヨリスレバ、籾殻區、懸垂區良ク、籾殻灰區稍悪ク、藁區、箱區全品種別ヨリスレバ男爵薯最モ良ク極早生、白早生モ同様ア—ローズ稍劣レリ、以上ヲ種薯トシ十一月二十二日播種セシガ發芽ハ何レモ良好十二月七日何レモ摘芽ア—ローズ概シテ良好ニシテ相當ナル收穫ヲ示シ、貯藏別ヨリスレバ藁貯藏區

貯藏終了(十一月十四日)		貯 藏 成 績
重 量	個 数	
1,260	48	八、一四調査迄ハ芽ノ伸長健全ニシテ數モ少カリシガ、九、一四調査ノ際ハ急ニ腐敗ヲ増加セリ、一〇、一四調査時全部腐敗セリ
...	...	同
...	...	同
...	...	同
0,510	17	同
1,850	74	八、一四調査時迄ハ芽ノ伸長モ健全ニシテ極良好ナリシガ九、一四調査時ヨリ腐敗ヲ生シ始メタリ
2,080	88	同
0,610	22	同
0,560	27	同
...	...	九、一四調査時全部腐敗
0,980	31	腐敗歩合概シテ少ク芽大ニシテ良好
1,650	93	同
1,720	59	同
1,730	61	同
...	...	九、一四調査時全部腐敗

ハ川砂區ハ九—一〇纏ニ及ヒシモノアルモ他ハ二—三纏程度ニテ止リ、貯藏區ノ數ハ八月十四日調査時頃ヨリ漸次認メラル、モノアリ、九月十四日調査時ニハ大ラル、ガ、九月十四日調査時ヨリ急ニ腐敗個數ヲ増加シ全滅ニ至レルモノアリシガ

部腐敗セリ、砂區ハ全部芽伸長シ根多キ事例年ニ同ジカリキ。

「メークイン」ハ腐敗少カリシモ芽ノ伸長稍纖弱ナリ。

ヲ行ヒシガ生育何レモ良好草丈三十纏内外ニシテ三月六日收穫セシガ收量男爵薯並籾殻貯藏區良ク箱、懸垂、砂、籾殻灰區之レニ亞グリ。



### 5 地方委托試験

#### 一 優良水稻品種地方試験

目的及び施行要項

純系淘汰法ニ據リ撰出セラレタル各系統又ハ内地其他ヨリ取寄セタル内地種ノ各品種試験ノ結果成績比較の優秀ト認メタル品種ヲ本場ト自然的環境ヲ異ニセル州下各地方ニ於テ試作ヲ行ヒ其ノ適否如何ヲ試査セムトスルニアリテ州下各主要街庄地方篤農家並ニ農業專修學校ニ委託經營セシム。

試験地 第一期作 十四箇所(内地種粳)  
 第二期作 十七箇所(内地種粳四箇所、在來種糯十三箇所)  
 方法 本場施行ノ生産力比較試験ニ準ズ。  
 供試品種 第一期作  
           内地種粳 十五品種  
           第二期作  
           内地種粳 十一品種      在來種糯 十五品種  
 成 結 次ノ如シ

第一期作

- (1) 新竹郡新埔庄犁頭山 (林阿養)  
 播種一月十四日 移植三月十一日 收穫六月三十日 七月五日  
 肥料  
 苗代 十「アール」當  
       堆肥一〇〇〇斤 大豆粕九〇斤 人糞尿二〇〇〇斤  
       燒土一〇〇〇斤  
 本田 一「ヘクター」當  
       堆肥一〇〇〇〇斤 大豆粕四五〇斤 過燐酸石灰九〇〇斤  
       硫酸加里二〇〇斤

品 種	項 目	出穂期	成熟期	稈長	穂數	穂長	一「ヘクタール」當精 穀重量	立重	品質
臺農	一 號	5.25	6.29	99.3	22.3	22.3	3887.8	526	中下
同	三 號	5.25	6.30	86.0	25.5	19.3	4524.2	529	上下
同	一〇 號	5.27	6.30	93.4	24.2	20.6	3545.9	510	中
同	一一 號	5.29	7. 2	94.7	25.6	20.7	4159.0	531	中下
同	一四 號	5.29	7. 3	94.8	25.0	21.5	4028.3	515	中下
同	一五 號	5.30	7. 4	91.4	25.5	20.2	3576.9	506	中上
同	一六 號	5.29	7. 3	89.1	26.1	20.8	3940.7	521	中

品 種	項 目	出穂期	成熟期	稈長	穂數	穂長	一「ヘクタール」當精 穀重量	立重	品質
臺農	二二 號	6. 1	7. 5	98.0	24.6	21.6	4236.9	536	中
同	二三 號	5.30	7. 4	94.6	23.4	20.8	3894.5	516	中下
同	二五 號	6. 1	7. 5	95.0	24.7	21.1	3774.6	527	中
比較	(臺中六五號)	6. 1	7. 3	96.3	23.5	21.3	4771.2	571	中

前記成績ニ據ルトキハ臺農三號、比較(臺中六五號)臺農二二號良好ニシテ臺農一一號、臺農一四號順次之ニ亞グモ臺農一〇號ノ收量最モ惡シキハ稻熱病ニ罹リシタメナラン。

(2) 中壠郡新屋庄埔頂 (彭 熊)

播種一月二十日 移植三月十五日 收穫七月六日

肥料

苗代 十「アール」當

堆肥三〇〇〇斤 大豆粕六五斤 過燐酸石灰四五斤

人糞尿三〇〇〇斤

本田 一「ヘクター」當

堆肥三〇〇〇斤 大豆粕五八五斤 過燐酸石灰二二五斤

硫安四五斤

品 種	項 目	出穂期	成熟期	稈長	穂數	穂長	一「ヘクタール」當精 穀重量	立重	品質
臺農	一 號	5.26	6.30	88.2	19.2	17.9	2952.1	566	中上
同	三 號	5.26	6.30	76.4	18.4	15.5	2793.2	572	上
同	一〇 號	5.28	7. 2	81.1	15.6	16.6	2764.3	568	上下
同	一一 號	5.27	7. 1	81.7	12.7	17.3	2989.5	579	中上
同	一四 號	5.30	7. 5	87.1	14.8	17.9	3178.7	532	中上
同	一五 號	5.30	7. 4	80.3	18.4	18.6	2808.0	535	中上
同	一六 號	5.29	7. 2	80.9	14.8	18.6	2947.7	539	中
同	二二 號	5.30	7. 5	87.1	13.4	19.0	2881.4	525	中
同	二三 號	5.29	7. 2	83.3	14.8	19.4	2886.7	549	中下
同	二五 號	6. 1	7. 6	81.8	16.5	18.8	2531.2	518	中下
比較	(臺中六五號)	6. 1	7. 2	80.9	14.3	16.6	2879.5	590	上下

前表ニ據ルトキハ臺農一四號、一一號、一號良好ナリ。

(3) 中壢郡觀音庄下大堀 (陳 詞)

播種一月九日 移植三月十三日 收穫六月二十一日 七月三日

肥料

苗代 十「アール」當

堆肥六〇〇斤 大豆粕五〇斤 過磷酸石灰七〇斤

人糞尿七〇〇斤

本田 一「ヘクター」當

大豆粕五〇〇斤 過磷酸石灰五〇〇斤

品 種	項 目	出穂期	成熟期	稈長	穂數	穂長	一「ヘクタール」當精 穀重量	立重	品質
		月日	月日	釐	本	釐	斤		
臺農	一四號	6.3	7.5	86.9	15.4	18.3	2380.5	515	中
同	二二號	6.3	7.6	83.6	16.6	17.4	2406.5	542	中上
同	二三號	6.1	7.3	78.9	16.5	17.6	2450.6	559	中上
三井	神力	5.28	6.30	74.4	17.5	16.4	2557.6	584	上
陸羽	一三二	5.18	6.50	82.7	15.3	15.8	2708.9	524	中
愛國		5.17	6.20	85.5	17.2	16.3	2343.1	523	上下
大阪	旭	5.22	6.24	75.7	16.0	16.8	2434.9	543	中上
比較	(臺中六五號)	6.1	7.2	83.5	16.6	17.0	3001.2	538	上下

前表ニ據ルトキハ比較良好ニシテ愛國、陸羽一三二、三井神力、順次之ニ亞グ。

(4) 桃園郡大園庄埔心 (林 昌)

播種一月二十一日 移植三月十三日 收穫七月八日

肥料

苗代 十「アール」當

堆肥四〇〇斤 大豆粕四〇〇斤 人糞尿一二〇〇斤

本田 一「ヘクター」當

堆肥五〇〇〇斤 大豆粕六五〇斤

品 種	項 目	出穂期	成熟期	稈長	穂數	穂長	一「ヘクタール」當精 穀重量	立重	品質
		月日	月日	釐	本	釐	斤		
臺農	一號	6.1	7.6	92.9	18.7	18.7	2799.1	549	上
同	三號	6.1	7.7	75.8	20.4	16.9	2972.5	562	上下
同	一〇號	6.2	7.7	81.6	18.6	17.2	2834.7	560	上下
同	一一號	6.3	7.8	82.1	18.1	18.4	2776.5	559	中上
同	一四號	6.4	7.9	86.3	13.7	19.0	2655.5	510	中
同	一五號	6.4	7.9	76.7	19.6	17.8	2486.6	515	中上
同	一六號	6.4	7.9	80.2	17.6	19.6	2678.1	529	中上
同	二二號	6.6	7.11	88.7	15.5	19.0	2456.7	513	中下
同	二三號	6.5	7.10	83.9	16.8	18.8	2731.9	550	中
同	二五號	6.6	7.11	82.1	15.7	18.6	2716.1	525	中
比較	(臺中六五號)	6.2	7.8	82.4	15.2	17.5	2888.4	581	中上

前表ニ據ルトキハ臺農三號、比較、臺農一〇號、良好ナリ。

(5) 大溪郡大溪街栗子園 (簡瑞水)

播種一月十六日 移植三月十四日 收穫七月七日

肥料

苗代 十「アール」當

堆肥四〇〇〇斤 大豆粕五〇斤 人糞尿七〇〇斤

本田 一「ヘクター」當

堆肥一〇〇〇斤 大豆粕三〇〇斤

品 種	項 目	出穂期	成熟期	稈長	穂數	穂長	一「ヘクタール」當精 穀重量	立重	品質
		月日	月日	釐	本	釐	斤		
臺農	一號	5.25	6.30	99.1	17.8	19.6	2584.6	510	中
同	三號	5.26	6.30	84.1	21.5	18.4	3046.9	515	中上
同	一〇號	5.27	7.1	89.2	17.4	19.0	2851.0	510	上
同	一一號	5.24	7.1	85.2	15.4	19.3	2795.7	534	中上

品 種	項 目	出穂期	成熟期	稈長	穂數	穂長	一「ヘクタール」當精 穀重量	立重	品質
		月日	月日	釐	本	釐	斤	元	
臺農一四號		6.3	7.4	92.6	15.2	19.2	2875.8	515	中
一五號		5.29	7.2	86.5	20.0	20.9	2610.3	513	中上
同 一六號		5.29	7.2	84.5	19.6	20.9	2793.7	531	中上
同 二二號		6.4	7.6	90.5	17.1	20.4	2956.3	527	中上
同 二三號		5.30	7.2	87.4	18.3	19.7	2723.9	528	中上
同 二五號		6.5	7.7	86.5	17.3	19.8	2661.8	517	中上
比較(臺中六五號)		5.29	7.1	92.5	16.3	18.7	3544.1	572	上

前表ニ據ルトキハ比較、臺農三號、良好ニシテ臺農二二號、一四號、一〇號順次之ニ亞グ。

(6) 竹東郡横山庄大肚 (張石水)

播種一月十四日 移植三月十四日 收穫七月十一日

肥料

苗代十「アール」當

堆肥二五〇〇斤 大豆粕五〇〇斤 人糞尿一〇〇〇斤

本田一「ヘクタール」當

堆肥一八〇〇〇斤 大豆粕六〇〇斤

品 種	項 目	出穂期	成熟期	稈長	穂數	穂長	一「ヘクタール」當精 穀重量	立重	品質
		月日	月日	釐	本	釐	斤	元	
臺農一號		6.1	7.8	88.3	16.6	17.6	3489.0	536	上
同 三號		6.1	7.7	80.4	16.5	16.5	3821.4	546	上
同 一〇號		6.2	7.8	86.0	16.0	17.4	3670.2	559	特上
同 一一號		6.4	7.10	85.2	14.1	17.3	3693.2	562	上
同 一四號		6.4	7.10	95.0	13.2	19.1	4112.5	549	上下
同 一五號		6.4	7.9	87.4	15.7	19.6	3335.4	533	上
同 一六號		6.4	7.9	85.5	16.6	20.2	3486.9	557	上
同 二二號		6.6	7.11	91.5	16.8	16.0	3676.6	550	上下

品 種	項 目	出穂期	成熟期	稈長	穂數	穂長	一「ヘクタール」當精 穀重量	立重	品質
		月日	月日	釐	本	釐	斤	元	
臺農二三號		6.5	7.10	87.4	15.1	18.4	3832.1	552	上下
同 二五號		6.6	7.11	88.9	14.4	18.7	3668.6	541	上下
比較(臺中六五號)		6.2	7.8	91.8	15.7	17.7	3879.4	576	中

前表ニ據ルトキハ臺農一四號最モ良好ニシテ順次比較、臺農二三號、三號收量多シ

(7) 竹南郡頭分庄土牛口 (陳阿廣)

播種一月十三日 移植三月十六日 收穫六月二十四日 七月三日

肥料

苗代十「アール」當

堆肥一〇〇〇斤 大豆粕五〇〇斤 人糞尿一五〇〇斤

配合肥料四〇〇斤

本田一「ヘクタール」當

大豆粕四五〇斤 過磷酸石灰二〇〇斤 硫安一〇〇斤

品 種	項 目	出穂期	成熟期	稈長	穂數	穂長	一「ヘクタール」當精 穀重量	立重	品質
		月日	月日	釐	本	釐	斤	元	
臺農一〇號		5.28	6.30	100.2	15.5	19.5	5989.9	561	中
同 一四號		5.29	6.30	99.6	14.3	20.5	4453.5	545	上
同 二三號		5.28	6.29	94.5	16.0	19.0	4147.5	561	中上
三井神力		5.21	6.23	91.6	17.6	17.9	4587.8	585	中上
陸羽一三二		5.20	6.22	94.8	13.4	19.2	4071.1	545	中
愛 國		5.20	6.24	94.9	14.6	16.9	3948.0	540	中上
大 阪 旭 曉		5.21	6.23	85.2	17.2	16.4	4693.9	582	上下
比較(臺中六五號)		5.29	6.30	99.2	14.3	19.0	4600.1	592	中

前表ニ據ルトキハ臺農一〇號、大阪旭最モ良好ニシテ比較、三井神力、臺農一四號順次相亞グ。

(8) 苗栗郡苗栗街芒埔 (劉阿任)

播種一月五日 移植三月八日 收穫七月三日

肥料

苗代 「アール」當

堆肥五〇〇〇斤 大豆粕五〇〇斤 調合肥料五〇〇斤

本田 「ヘクター」當

堆肥五〇〇〇斤 大豆粕五〇〇斤 調合肥料七〇〇斤

品種	項目	出穂期	成熟期	稈長	穂數	穂長	一「ヘクター」當精粉重量	立重	品質
		月日	月日						
臺農	一號	5.25	6.29	107.4	17.0	20.2	4342.6	556	上
同	三號	5.25	6.30	88.4	19.4	18.8	4446.2	551	上下
同	一〇號	5.27	6.30	92.5	15.8	19.1	4666.4	568	上
同	一一號	5.29	7.2	91.1	17.8	19.2	4617.4	578	上
同	一四號	5.29	7.2	98.9	15.2	19.5	4271.8	556	上
同	一五號	5.30	7.4	88.7	17.5	20.3	4207.6	561	上
同	一六號	5.29	7.3	88.0	17.0	20.4	4049.5	564	上
同	二二號	6.1	7.5	97.1	15.9	20.8	4742.5	575	上
同	二三號	5.30	7.4	94.0	14.7	20.3	4630.4	572	上
同	二五號	6.1	7.5	93.8	17.9	20.8	4691.0	571	上
比較	(臺中六五號)	6.1	7.3	93.2	16.5	18.9	4586.4	603	上

前表ニ據ルトキハ臺農二二號、二五號良好ニシテ、一〇號、二三號、一一號、順次相亞ギ良好ナリ。

(9) 新竹郡關西農林專修學校

播種一月二十一日 移植三月十日 收穫六月二十日 七月七日

肥料

苗代 「アール」當

堆肥八〇〇斤 大豆粕九〇斤 過磷酸石灰六〇斤

粃殼灰一五〇斤

本田 「ヘクター」當

堆肥五〇〇〇斤 大豆粕四五〇斤 過磷酸石灰二〇〇斤

硫安五〇斤 粃殼灰五〇〇斤

品種	項目	出穂期	成熟期	稈長	穂數	穂長	一「ヘクター」當精粉重量	立重	品質
		月日	月日						
臺農	一號	6.1	7.5	109.0	28.6	20.4	4309.2	495	中下
同	三號	5.30	7.5	87.7	28.5	16.3	4406.4	555	上
同	一〇號	6.2	7.7	98.4	22.0	18.4	5300.1	539	上
同	一一號	5.31	7.5	97.5	24.5	19.6	3594.2	543	中上
同	一四號	6.1	7.6	101.5	19.9	19.5	3417.8	545	中上
同	一五號	6.1	7.6	98.6	21.0	20.4	3600.0	480	中
同	一六號	6.1	7.6	96.2	24.2	20.6	4680.0	536	中上
同	二二號	6.3	7.8	104.0	22.3	21.0	3053.7	540	中下
同	二三號	6.2	7.7	98.4	23.1	21.9	3600.0	522	中
同	二五號	6.3	7.8	107.8	23.1	21.7	3149.8	501	中
三井	神力	5.23	6.23	94.6	23.0	17.3	4941.0	558	上下
陸羽	一三二	5.20	6.25	93.2	24.0	17.2	4401.0	503	上下
愛國		5.20	6.24	96.6	22.7	17.1	4043.5	536	上
大阪	旭	5.23	6.29	88.0	26.8	17.7	4127.5	545	上下
比較	(臺中六五號)	6.1	7.7	105.0	24.0	13.2	5124.6	583	上

前表ニ據ルトキハ臺農一〇號最モ良好ニシテ比較、三井神力、臺農一六號、三號、順次相亞ギ良好ナリ。

(10) 新竹郡湖口農業專修學校

播種一月十九日 移植三月十七日 收穫七月二日 七月十二日

肥料

苗代 「アール」當

堆肥一二五〇斤 大豆粕一五〇斤 過磷酸石灰三〇斤

落花生油粕六〇斤 粃殼灰二五〇斤

本田 「ヘクター」當

堆肥一二〇〇〇斤 大豆粕一一二五斤 過磷酸石灰五〇〇斤

硫安一六〇斤 粃殼灰一六〇〇斤

品 種	項 目	出穂期	成熟期	稈長	穂數	穂長	一「ヘクタール」當精 穀重量	立重	品質
		月日	月日						
臺農	一號	6.6	7.12	100.1	15.5	20.8	3007.0	531	上中
同	三號	6.4	7.10	92.0	21.2	19.8	2997.0	527	上中
同	一一號	6.5	7.10	95.7	19.5	21.2	4036.5	553	中上
同	一四號	6.6	7.11	100.2	16.7	19.8	2208.8	575	上下
同	一五號	6.6	7.11	96.1	19.5	20.1	3246.7	535	上下
同	一六號	6.6	7.11	92.8	19.4	20.9	2632.5	549	上中
同	二二號	6.8	7.13	99.9	19.6	20.5	2047.5	525	上
同	二三號	6.7	7.12	92.2	16.1	22.1	2167.8	566	中
同	二五號	6.8	7.13	93.1	18.9	20.7	2119.5	542	中上
三井	神力	5.28	7.3	88.4	21.7	19.9	3367.1	579	上
陸羽	一三二	5.25	6.30	100.0	24.8	18.4	2149.8	494	中
愛國		5.25	6.29	94.0	20.3	17.2	2110.5	500	中
大阪	旭	5.28	7.4	88.4	22.2	19.2	2952.0	553	上中
比較	(臺中六五號)	6.6	7.12	100.5	18.2	19.5	3954.3	580	中上

前表ニ據ルトキハ臺農一一號最良ニシテ比較、三井神力、臺農一五號、一號順次良好ナリ。

(11) 中壙郡楊梅農業專修學校

播種一月三十一日 移植三月十六日 收穫七月二日 七月十二日

肥料

苗代 十「アール」當

堆肥一二五〇斤 大豆粕一五〇斤 過磷酸石灰三〇斤

籾殻灰二五〇斤

本田 一「ヘクタール」當

堆肥一五〇〇斤 大豆粕九〇〇斤 過磷酸石灰二五〇斤

硫安一〇〇斤

品 種	項 目	出穂期	成熟期	稈長	穂數	穂長	一「ヘクタール」當精 穀重量	立重	品質
		月日	月日						
臺農	一號	6.6	7.11	96.5	22.9	17.1	2985.0	539	上中
同	三號	6.4	7.10	92.8	17.6	18.2	3226.6	566	上下
同	一〇號	6.6	7.11	83.4	18.4	18.9	3573.1	485	上下
同	一一號	6.5	7.10	84.7	19.3	17.4	3279.8	527	中
同	一四號	6.6	7.11	91.7	23.2	18.2	3464.7	509	中
同	一五號	6.6	7.12	81.8	22.7	16.3	3385.1	525	上
同	一六號	6.7	7.12	85.7	22.1	20.3	4283.5	531	上下
同	二二號	6.8	7.12	82.1	21.9	18.1	4204.8	548	上下
同	二三號	6.6	7.11	91.7	22.3	18.3	3236.2	545	上下
同	二五號	6.9	7.12	91.8	22.4	19.5	3940.9	547	中
三井	神力	5.28	7.4	85.0	22.8	16.9	3676.2	519	中上
陸羽	一三二	5.26	6.29	86.8	20.2	17.1	3867.6	518	中上
愛國		5.26	6.28	80.3	26.6	15.0	4161.5	558	上中
大阪	旭	5.28	7.4	83.4	23.7	17.0	3422.2	543	上下
比較	(臺中六五號)	6.6	7.12	91.3	19.4	19.0	4421.5	593	中上

前表ニ據ルトキハ比較良好ニシテ臺農一六號、二二號、愛國、順次相亞グ。

(12) 竹南郡後龍農業專修學校

播種一月十五日 移植三月八日 收穫六月二十六日 七月十日

肥料

苗代 十「アール」當

堆肥一二五〇斤 大豆粕一五〇斤 過磷酸石灰三三斤

籾殻灰二五〇斤

本田 一「ヘクタール」當

堆肥一二〇〇〇斤 大豆粕一三〇〇斤 過磷酸石灰五〇〇斤

籾殻灰一六〇〇斤

品 種	項 目	出穂期	成熟期	稈長	穂數	穂長	一「ヘクタール」當精 穀重量	立重	品質
臺農	一五號	6.4	7.9	89.4	37.3	22.7	4224.5	552	上
同	一六號	6.4	7.9	95.8	52.4	24.1	4106.2	447	上
同	二二號	6.6	7.11	107.2	34.6	24.8	2277.9	499	上中
同	二三號	6.5	7.10	100.4	31.3	22.7	4485.6	582	中上
同	二五號	6.6	7.11	94.5	35.0	23.1	4648.0	527	上下
三井	神力	5.22	6.27	95.1	39.0	23.9	5352.0	594	上中
陸羽	一三二	5.20	6.24	95.6	49.9	20.8	1929.6	544	中上
愛	國	5.19	6.23	94.4	31.3	25.1	1938.5	538	中
大阪	旭	5.23	6.28	80.5	36.4	21.2	4059.8	577	上
比較	(臺中六五號)	6.4	7.9	101.6	27.4	21.8	2417.4	558	上下

前表ニ據ルトキハ三井神力最良ニシテ臺農二五號、二三號、之ニ亞ギ良好ナリ。

(13) 苗栗郡公館農業專修學校

播種一月十八日 移植三月十八日 收穫七月三日 七月十二日

肥料

苗代 十「アール」當

堆肥一〇〇〇斤 大豆粕九〇斤 過磷酸石灰二〇斤

木灰一五〇斤

本田 一「ヘクタール」當

堆肥一五〇〇〇斤 大豆粕九〇〇斤 過磷酸石灰三〇〇斤

硫安一〇〇斤 粃殼灰一六〇〇斤

品 種	項 目	出穂期	成熟期	稈長	穂數	穂長	一「ヘクタール」當精 穀重量	立重	品質
臺農	一號	6.6	7.12	103.1	18.3	19.6	2605.1	570	上
同	三號	6.4	7.10	83.0	21.7	17.3	3311.2	580	上
同	一〇號	6.7	7.12	91.0	17.4	17.7	3310.6	594	上
同	一一號	6.5	7.10	87.9	15.8	19.2	2812.7	582	上下

品 種	項 目	出穂期	成熟期	稈長	穂數	穂長	一「ヘクタール」當精 穀重量	立重	品質
臺農	一四號	6.6	7.11	91.8	13.6	17.7	2773.5	572	上下
同	一五號	6.6	7.11	90.2	17.6	22.4	2790.3	551	上中
同	一六號	6.6	7.11	79.1	17.3	18.8	2482.3	573	上中
同	二二號	6.8	7.13	85.3	13.4	19.2	2492.3	583	中上
同	二三號	6.7	7.12	85.5	13.0	22.1	2395.9	587	中上
同	二五號	6.8	7.13	85.7	13.1	20.3	2166.7	572	中上
三井	神力	5.28	7.3	87.0	15.1	18.6	2805.2	612	上
愛	國	5.25	6.29	86.0	12.5	16.9	2559.4	556	上中
大阪	旭	5.25	7.4	75.2	13.2	18.4	2025.5	619	上
比較	(臺中六五號)	6.6	7.12	94.7	15.4	18.9	3120.0	606	上下

前表ニ據ルトキハ臺農三號、一〇號良好ニシテ比較、臺農一一號相亞ギ良好ナリ。

(14) 苗栗郡苑裡農業專修學校

播種一月十九日 移植三月二十八日(旱魃ノタメ移植遅ル)

收穫七月十日 七月十九日

肥料

苗代 十「アール」當

堆肥一二五〇斤 大豆粕一五〇斤 過磷酸石灰六七斤

粃殼灰二五〇斤

本田 一「ヘクタール」當

堆肥一〇〇〇〇斤 大豆粕一一二五斤 過磷酸石灰五〇〇斤

硫安一三〇斤 粃殼灰一七〇〇斤

品 種	項 目	出穂期	成熟期	稈長	穂數	穂長	一「ヘクタール」當精 穀重量	立重	品質
臺農	一號	6.13	7.18	116.7	20.9	21.5	3904.2	569	上下
同	三號	6.11	7.17	84.7	25.3	18.1	3198.0	594	上
同	一一號	6.12	7.17	93.6	16.5	19.4	3313.6	586	上下
同	一四號	6.13	7.18	94.8	14.1	20.4	2264.8	560	中上

品 種	項 目		出穂期	成熟期	稈長	穂數	穂長	一「ヘクタール」當精 穀重量	立重	品質
	月日	月日								
臺農一五號	6.13	7.19	91.2	15.6	22.0	1938.0	546	上		
同 一六號	6.14	7.19	89.5	22.0	21.6	2414.0	541	上中		
同 二二號	6.15	7.19	104.6	19.5	21.8	3824.0	582	中上		
同 二三號	6.13	7.18	96.3	21.9	20.7	2613.0	607	上中		
同 二五號	6.16	7.19	96.7	20.2	21.5	3160.0	568	中		
三井神力	6.4	7.11	82.8	17.1	20.1	2048.0	568	中下		
陸羽一三二	6.2	7.6	97.3	28.2	17.8	1273.0	526	中下		
愛國	6.2	7.5	93.2	23.4	17.6	1216.0	534	中		
比較(臺中六五號)	6.13	7.19	101.3	19.2	19.0	4026.2	611	上中		

前表ニ據ルトキハ比較良好ニシテ臺農一號、二二號、一一號順次之ニ亞ギ良好ナリ  
尙愛國、陸羽一三二號ノ收量惡シキハ雀害ノ甚シキニ據ル。

第二期作

(1) 新竹郡新埔庄犁頭山 (林阿養)

播種六月二十二日 移植七月二十四日 收穫十一月十一日

肥料

苗代 十「アール」當

堆肥一〇〇〇斤 大豆粕九〇斤

本田 一「ヘクタール」當

堆肥一〇〇〇斤 大豆粕五〇〇斤

品 種	項 目		出穂期	成熟期	稈長	穂數	穂長	一「ヘクタール」當精 穀重量	立重	品質
	月日	月日								
新竹鶯卵一號	10.11	11.11	115.7	12.9	20.4	3511.3	513	上		
同 四號	10.11	11.11	114.9	12.2	22.0	3770.3	513	上中		
同 五號	10.11	11.12	119.5	13.8	21.5	3478.4	511	上		
同 七號	10.10	11.10	117.9	13.5	21.8	3803.9	507	上中		

品 種	項 目		出穂期	成熟期	稈長	穂數	穂長	一「ヘクタール」當精 穀重量	立重	品質
	月日	月日								
新竹鶯卵八號	10.10	11.10	115.5	13.3	23.1	3517.4	500	上		
同 九號	10.10	11.10	119.8	11.9	22.2	3790.9	493	上下		
鶯卵五九號	10.11	11.12	127.1	12.3	23.7	3260.6	493	上下		
同 一一七號	10.11	11.12	122.8	12.1	24.1	3415.2	505	上		
同 一九三號	10.10	11.11	123.4	12.3	24.3	3225.8	488	上中		
同 五七〇號	10.12	11.14	120.6	14.7	23.2	3606.1	523	上		
比較(新竹鶯卵 一一號)	10.11	11.12	129.2	12.3	23.0	3851.0	507	上中		

前表ニ據ルトキハ比較、新竹鶯卵七號、九號、四號等相亞ギ良好ナリ。

(2) 中壠郡新屋庄埔頂 (彭 熊)

播種六月十四日 移植七月十八日 收穫十一月六日

肥料

苗代 十「アール」當

堆肥三〇〇斤 大豆粕二〇斤 過磷酸石灰一〇斤

人糞尿三〇〇斤

本田 一「ヘクタール」當

大豆粕五〇〇斤 過磷酸石灰二〇〇斤

品 種	項 目		出穂期	成熟期	稈長	穂數	穂長	一「ヘクタール」當精 穀重量	立重	品質
	月日	月日								
新竹鶯卵一號	9.30	11.6	110.5	9.0	21.5	2664.6	534	中		
同 四號	10.1	11.5	107.6	9.9	20.4	2602.4	528	中下		
同 五號	9.30	11.5	114.5	9.9	21.1	2310.6	525	中		
同 七號	10.1	11.6	108.6	11.5	20.3	3052.0	525	中上		
同 八號	10.1	11.5	112.0	10.6	21.6	3241.8	513	中		
同 九號	9.30	11.4	113.3	10.8	20.9	2659.6	521	中		
鶯卵五九號	10.1	11.5	113.3	10.8	22.0	2417.2	517	中		
同 一一七號	9.29	11.4	114.6	11.1	21.9	2536.5	519	中上		

品 種	項 目		出穂期	成熟期	稈長	穂數	穂長	一「ヘクタール」當精 穀重量	立重	品質
	月日	月日								
鷺 卵 一 九 三 號	9.28	11.3	116.4	10.3	21.4	2518.8	506	中下		
同 五 七 〇 號	9.30	11.4	112.2	10.6	20.4	2946.3	538	中		
比較 (新竹鷺卵 一 一 號)	9.30	11.4	115.5	9.6	22.0	2443.3	525	中		

前表=據ルトハキ新竹鷺卵八號最良ニシテ七號、五七〇號之ニ亞ギ良好ナリ。

(3) 桃園郡八塊庄八塊 (楊啓能)

播種六月十三日 移植七月二十一日 收穫十一月五日

肥 料

苗代 十「アール」當

堆肥二〇〇斤 大豆粕一〇斤 過燐酸石灰五斤

本田 一「ヘクタール」當

大豆粕六〇〇斤 過燐酸石灰三五〇斤 落花生油粕一〇〇斤

品 種	項 目		出穂期	成熟期	稈長	穂數	穂長	一「ヘクタール」當精 穀重量	立重	品質
	月日	月日								
新 竹 鷺 卵 一 號	10.2	11.7	120.8	10.7	21.0	3005.6	508	中上		
同 四 號	10.2	11.7	121.2	11.3	22.1	2582.1	490	中上		
同 五 號	10.2	11.8	121.3	10.7	22.8	2453.7	496	中上		
同 七 號	10.2	11.7	121.7	12.3	22.1	2984.7	495	中		
同 八 號	10.1	11.6	121.8	12.7	22.8	2530.6	478	中		
同 九 號	10.2	11.7	125.7	13.6	22.8	3990.4	500	中		
鷺 卵 五 九 號	10.2	11.8	125.7	12.9	22.6	2487.4	484	中		
同 一 一 七 號	10.1	11.7	130.1	11.4	24.9	1986.6	475	中上		
同 一 九 三 號	9.30	11.6	129.4	10.5	25.1	3030.9	469	中		
同 五 七 〇 號	10.2	11.8	126.0	13.3	22.7	3134.8	507	上下		
比較 (新竹鷺卵 一 一 號)	10.1	11.6	123.9	10.9	22.5	2552.1	498	中上		

前表=據ルトハキ鷺卵五七〇號最良ニシテ九號、一九三號、一號等相亞ギ良好ナリ

(4) 大溪郡大溪街粟子園 (簡瑞水)

播種六月十日 移植七月十八日 收穫十一月四日

肥 料

苗代 十「アール」當

堆肥八〇〇斤 大豆粕二〇斤

本田 一「ヘクタール」當

大豆粕七〇〇斤

品 種	項 目		出穂期	成熟期	稈長	穂數	穂長	一「ヘクタール」當精 穀重量	立重	品質
	月日	月日								
新 竹 鷺 卵 一 號	9.29	11.4	120.8	13.5	22.6	3109.8	511	中上		
同 四 號	10.4	11.6	118.2	13.4	23.8	3046.8	512	上下		
同 五 號	10.5	11.4	118.8	12.5	21.4	3173.8	514	上下		
同 七 號	9.30	11.4	115.1	12.9	22.0	3295.1	508	中上		
同 八 號	10.2	11.3	117.5	10.8	22.2	2972.0	501	中上		
同 九 號	9.30	11.5	120.4	12.7	24.5	3014.1	501	中上		
鷺 卵 五 九 號	10.3	11.5	120.8	11.5	23.0	2765.4	501	中上		
同 一 一 七 號	9.29	11.4	119.9	11.6	23.0	2869.0	496	中上		
同 一 九 三 號	9.27	11.2	122.1	12.2	23.6	2414.2	479	中上		
同 五 七 〇 號	9.30	11.4	120.4	11.5	23.3	2874.0	520	上下		
比較 (新竹鷺卵 一 一 號)	9.30	11.5	120.9	16.8	22.8	3144.5	505	中上		

前表=據ルトハキ新竹鷺卵七號最良ニシテ五號、比較、一號相亞ギ良好ナリ。

(5) 竹東郡橫山庄大肚 (何阿賢)

播種六月十九日 移植七月二十六日 收穫十一月十五日

肥 料

苗代 十「アール」當

堆肥三〇〇斤 大豆粕一〇〇斤 落花生油粕二〇斤

本田 一「ヘクタール」當

堆肥三〇〇〇斤 大豆粕四五〇斤 硫安一〇〇斤



品 種	項 目	出穂期	成熟期	稈長	穂數	穂長	一「ヘクタール」當精 穀重量	立重	品質
新竹鷺卵一號		10.6	11.12	118.1	12.2	21.9	3870.5	509	上
同 四 號		10.7	11.12	116.5	12.6	22.2	4229.5	514	上下
同 五 號		10.6	11.12	119.3	13.0	21.8	3925.2	503	上
同 七 號		10.8	11.13	116.0	12.8	22.6	4473.2	512	上
同 八 號		10.6	11.12	115.6	13.0	22.4	4623.9	503	上
同 九 號		10.5	11.11	124.6	12.0	23.0	4473.1	504	上中
鷺卵五九號		10.7	11.12	129.3	12.4	24.6	3806.9	491	上中
同 一一七號		10.6	11.12	126.2	11.3	24.0	3703.0	487	上中
同 一九三號		10.6	11.12	126.0	12.6	21.8	3767.2	479	上下
同 五七〇號		10.7	11.12	120.9	15.6	23.0	3873.3	512	上
比較(新竹鷺卵 一一號)		10.6	11.12	120.3	12.1	22.0	4361.1	504	上中

前表ニ據ルトキハ新竹鷺卵八號最良ニシテ七號、九號、比較、四號相亞ギ良好ナリ

(6) 竹南郡頭分庄土牛口 (陳阿廣)

播種六月十九日 移植七月二十七日 收穫十一月十一日

肥料

苗代 十「アール」當

堆肥三〇〇斤 大豆粕七五斤 過燐酸石灰一〇斤

本田 一「ヘクタール」當

大豆粕六五〇斤 調合肥料四五〇斤

品 種	項 目	出穂期	成熟期	稈長	穂數	穂長	一「ヘクタール」當精 穀重量	立重	品質
新竹鷺卵一號		9.28	11.8	122.2	9.7	21.3	3012.4	536	上中
同 四 號		9.30	11.10	119.1	9.9	20.6	3158.1	532	上中
同 五 號		10.2	11.12	121.2	10.2	21.8	3068.0	541	上中
同 七 號		9.29	11.9	120.6	9.6	20.9	3154.9	544	上中

品 種	項 目	出穂期	成熟期	稈長	穂數	穂長	一「ヘクタール」當精 穀重量	立重	品質
新竹鷺卵八號		9.29	11.10	121.9	9.6	21.6	3289.2	515	上中
同 一〇號		9.30	11.10	120.7	9.1	21.3	3273.8	518	上下
鷺卵五九號		9.31	11.11	125.8	10.4	22.3	3005.5	512	中上
同 一一七號		10.1	11.11	128.2	10.4	23.0	3125.6	520	上中
同 一九三號		9.29	11.10	123.8	9.5	22.3	2787.9	496	中上
同 五七〇號		9.31	11.12	122.8	11.9	21.3	3349.5	540	上
比較(新竹鷺卵 一一號)		9.31	11.11	121.9	9.8	21.8	3116.4	528	上下

前表ニ據ルトキハ鷺卵五七〇號最良ニシテ新竹鷺卵八號、一〇號、四號、七號等相亞ギ良好ナリ。

(7) 苗栗郡苗栗街芒埔 (劉阿任)

播種六月二十日 移植七月二十九日 收穫十一月十三日

肥料

苗代 十「アール」當

堆肥一〇〇〇斤 大豆粕九〇斤

本田 一「ヘクタール」當

大豆粕四〇〇斤 調合肥料四〇〇斤

品 種	項 目	出穂期	成熟期	稈長	穂數	穂長	一「ヘクタール」當精 穀重量	立重	品質
新竹鷺卵一號		10.5	11.12	124.0	11.0	22.0	4512.8	502	上
同 四 號		10.6	11.13	123.2	11.3	21.6	4685.0	487	上中
同 五 號		10.5	11.11	128.0	10.0	27.9	3706.1	511	上
同 七 號		10.6	11.13	130.4	12.2	23.6	4511.5	492	上
同 八 號		10.6	11.14	131.4	11.2	22.6	4767.1	485	上
同 一〇號		10.6	11.13	131.8	9.5	23.8	4155.5	487	上中
鷺卵五九號		10.4	11.11	134.0	11.9	24.8	4273.5	483	上下
同 一一七號		10.6	11.13	130.4	11.5	24.1	4183.7	499	上

品 種	項 目		出穂期	成熟期	稈長	穂數	穂長	一「ヘクタール」當精 穀重量	立重	品質
	月日	月日								
鶯 卵 一 九 三 號	10. 6	11.13	135.9	11.0	23.4	4159.6	484	上下		
同 五 七 〇 號	10. 6	11.13	141.6	12.1	24.3	4597.2	439	上		
比較 (新竹鶯卵 一 一 號)	10. 6	11.12	131.3	11.4	22.1	4134.8	503	上中		

前表ニ據ルトキハ新竹鶯卵八號最良ニシテ四號、五七〇號、一號、七號相亞ギ良好ナリ。

(8) 大湖郡卓蘭庄卓蘭 (陳叫咆)

播種六月二十四日 移植七月二十六日 收穫十一月十四日

肥料

苗代 十「アール」當

大豆粕一〇〇斤 硫安二〇斤

本田 一「ヘクタール」當

堆肥一五〇〇〇斤 大豆粕四五〇斤 硫安一〇〇斤

品 種	項 目		出穂期	成熟期	稈長	穂數	穂長	一「ヘクタール」當精 穀重量	立重	品質
	月日	月日								
新 竹 鶯 卵 一 號	10. 1	11.13	143.0	14.2	22.8	4644.2	524	上		
同 四 號	10. 2	11.15	137.8	16.8	23.8	4710.4	507	上下		
同 五 號	10. 3	11.15	137.9	15.8	23.3	4542.8	501	上中		
同 七 號	10. 2	11.15	138.4	16.5	23.2	4768.8	459	上下		
同 八 號	10. 3	11.15	136.5	16.2	26.1	4395.3	508	上		
同 一 〇 號	10. 3	11.15	137.5	14.7	24.1	5060.8	476	上中		
鶯 卵 五 九 號	10. 2	11.15	141.3	14.5	23.4	4355.7	440	上下		
同 一 一 七 號	10. 4	11.15	141.5	15.0	26.4	4490.4	492	上		
同 一 九 三 號	10. 1	11.14	143.9	15.2	26.5	4376.9	366	上下		
同 五 七 〇 號	10. 2	11.15	140.6	16.2	23.9	4588.1	499	上		
比較 (新竹鶯卵 一 一 號)	10. 2	11.13	135.6	15.3	23.6	5223.1	517	上		

前表ニ據ルトキハ比較良好ニシテ新竹鶯卵一〇號、七號、四號相亞ギ良好ナリ。

(9) 竹南郡後龍農業專修學校

播種六月二十四日 移植七月二十八日 收穫十一月十五日

肥料

苗代 十「アール」當

堆肥六六六斤 大豆粕一〇〇斤 人糞尿一七一六斤

粃殼灰一六六斤

本田 一「ヘクタール」當

堆肥八三〇〇斤 大豆粕八五五斤 過磷酸石灰五〇〇斤

硫安一三三斤 粃殼灰一六六六斤

品 種	項 目		出穂期	成熟期	稈長	穂數	穂長	一「ヘクタール」當精 穀重量	立重	品質
	月日	月日								
新 竹 鶯 卵 七 號	10.15	11.18	116.2	12.4	16.1	2820.5	494	中下		
同 八 號	10.16	11.14	113.0	18.8	13.8	2556.8	493	中下		
同 九 號	10.16	11.13	111.4	12.0	16.2	1800.0	506	中下		
同 一 〇 號	10.16	11.13	118.3	19.3	11.0	2564.1	514	中下		
同 一 二 號	10.16	11.13	111.5	12.2	17.6	2871.7	521	中下		
鶯 卵 四 〇 號	10.16	11.13	109.8	12.6	17.2	2314.2	523	中下		
同 五 九 號	10.17	11.14	119.0	12.2	18.2	2556.8	502	中下		
同 一 一 七 號	10.15	11.12	121.7	11.1	20.3	2358.9	509	中下		
同 一 九 三 號	10.12	11.12	122.1	12.0	19.9	1919.3	500	中下		
同 五 七 〇 號	10.12	11.12	116.7	12.0	18.1	2000.0	522	中下		
比較 (新竹鶯卵 一 一 號)	10.16	11.13	116.2	11.7	18.5	2156.4	516	中下		

前表ニ據ルトキハ新竹鶯卵十二號最良ニシテ是ニ亞ギ七號、十號、八號、五九號順次良好ナリ。

(10) 苗栗郡公館農業專修學校

播種六月二十五日 移植七月二十六日 收穫十一月十六日

肥料

苗代 十「アール」當

堆肥一六六六斤 過磷酸石灰五〇〇斤 木灰三三三斤

本田 「ヘクター」當

堆肥一六六六七斤 大豆粕八三三斤 過燐酸石灰五〇〇斤

硫安一三三斤 硫酸加里一〇〇斤 粃殼灰一六六六斤

品 種	出穂期	成熟期	稈長	穂數	穂長	一「ヘクタール」當精 穀重量	立重	品質
新竹鷺卵七號	10.9	11.16	126.7	11.7	23.5	3264.8	510	中上
同 八 號	10.9	11.16	128.1	12.6	24.6	4558.4	504	上下
同 九 號	10.10	11.16	121.2	9.6	22.7	3940.9	509	上下
同 一〇號	10.10	11.16	125.2	13.1	23.4	3967.2	495	中上
同 一二號	10.8	11.16	124.1	10.5	21.4	4280.8	502	中上
鷺卵四〇號	10.8	11.16	122.2	9.8	23.7	3264.0	524	中上
同 五九號	10.9	11.16	125.8	12.1	22.8	3504.2	503	中上
同 一一七號	10.5	11.16	129.9	12.4	25.4	3902.7	496	上中
同 一九三號	10.6	11.16	133.4	12.8	25.7	3578.0	491	中上
同 五七〇號	10.10	11.16	130.3	12.3	23.5	3478.3	492	上下
比較(新竹鷺卵 一一號)	10.8	11.16	123.1	12.7	23.1	3720.2	515	中上

前表ニ據ルトキハ新竹鷺卵八號最良ニシテ十二號是ニ亞ギ一〇號、九號、一一七號  
順次相亞グ。

(11) 苗栗郡苑裡農業專修學校

播種六月二十九日 移植七月三十日 收穫十一月二十四日

肥料

苗代 十「アール」當

過燐酸石灰五〇斤 粃殼灰三三三斤

本田 一「ヘクター」當

堆肥一一六六六斤 大豆粕一三三三斤 過燐酸石灰五〇〇斤

硫安一三三斤 粃殼灰一六六六斤

品 種	出穂期	成熟期	稈長	穂數	穂長	一「ヘクタール」當精 穀重量	立重	品質
新竹鷺卵七號	10.16	11.16	118.2	10.6	21.3	3854.0	521	中上
同 八 號	10.16	11.13	118.9	10.9	21.8	3067.2	525	中上
同 九 號	10.16	11.13	112.6	12.6	20.8	3526.0	525	中上
同 一〇號	10.14	11.12	119.6	11.0	21.4	3578.4	533	中上
同 一二號	10.16	11.13	116.1	12.2	20.4	2744.0	499	中
鷺卵四〇號	10.16	11.13	110.6	7.9	19.7	3593.9	530	中上
同 五九號	10.16	11.14	115.6	10.3	19.0	3643.2	513	中
同 一一七號	10.12	11.12	125.0	11.7	18.4	3122.8	521	中上
同 一九三號	10.13	11.13	122.4	12.0	16.4	3304.0	477	中
同 五七〇號	10.16	11.13	124.0	11.2	19.3	2720.0	514	中
比較(新竹鷺卵 一一號)	10.15	11.13	116.8	9.6	18.7	3378.4	527	中上

前表ニ據ルトキハ新竹鷺卵七號最良ニシテ五九號、四〇號、一〇號、九號順次相亞  
ギ良好ナリ。

本州下ニ於テ水稻第二期作收穫ニ際シ季節風ノ被害ニ依ル減收少シトセズ、特ニ桃  
園及中壠郡下海岸地方米作ニ於テ著シク、是等地方ニ於テ風ニ對スル抵抗性ノ強キ  
品種ヲ撰出スル目的ヲ以テ特ニ試作ヲ行ヘリ。

即チ成績(12)、(13)ノ二箇所トス。

尙ホ成績(14)以下ハ夫々内地種ノ試作結果ヲ示セリ。

(12) 中壠郡觀音庄觀音 (張萬生)

播種六月二十日 移植七月二十五日 收穫十一月十四日

肥料

苗代 十「アール」當

人糞尿五〇〇斤 燒土三〇〇斤

本田 一「ヘクター」當

堆肥三〇〇〇斤 大豆粕二〇〇斤 過燐酸石灰一〇〇斤

品 種	項 目	出穂期	成熟期	稈長	穂數	穂長	一「ヘクタール」當精 穀重量	立重	品質
		月日	月日						
新 竹 鷺 卵	一 號	10.5	11.13	111.7	8.6	20.8	1994.6	480	中下
同	四 號	10.5	11.14	110.5	8.7	20.5	1953.2	466	中下
同	五 號	10.7	11.14	113.0	8.8	20.7	1660.3	473	中下
同	七 號	10.6	11.14	111.3	9.2	21.2	2090.5	473	中下
同	八 號	10.7	11.14	112.6	10.0	21.3	1699.0	466	中下
同	九 號	10.7	11.14	110.0	11.0	20.9	1883.3	466	中下
鷺 卵	五 九 號	10.6	11.14	115.9	7.5	21.1	1613.6	460	中下
同	一 一 七 號	10.8	11.15	112.0	8.4	22.0	1771.7	465	中下
同	一 九 三 號	10.7	11.14	116.0	6.9	21.9	1514.5	486	中下
同	五 七 〇 號	10.8	11.15	114.3	6.5	21.3	1723.1	475	中
比 較	(新 竹 鷺 卵 一 一 號)	10.5	11.13	112.9	8.9	20.4	1917.8	466	中下

前表ニ據ルトキハ新竹鷺卵七號、一號、四號、比較順次良好ナリ。  
尙ホ各系統ト風害ヲ見ルニ其ノ差判然クラザルモ新竹鷺卵五號、八號、鷺卵五九號  
一九三號等ハ風害大ナルモノ、如シ。

(13) 桃園郡大園庄大園 (蔡 義)

播種六月十二日 移植七月十四日 收穫十一月三日

肥 料

苗代 十「アール」當

豚糞尿一〇〇〇斤

本田 一「ヘクタール」當

堆肥七〇〇〇斤 大豆粕五〇〇斤 過燐酸石灰三〇〇斤

品 種	項 目	出穂期	成熟期	稈長	穂數	穂長	一「ヘクタール」當精 穀重量	立重	品質
		月日	月日						
新 竹 鷺 卵	一 號	9.28	11.3	121.8	9.4	20.8	2726.0	501	中
同	四 號	9.29	11.4	119.5	8.5	22.6	2609.8	488	中下

品 種	項 目	出穂期	成熟期	稈長	穂數	穂長	一「ヘクタール」當精 穀重量	立重	品質
		月日	月日						
新 竹 鷺 卵	五 號	9.27	11.2	120.7	9.9	21.8	2601.8	497	中下
同	七 號	9.30	11.4	117.8	10.5	20.6	2752.1	490	中下
同	八 號	9.29	11.2	121.9	8.3	22.5	2546.6	471	中下
同	九 號	9.29	11.3	118.5	10.1	20.7	2879.5	493	中下
鷺 卵	五 九 號	9.30	11.4	127.0	8.9	23.2	2500.2	482	中下
同	一 一 七 號	9.28	11.3	124.6	9.8	22.5	2650.3	484	中
同	一 九 三 號	9.27	11.2	127.3	8.9	22.9	2225.8	482	中下
同	五 七 〇 號	9.30	11.4	124.0	9.7	22.1	2712.7	513	中上
比 較	(新 竹 鷺 卵 一 一 號)	9.29	11.3	121.4	9.5	21.4	2653.6	484	中下

前表ニ據ルトキハ新竹鷺卵九號、七號、一號等良好ナリ。

尙ホ各系統ニ對スル風害程度ヲ調査セシニ各系統略々大差ナキガ如キモ新竹鷺卵八  
號、鷺卵五九號、一九三號等被害稍大ナルモノ、如ク、且ツ鷺卵一一七號ハ稈軟弱  
ノ感アリ。

該耐風品種選擇試驗ニ對シテハ確實ヲ期スルベク累ネテ之ヲ行ノ事トス。

(14) 新竹郡新埔庄犁頭山 (林阿養)

播種七月十一日 移植七月二十七日 收穫十月二十四日

肥 料

苗代 十「アール」當

堆肥一〇〇〇斤 大豆粕九〇斤

本田 一「ヘクタール」當

堆肥一〇〇〇〇斤 大豆粕五〇〇斤

品 種	項 目	出穂期	成熟期	稈長	穂數	穂長	一「ヘクタール」當精 穀重量	立重	品質
		月日	月日						
臺 農	一 號	9.24	10.25	96.7	17.0	19.8	3416.2	548	中
同	三 號	9.22	10.23	78.8	21.4	17.2	4128.0	550	上中

品 種	項 目	出穂期	成熟期	稈長	穂數	穂長	一「ヘクタール」當精穀重量	立重	品質
臺農	一〇號	9.26	10.27	82.9	17.0	17.7	3930.8	550	中上
同	一四號	9.20	10.21	86.8	13.0	17.9	3973.3	555	上下
同	一五號	9.24	10.25	81.7	13.0	18.7	3869.8	562	上
同	一六號	9.22	10.23	78.2	14.2	17.6	4063.4	565	上中
同	一八號	9.21	10.23	90.3	13.2	19.2	3718.1	584	上
同	二二號	9.22	10.23	90.5	14.2	17.2	4177.5	567	上中
同	二三號	9.23	10.25	85.4	18.0	17.9	4089.4	562	中上
同	二五號	9.22	10.25	83.9	14.0	18.0	3723.3	567	中上
比較	(臺中六五號)	9.26	10.27	88.7	13.3	17.7	4369.3	578	上下

前表ニ據ルトキハ比較良好ニシテ之ニ亞ギ臺農二二號、三號、二三號、一六號順次良好ナリ。

(15) 中壙郡新屋庄埔頂 (彭 燕)

播種七月十日 移植七月二十六日 收穫十月二十四日

肥料

苗代 「十アール」當

堆肥三〇〇斤 大豆粕二〇斤 過磷酸石灰一〇斤

人糞尿三〇〇斤

本田 「一ヘクタール」當

大豆粕四五〇斤 過磷酸石灰二五〇斤

品 種	項 目	出穂期	成熟期	稈長	穂數	穂長	一「ヘクタール」當精穀重量	立重	品質
臺農	一號	9.24	10.25	91.0	17.0	18.2	2679.6	551	上下
同	三號	9.25	10.25	74.6	24.0	16.8	2765.0	549	上下
同	一〇號	9.25	10.26	78.8	18.0	17.5	2972.2	559	中上
同	一四號	9.24	10.25	82.2	12.0	17.5	2117.3	558	中上
同	一五號	9.23	10.25	74.3	13.8	17.1	2458.3	533	上

品 種	項 目	出穂期	成熟期	稈長	穂數	穂長	一「ヘクタール」當精穀重量	立重	品質
臺農	一六號	9.26	10.25	78.6	15.8	18.4	2941.9	545	上中
同	一八號	9.27	10.26	92.2	15.8	20.2	2436.7	579	上中
同	二二號	9.26	10.25	90.8	16.4	18.5	3410.4	556	上下
同	二三號	9.26	10.25	78.6	12.2	18.2	2249.5	558	中
同	二五號	9.25	10.25	88.2	18.6	17.7	3264.0	552	中
比較	(臺中六五號)	9.29	10.30	85.3	15.1	17.5	3262.5	566	中

前表ニ據ルトキハ臺農二二號最モ良好ニシテ二五號、比較之ニ亞ギ良好ナリ。

(16) 桃園郡大園庄埔心 (林 昌)

播種七月十日 移植七月二十七日 收穫十月二十一日

肥料

苗代 「十アール」當

堆肥一五〇〇斤 大豆粕二五〇斤 過磷酸石灰三〇〇斤

人糞尿一〇〇〇斤

本田 「一ヘクタール」當

堆肥一〇〇〇〇斤 大豆粕五〇〇斤 過磷酸石灰五〇斤

硫安七〇斤

品 種	項 目	出穂期	成熟期	稈長	穂數	穂長	一「ヘクタール」當精穀重量	立重	品質
臺農	一號	9.23	10.24	97.6	17.9	19.1	2345.6	566	中上
同	三號	9.22	10.23	78.2	20.6	17.4	2557.5	559	上下
同	一〇號	9.25	10.26	82.7	19.3	17.3	2615.6	545	中下
同	一四號	9.19	10.21	85.5	13.3	17.7	2127.6	573	上下
同	一五號	9.23	10.23	80.9	14.6	13.4	2427.0	562	上中
同	一六號	9.21	10.22	79.2	14.1	17.9	2314.4	562	上中
同	一八號	9.20	10.22	87.6	13.1	17.1	2061.3	573	中上
同	二二號	9.21	10.22	89.0	13.9	17.3	1738.6	568	上

品 種	項 目	出穂期	成熟期	稈長	穂數	穂長	一「ヘクタール」當 精穀重量	立重	品質
		月日	月日						
臺農二三號		9.22	10.24	85.4	16.3	18.2	2174.3	573	中
同 二五號		9.21	10.24	83.9	14.0	18.1	2261.1	578	中
比較(臺中六五號)		9.25	10.27	88.7	13.9	17.4	2597.4	587	中上

前表ニ據ルトキハ臺農一〇號、比較、三號、一五號順次良好ナリ。

(17) 竹南郡頭分庄田寮 (鐘有敏)

播種七月十五日 移植七月三十一日 收穫十一月六日

肥料

苗代 十「アール」當

堆肥一〇〇斤 人糞尿一五〇斤

本田 一「ヘクタール」當

大豆粕四五〇斤 過磷酸石灰二〇〇斤 硫安四五斤

品 種	項 目	出穂期	成熟期	稈長	穂數	穂長	一「ヘクタール」當 精穀重量	立重	品質
		月日	月日						
臺農一號		9.27	11.11	96.0	22.3	18.3	3822.8	563	上中
同 三號		9.28	11.12	93.9	16.5	19.6	4088.8	552	中上
同 一〇號		9.28	11.13	92.3	23.0	18.2	4934.3	553	上
同 一四號		9.22	11.8	94.8	18.8	18.3	4028.6	562	中
同 一五號		9.28	11.10	86.0	14.4	19.5	3754.2	563	上
同 一六號		9.26	11.8	85.1	15.8	19.9	3840.4	566	上中
同 一八號		9.25	11.8	89.8	14.5	17.3	3331.8	578	上下
同 二二號		9.23	11.8	91.0	14.0	17.6	4191.3	569	上中
同 二三號		9.23	11.9	94.4	16.6	19.0	4093.5	575	上下
同 二五號		9.22	11.9	90.4	16.2	17.4	3966.5	576	中上
比較(臺中六五號)		9.29	11.12	94.7	14.9	18.5	4158.3	581	上下

前表ニ據ルトキハ臺農一〇號最良ニシテ二二號、比較、二三號、三號、一四號順次相亞ギ良好ナルヲ知ル。

## 二 水田堆肥施與ニ關スル試驗 (昭和四年ヨリ繼續)

目的 有機質ノ甚ダシク缺乏セル緒土質土壤ニ對シ堆肥ノ施與ガ如何ニ有効ナルヤヲ知ラントスルニアリ。

供試品種

第一期作 旭

第二期作 鶯 卵

試驗ノ區分

一、無堆肥區 (大豆粕、過磷酸石灰、粃殼灰ヲ施與シ堆肥ヲ施與セズ)

二、堆肥區 (堆肥ヲ施與シ其他ハ無堆肥ト同一肥料トス)

三、稻藁區 (稻藁ヲ堆肥ノ代リニ施與シ其他ノ肥料ハ堆肥區ニ同ジ)

供試面積及區制

一區一「アール」二區制

施肥量次ノ如シ

肥料ノ種別	一「ヘクタール」當 用量	所含三要素量		
		窒素	磷酸	加里
堆肥(稻藁)	7,500 (2000貫000)	45.000	30.000	67.500
大豆粕	700 (186貫667)	44.800	9.100	12.600
過磷酸石灰	350 (93貫333)	...	66.500	...
粃殼灰	1,000 (266貫667)	...	21.000	45.000
計	...	89.800 (23貫947)	126.600 (33貫760)	125.100 (33貫360)

試驗ノ方法

一、委託法ニ據ル

二、試驗地 A、中壘郡新屋庄 B、桃園郡大園庄

三、委託擔當人ハ州獎勵ノ堆肥豚舎ヲ所有シ良ク之ヲ利用シ居ルモノタルコト

四、其他ハ品種地方試驗ニ準ジタリ

成績次ノ如シ

第一期作

試験地 中壘郡新屋庄 (葉阿水)

供試品種 旭 播種期二月十二日移植期三月三十日

試験ノ區別	出穂期	成熟期	成熟時			収量			収立重	玄米品質
			稈長	穂數	穂長	重量	五ヶ年平均	指數		
一、無堆肥區	6.1	7.5	77.8	23.1	16.1	2647.5	2952.5	100.0	557	上ノ下
二、堆肥區	6.2	7.6	79.4	24.4	17.0	2367.3	3237.3	111.3	556	上
三、稻藁區	6.2	7.5	77.3	22.4	18.1	2608.5	2951.7	100.0	556	上ノ下

備考 堆肥區ノ収量ハ最モ多シ

試験地 桃園郡大園庄五塊厝 (謝 贊)

供試品種 旭 播種期一月二十日移植期三月九日

試験ノ區別	出穂期	成熟期	成熟時			収量			収立重	玄米品質
			稈長	穂數	穂長	重量	五ヶ年平均	指數		
一、無堆肥區	5.23	6.26	82.8	17.7	18.1	2335.2	2853.0	100.0	558	上ノ下
二、堆肥區	5.24	6.27	84.3	19.9	18.1	2368.3	3302.1	115.7	554	上
三、稻藁區	5.24	6.26	81.1	17.2	17.8	2744.1	2984.1	104.6	562	上ノ下

備考 堆肥區ノ収量ハ最モ多シ

第二期作

試験地 中壘郡新屋庄 (葉阿水)

供試品種 鶯 卵 播種期六月十八日移植期七月二十二日

試験ノ區別	出穂期	成熟期	成熟時			収量			収立重	玄米品質
			稈長	穂數	穂長	重量	五ヶ年平均	指數		
一、無堆肥區	9.26	11.11	120.3	9.7	22.1	2586.8	2169.2	100.0	486	上ノ下
二、堆肥區	9.27	11.12	127.8	10.7	23.7	2854.0	2439.4	112.0	484	上ノ下
三、稻藁區	9.26	11.12	123.4	9.6	22.9	2632.0	2292.0	105.7	489	上ノ下

備考 堆肥區ノ収量ハ最モ多シ

試験地 桃園郡大園庄五塊厝 (謝 贊)

供試品種 鶯 卵 播種期六月十三日移植期七月二十一日

試験ノ區別	出穂期	成熟期	成熟時			収量			収立重	玄米品質
			稈長	穂數	穂長	重量	五ヶ年平均	指數		
一、無堆肥區	10.6	11.14	114.9	10.5	21.6	2542.7	2338.1	100.0	483	中ノ上
二、堆肥區	10.6	11.15	124.7	11.7	21.7	3194.3	2769.1	118.4	484	上ノ下
三、稻藁區	10.6	11.15	120.8	9.5	22.2	2791.8	2531.3	108.3	489	上ノ下

備考 堆肥區ノ収量ハ最モ多シ

三 水田綠肥栽培効果試験 (昭和五年ヨリ繼續)

目的 水稻第二期作裏作トシテ綠肥栽培ガ舊桃園廳管内ニ於ケル舊慣耕種法ニ比シ如何ニ効果アルヤヲ試査セントス。

供試綠肥ノ種類 大菜

供試品種 第一期作 内地種

試験ノ區分

- 一、綠肥栽培 A區 (水稻第二期作收穫後直チニ犁起シ「ヘクター」當大菜種子八〇疍ヲ播種ス、播種ノ際所定ノ大豆粕ヲ施與ス)
- 二、綠肥栽培 B區 (第一區ト略々同様ナルモ異ル點ハ唯大豆粕ヲ施與セザルモノトス)
- 三、綠肥不栽培區 (綠肥ヲ栽培セズ灌水ハ挿秧二週間前トス)
- 四、舊慣區 綠肥不栽培區ト同様ナルモ灌水ハ二月上旬 (舊暦正月頃) トセリ。

肥料ハ綠肥栽培區ニ對シ「ヘクター」當堆肥六〇〇〇疍

大豆粕一三五疍 (綠肥栽培區 A區ニハ綠肥播種當時大豆粕ヲ施與セリ)

過燐酸石灰一三五斤ヲ施與シ第三、第四ノ兩區ニハ水稻挿秧前同量ヲ施與シタリ。

供試面積及區

一區二「アール」單區制

試驗ノ方法

品種地方試驗ニ準ジ委託法ニ據レリ。

成績次ノ如シ

第一期作

試驗地 中壘郡新屋庄新屋 (葉阿水)

供試品種 旭 播種期二月三日移植期三月三十一日

試験ノ區別	出穂期	成熟期	成熟時			稲「ヘクタール」當收量			籾立重	玄米品質
			稈長	穂數	穂長	重量	四ヶ年平均	指數		
	月日	月日	釐	本	釐	斤	斤	斤	元	
一、綠肥栽培A區	5.28	6.30	72.7	15.6	14.6	3237.0	2699.9	113.7	576	上ノ下
二、綠肥栽培B區	5.28	6.30	78.5	14.2	15.9	2928.3	2490.5	104.9	577	上ノ下
三、綠肥不栽培區	5.27	6.29	71.6	14.1	13.4	2760.0	2275.7	95.9	569	上ノ下
四、舊慣區	5.27	6.29	71.6	12.2	14.7	2496.7	2373.9	100.0	569	上ノ下

備考 舊慣區ハ十二月二十六日灌水セリ

綠肥(大菜)收穫高「ヘクタール」當

第一區四六五〇・〇斤 第二區四一五〇・〇斤

水稻収量ハ綠肥栽培A區收量最モ多ク、舊慣區、綠肥不栽培區順次相亞グ。

試驗地 中壘郡觀音庄下大堀 (陳 詞)

供試品種 旭 播種期一月三十一日移植期三月十五日

試験ノ區別	出穂期	成熟期	成熟時			稲「ヘクタール」當收量			籾立重	玄米品質
			稈長	穂數	穂長	重量	四ヶ年平均	指數		
	月日	月日	釐	本	釐	斤	斤	斤	元	
一、綠肥栽培A區	5.24	6.27	86.1	15.2	15.4	3304.7	2911.3	103.8	546	上ノ下
二、綠肥栽培B區	5.24	6.27	87.0	17.2	14.2	3852.8	1982.4	106.3	554	上ノ下
三、綠肥不栽培區	5.23	6.26	87.0	15.8	15.5	3380.7	2601.5	92.7	565	上ノ下
四、舊慣區	5.23	6.26	82.7	15.2	14.7	3204.7	2805.0	100.0	518	上ノ下

備考 舊慣區ハ十二月二十日灌水セリ

綠肥(大菜)收穫高「ヘクタール」當

第一區七八〇〇・〇斤 第二區七一五〇・〇斤

水稻収量ハ綠肥栽培B區收量最モ多ク、舊慣區之レニ亞ギ綠肥不栽培區最モ劣レリ

試驗地 桃園郡大園庄埔心三塊厝 (林 昌)

供試品種 旭 播種期一月二十日移植期三月十二日

試験ノ區別	出穂期	成熟期	成熟時			稲「ヘクタール」當收量			籾立重	玄米品質
			稈長	穂數	穂長	重量	四ヶ年平均	指數		
	月日	月日	釐	本	釐	斤	斤	斤	元	
一、綠肥栽培A區	5.24	6.25	92.0	22.6	15.8	4880.2	3644.7	119.3	571	上ノ下
二、綠肥栽培B區	5.24	6.25	88.4	19.4	15.0	5239.8	3692.2	120.9	567	上ノ下
三、綠肥不栽培區	5.24	6.24	92.0	16.4	15.8	4823.0	3084.3	101.0	578	上ノ下
四、舊慣區	5.24	6.24	82.2	16.8	15.6	4283.3	3053.9	100.0	585	上ノ下

備考 舊慣區ハ一月十四日灌水セリ

綠肥(大菜)收穫高「ヘクタール」當

第一區九六〇〇・〇斤 第二區六〇〇〇・〇斤

水稻収量ハ綠肥區ノ收量最モ多ク、舊慣區、綠肥不栽培區順次相亞グ。



### 四 新肥料施用ニ關スル試驗 (昭和六年ヨリ繼續)

目的 最近販賣セラレッツ、アル各種新肥料ノ施用法ヲ知悉セシメ一般農家指導ノ資ニ供セントス。

供試品種

第一期作 内地種 粳

第二期作 在來種 糯

試驗ノ區分

一、ロイナホス區

二、ロイナホス堆肥加用區

三、アンモホス區

四、アンモホス堆肥加用區

五、大豆粕區

六、大豆粕堆肥加用區

七、石灰窒素區

八、石灰窒素堆肥加用區

九、硫酸アンモニア區

一〇、硫酸アンモニア堆肥加用區

三要素施用量

一「ヘクタール」當窒素四五・〇斤、磷酸及加里ハ各五五・二五斤トシ、

磷酸ハ過磷酸石灰、加里ハ硫酸加里ヲ以テ補給セリ。

試驗ノ方法

一區〇・五「アール」單區制トシ委託法ニ據レリ。

成績 次ノ如シ

### 第一期作

試驗地 中壙郡新屋庄埔頂 (彭 縣)

供試品種 旭 播種期一月二十日移植期三月十五日

試驗ノ區別	出穂期 月日	成熟期 月日	成熟時			一「ヘクタール」 當收量			籾立重 斤	玄米 品質
			稈長	穗數	穗長	重量	三ヶ年 平均	指數		
一、ロイナホス區	5.22	6.25	75.7	15.7	16.1	2974.9	3040.8	110.5	572	上ノ下
二、ロイナホス堆肥 加用區	5.22	6.25	76.5	16.5	17.5	2777.2	3108.1	112.9	548	上ノ下
三、アンモホス區	5.22	6.25	76.4	16.8	16.6	2311.6	2662.8	96.3	555	上ノ下
四、アンモホス堆肥 加用區	5.22	6.24	76.4	18.4	17.0	2493.0	2997.7	105.7	545	上
五、大豆粕區	5.21	6.24	75.5	15.6	15.0	2418.9	2752.0	103.0	549	上ノ下
六、大豆粕堆肥加用 區	5.22	6.24	78.7	16.0	17.1	2770.6	3044.8	110.6	560	上ノ下
七、石灰窒素區	5.22	6.24	78.4	14.5	16.6	2799.8	2877.1	104.5	584	上ノ下
八、石灰窒素堆肥加 用區	5.22	6.24	76.3	15.5	16.2	3013.6	3020.2	109.7	585	上
九、硫酸アンモニア 區	5.21	6.24	76.0	16.6	17.3	2859.4	3090.7	112.3	570	上ノ下
一〇、硫酸アンモニア 堆肥加用區	5.22	6.24	80.5	18.9	16.6	3123.0	3178.6	115.5	562	上

ロイナホス堆肥加用區、硫酸アンモニア堆肥加用區最モ良ク、大豆粕區之ニ亞グ、各區共堆肥加用區ハ不加用區ヨリ收量多ク且ツ品質良好ニシテ化學肥料ヲ施與スル場合堆肥加用ノ必要ナル事判然タリ。

試驗地 桃園郡桃園街埔仔 (楊添福)

供試品種 旭 播種期一月二十日移植期三月十四日

試驗ノ區別	出穂期 月日	成熟期 月日	成熟時			一「ヘクタール」 當收量			籾立重 斤	玄米 品質
			稈長	穗數	穗長	重量	三ヶ年 平均	指數		
一、ロイナホス區	5.20	6.23	76.5	15.5	17.4	2658.7	3076.0	100.9	551	上ノ下
二、ロイナホス堆肥 加用區	5.20	6.23	83.5	18.7	18.3	2781.0	3334.7	109.4	528	上ノ下
三、アンモホス區	5.20	6.23	77.1	15.6	16.9	2591.2	3154.1	103.5	540	上ノ下
四、アンモホス堆肥 加用區	5.20	6.21	86.3	16.6	17.7	2553.6	3157.5	103.6	521	上ノ下

試験ノ區別	出穂期	成熟期	成熟時			収量			収立重	玄米品質
			稈長	穂數	穂長	重量	三ヶ年平均	指數		
	月日	月日	本	穂	重	収	立	重	元	
五、大豆粕區	5.21	6.24	76.8	15.7	17.2	2432.0	3047.6	100.0	527 上ノ中	
六、大豆粕堆肥加用區	5.21	6.25	82.5	17.8	18.8	2568.8	3162.9	103.8	532 上ノ中	
七、石灰窒素區	5.21	6.24	74.5	15.4	15.7	2822.4	3169.3	104.0	555 上ノ下	
八、石灰窒素堆肥加用區	5.21	6.24	75.2	15.7	15.9	2804.4	3291.7	108.0	551 上	
九、硫酸アンモニア區	5.20	6.24	81.1	18.3	18.7	2492.8	3199.0	105.0	516 上ノ下	
一〇、硫酸アンモニア堆肥加用區	5.20	6.24	84.2	22.4	18.2	2700.0	3414.9	112.1	521 上	

硫酸アンモニア堆肥加用區、ロイナホス堆肥加用區、石灰窒素堆肥加用區成績良好ニシテ堆肥加用區ハ不加用區ヨリモ收量多ク且ツ品質良好ナリ。

試験地 竹南郡頭分庄田寮 (鍾有敏)

供試品種 嘉義晚二號 播種期一月二十八日移植期三月十八日

試験ノ區別	出穂期	成熟期	成熟時			収量			収立重	玄米品質
			稈長	穂數	穂長	重量	三ヶ年平均	指數		
	月日	月日	本	穂	重	収	立	重	元	
一、ロイナホス區	5.24	7.1	96.6	14.2	21.6	4406.4	4318.8	101.1	560 中ノ上	
二、ロイナホス堆肥加用區	5.24	7.1	95.7	13.0	20.9	4064.0	4321.9	101.2	559 上ノ下	
三、アンモホス區	5.25	7.1	94.8	10.8	21.7	4076.8	4167.9	97.6	557 中ノ上	
四、アンモホス堆肥加用區	5.25	7.1	95.3	11.5	21.0	4185.3	4341.4	101.6	565 上ノ下	
五、大豆粕區	5.26	7.2	88.6	11.5	22.7	4033.3	4272.4	100.0	558 中ノ上	
六、大豆粕堆肥加用區	5.25	7.2	98.1	12.1	23.0	4290.9	4388.9	102.7	562 中ノ上	
七、石灰窒素區	5.26	7.2	95.7	12.9	21.9	3972.4	4023.5	94.2	558 上ノ下	
八、石灰窒素堆肥加用區	5.25	7.1	97.4	13.3	21.7	3884.8	4162.9	97.4	567 上ノ下	
九、硫酸アンモニア區	5.25	7.1	97.3	11.7	21.7	3926.8	4132.1	96.7	557 中ノ上	
一〇、硫酸アンモニア堆肥加用區	5.25	7.1	96.5	13.0	21.0	4382.6	4337.7	101.5	556 上ノ下	

大豆粕堆肥加用區、アンモホス堆肥加用區、硫酸アンモニア堆肥加用區成績良好ニシテ無堆肥區ヨリ堆肥加用區收量多ク品質良好ナル事他ト同ジ。

第二期作

試験地 中壢郡新屋庄埔頂 (彭 熙)

供試品種 鶯 卵 播種期六月十二日移植期七月十八日

試験ノ區別	出穂期	成熟期	成熟時			収量			収立重	玄米品質
			稈長	穂數	穂長	重量	三ヶ年平均	指數		
	月日	月日	本	穂	重	収	立	重	元	
一、ロイナホス區	10.2	11.10	106.3	11.2	20.2	2244.6	2075.2	93.9	514 中ノ上	
二、ロイナホス堆肥加用區	10.2	11.10	106.1	9.6	20.1	2234.6	2161.8	97.8	493 上ノ下	
三、アンモホス區	10.2	11.10	108.2	10.0	19.5	2224.8	2142.7	96.9	489 上ノ下	
四、アンモホス堆肥加用區	10.2	11.10	108.2	9.4	21.4	2458.4	2241.3	101.3	509 上ノ下	
五、大豆粕區	10.2	11.10	114.7	8.8	22.3	2366.4	2211.5	100.0	509 中ノ上	
六、大豆粕堆肥加用區	10.2	11.10	111.3	9.2	20.2	2534.4	2266.9	102.5	514 上ノ下	
七、石灰窒素區	9.30	11.8	113.2	8.0	21.0	2519.8	2121.3	95.9	506 中ノ上	
八、石灰窒素堆肥加用區	10.1	11.9	115.3	9.6	20.6	2688.3	2324.0	105.1	503 中ノ上	
九、硫酸アンモニア區	10.2	11.10	112.2	9.6	21.3	2476.8	2165.0	97.9	510 中ノ上	
一〇、硫酸アンモニア堆肥加用區	10.2	11.10	116.6	9.2	21.2	2675.2	2321.6	105.0	519 中ノ上	

石灰窒素堆肥加用區、硫酸アンモニア堆肥加用區成績良好ニシテ無堆肥區ヨリ堆肥加用區良ク且ツ品質良好ナル事一期作ト同ジ。

試験地 桃園郡桃園街埔仔 (楊添福)

供試品種 鶯 卵 播種期六月十四日移植期七月二十一日

試験ノ區別	出穂期	成熟期	成熟時			収量			収立重	玄米品質
			稈長	穂數	穂長	重量	三ヶ年平均	指數		
	月日	月日	本	穂	重	収	立	重	元	
一、ロイナホス區	10.5	11.10	114.7	10.6	21.4	2620.8	2636.7	100.7	492 中ノ上	
二、ロイナホス堆肥加用區	10.6	11.11	118.0	9.0	22.2	2718.0	2831.0	108.1	499 上ノ下	
三、アンモホス區	10.6	11.11	112.2	9.2	21.6	2358.4	2593.9	99.0	502 中ノ上	
四、アンモホス堆肥加用區	10.6	11.12	113.4	9.8	21.9	2622.5	2747.2	104.9	506 上ノ下	

試験ノ區別	出穂期	成熟期	成熟時			収量			収立重	玄米品質
			稈長	穂數	穂長	重量	三ヶ年平均	指數		
五、大豆粕區	10.5	11.12	116.0	9.8	20.9	2694.6	2619.3	100.0	499	中ノ上
六、大豆粕堆肥加用區	10.6	11.13	120.3	11.8	21.4	2968.7	2864.1	109.3	500	中ノ上
七、石灰窒素區	10.4	11.10	112.1	9.8	20.6	2430.0	2512.4	95.9	510	中ノ上
八、石灰窒素堆肥加用區	10.6	11.11	114.7	8.6	21.2	2652.2	2768.1	105.7	511	中ノ上
九、硫酸アンモニア區	10.5	11.11	113.4	9.0	21.6	2448.0	2549.2	97.3	513	中ノ上
一〇、硫酸アンモニア堆肥加用區	10.6	11.12	119.1	10.0	21.7	2651.0	2754.9	105.2	510	上ノ下

大豆粕堆肥加用區最モ良ク、ロイナホス、石灰窒素硫酸アンモニア堆肥加用區各之ニ亞ギ、無堆肥區ヨリ堆肥加用區ハ収量多ク且ツ品質良好ナル事一期作ト同ジ。

試験地 竹南郡頭分庄田寮 (鍾有敏)

供試品種 鶯 卵 播種期六月二十三日移植期七月二十九日

試験ノ區別	出穂期	成熟期	成熟時			収量			収立重	玄米品質
			稈長	穂數	穂長	重量	三ヶ年平均	指數		
一、ロイナホフ區	10.2	11.13	114.2	14.8	20.6	3096.0	3629.1	99.4	509	中ノ上
二、ロイナホス堆肥加用區	10.3	11.14	118.0	16.0	20.9	3223.1	3685.3	101.0	515	中ノ上
三、アンモホス區	10.2	11.13	119.3	13.8	21.1	3199.2	3577.2	98.0	524	中ノ上
四、アンモホス堆肥加用區	10.3	11.14	121.7	15.4	21.5	3349.8	3683.5	100.9	514	上ノ下
五、大豆粕區	10.3	11.14	122.0	16.3	21.4	3315.0	3649.3	100.0	520	中ノ上
六、大豆粕堆肥加用區	10.4	11.15	122.4	16.7	21.4	3326.4	3701.9	101.4	514	中ノ上
七、石灰窒素區	10.2	11.13	119.2	15.3	21.0	3279.4	3686.3	101.0	516	中ノ上
八、石灰窒素堆肥加用區	10.2	11.14	120.0	16.3	21.8	3386.4	3794.3	104.0	515	上ノ下
九、硫酸アンモニア區	10.3	11.14	123.2	13.9	22.0	3519.0	3776.0	103.5	520	中ノ上
一〇、硫酸アンモニア堆肥加用區	10.3	11.15	123.0	15.8	22.2	3628.8	3865.1	105.9	513	上ノ下

硫酸アンモニア堆肥加用區最モ良ク石灰窒素之ニ亞ギ、堆肥加用區ハ無堆肥ニ比シ収量多ク且ツ品質良好ナル事一期作ト同ジ。

### 五 施肥標準量ニ關スル試験

(昭和五年ヨリ繼續 農業部委託)

目的 水稻ニ對シ其ノ土性ニ適合セル肥料要素ノ經濟的用量ヲ知ラントスルニアリ。

試験ノ區別 試験區名及三要素量次ノ如シ

試験區別	一「ヘクタール」當三要素量		
	窒素	磷酸	加里
一、無窒素區	0	80	80
二、窒素少量區	40	80	80
三、三要素基準區	80	80	80
四、窒素多量區	120	80	80
五、窒素最多量區	160	80	80
六、三要素少量區	40	40	40
七、三要素多量區	120	120	120
八、無要素區	0	0	0
九、無磷酸區	80	0	80
一〇、磷酸少量區	80	40	80
一一、磷酸多量區	80	120	80
一二、無加里區	80	80	0
一三、加里少量區	80	80	40
一四、加里多量區	80	80	120

試験面積及區制 一區〇〇-「アール」二區制

供試品種 第一期作 旭  
第二期作 鶯 卵

試験地 A、桃園郡大園庄五塊厝(昭和五年ヨリ繼續) B、苗栗郡苗栗街芒埔(昭和七年ヨリ繼續)

試験ノ方法 委託法ニ據リ實施シ調査其他ハ農業部施肥標準量決定試験設計書ニ據レリ。

成績 次ノ如シ

第一 旭  
試驗地 大園庄五塊厝 (謝 贊)

調査項目 試験ノ區別	穂揃期 月日	成熟期 月日	生育 日數	成熟時			収	
				穂長	穂數	穂長	重量	四ヶ年 平均重量
(1)無窒素區	5.24	6.23	150	72.3	11.2	16.2	2381.0 (634貫934)	1904.7 (507貫921)
(2)窒素少量區	5.25	6.25	153	78.0	14.5	16.5	2900.7 (773貫521)	2557.7 (682貫054)
(3)三要素基準區	5.25	6.25	153	79.7	17.2	17.6	2982.6 (795貫361)	3507.8 (935貫415)
(4)窒素多量區	5.26	6.26	154	74.6	18.2	17.4	2193.0 (584貫801)	3628.1 (967貫495)
(5)窒素最多量區	5.28	6.28	156	69.6	18.3	16.9	1539.5 (410貫534)	3515.5 (937貫468)
(6)三要素少量區	5.26	6.26	154	76.7	14.4	16.9	2859.3 (762貫481)	3370.9 (893貫908)
(7)三要素多量區	5.27	6.27	155	67.9	18.5	16.1	1312.0 (371貫200)	3403.1 (907貫494)
(8)無要素區	5.24	6.23	151	68.0	8.3	16.2	1514.6 (403貫894)	1267.1 (337貫894)
(9)無磷酸區	5.26	6.27	155	80.2	13.0	16.3	2855.0 (761貫334)	2564.2 (683貫788)
(10)磷酸少量區	5.25	6.25	153	81.9	16.7	16.5	3208.0 (855貫468)	3539.7 (943貫921)
(11)磷酸多量區	5.25	6.25	153	70.7	16.0	15.7	1794.6 (478貫561)	3546.9 (945貫341)
(12)無加里區	5.25	6.25	153	73.6	16.4	15.7	2684.8 (715貫948)	3551.2 (946貫988)
(13)加里少量區	5.25	6.25	153	77.9	17.2	16.4	2939.2 (783貫738)	3742.5 (938貫001)
(14)加里多量區	5.25	6.25	153	76.0	17.1	16.7	2650.0 (706貫668)	3690.3 (984貫081)

備考 四月下旬各區共下葉ニ稻熱病ノ斑點ヲ認メラル、其程度ハ三要素多量區、  
ル區ニ多ク然ラザル區ニ極メテ少シ、窒素多量區ノ次ギハ磷酸多量區ニシ  
無要素ノ各區ハ生育不良ナルモ被害ハ殆ンドナカリキ。  
以上ノ成績ニヨリ窒素ノ効果最モ大ニシテ磷酸及加里之レニ亞グ、窒素多量ハ稻熱  
ルヲ以テ同地方ニハ磷酸肥料ノ施與ヲ必要トスルコト判然シ80匁位ヲ適當トスベク

期 作

播種期一月二十三日 移植期三月九日

指數	(一ヘクタール當)		稲摺歩合		玄米 (一ヘクタール當)			
	立重	容量	重量	容量	重量	立重	容量	品質
54.3	607	3928.8 (21石752)	81.7	63.3	1943.8 (518貫347)	783	2482.8 (13石763)	上ノ中
72.9	589	4929.8 (27石328)	81.2	61.0	2353.9 (627貫707)	783	3006.3 (16石665)	上
100.0	565	5285.4 (29石300)	79.2	58.6	2360.4 (629貫441)	764	3091.9 (17石140)	上
103.4	537	4088.6 (29石665)	78.9	56.3	1728.9 (461貫041)	752	2300.6 (12石753)	上ノ中
100.2	513	2994.1 (16石598)	77.0	53.4	1189.9 (317貫306)	740	1605.7 (8石901)	中ノ上
96.1	597	4795.7 (26石585)	81.5	62.0	2330.6 (621貫494)	785	2970.0 (16石464)	上ノ下
97.0	510	2728.6 (15石126)	74.4	50.7	1033.3 (276貫880)	749	1387.6 (7石692)	上ノ中
36.1	594	2548.5 (14石128)	79.5	62.0	1204.3 (321貫147)	763	1580.2 (8石760)	上ノ中
73.1	602	4758.6 (26石379)	81.0	62.6	2313.7 (616貫937)	778	2974.6 (16石490)	上ノ下
100.9	553	5554.6 (30石792)	81.7	61.4	2621.1 (698貫961)	770	3405.2 (18石877)	上ノ中
101.1	542	3312.2 (18石361)	77.2	54.9	1884.4 (369貫174)	762	1817.4 (10石075)	上ノ中
101.2	567	4738.3 (26石267)	80.0	53.6	2148.2 (572貫854)	773	2779.6 (15石409)	上ノ中
106.7	565	5201.3 (28石333)	79.5	58.1	2337.2 (623貫254)	774	3022.1 (16石753)	上ノ下
105.2	564	4711.8 (26石120)	79.2	57.7	2094.0 (558貫401)	774	2707.0 (15石006)	上ノ下

窒素最多量區、窒素多量區ニ最モ多ク、一般ニ草丈高ク分蘖多キ、可謂生育良好ナ  
テ前例ナキ現象ナリキ、加里ハ其有無多少ニ拘ラズ被害程度略同様ニシテ無磷酸、

病ヲ誘發シ易キヲ以テ80匁位ヲ適當ト認ムベク、磷酸ハ其ノ無施與著シク收量減ズ  
加里ハ効果餘リ顯著ナラズ、

試驗地 大園庄五塊厝 (謝 贊) 鷺

調查項目 試驗ノ區別	穗揃期 月日	成熟期 月日	生育 日數	成 熟 時			穀	
				稈長	穗數	穗長	重 量	四ヶ年 平均重量
(1)無窒素區	10.3	11.11	158	117.6	7.0	22.0	2968.5 (791貫601)	2254.1 (601貫094)
(2)窒素少量區	10.4	11.13	160	121.5	8.2	23.0	3269.5 (871貫868)	2815.5 (750貫801)
(3)三要素基準區	10.4	11.13	160	125.5	9.2	22.9	3762.0 (1003貫201)	3200.6 (853貫494)
(4)窒素多量區	10.5	11.14	161	129.7	9.9	23.0	3757.5 (1002貫001)	3339.8 (890貫614)
(5)窒素最多量區	10.5	11.14	161	132.4	9.6	24.5	3635.5 (969貫468)	3342.0 (891貫201)
(6)三要素少量區	10.4	11.13	160	122.1	9.2	23.1	3338.5 (890貫268)	2762.8 (736貫748)
(7)三要素多量區	10.5	11.14	161	130.3	10.7	23.2	3919.0 (1045貫068)	3415.2 (910貫721)
(8)無要素區	10.3	11.12	159	103.7	6.0	21.0	1779.0 (474貫401)	1687.3 (449貫947)
(9)無磷酸區	10.5	11.14	161	116.4	7.8	21.7	2726.5 (727貫068)	2525.9 (673貫574)
(10)磷酸少量區	10.4	11.13	160	121.3	8.2	22.0	3831.5 (1021貫735)	3197.2 (852貫588)
(11)磷酸多量區	10.4	11.13	160	124.3	10.6	22.3	4016.5 (1071貫068)	3420.8 (912貫214)
(12)無加里區	10.4	11.13	160	116.0	9.8	20.6	3289.0 (877貫068)	3038.6 (810貫294)
(13)加里少量區	10.4	11.13	160	120.3	10.3	20.8	3779.5 (1007貫868)	3242.5 (864貫668)
(14)加里多量區	10.4	11.13	160	125.4	9.5	22.2	3794.5 (1011貫868)	3200.4 (853貫441)

効果第一期作と同様

卵 播種期六月六日移植期七月二十一日

指數	(-ヘクタール當)		穀摺歩合		玄米 (-ヘクタール當)			
	立重	容 量	重量	容量	重 量	立重	容 量	品質
70.4	530	5600.1 (31石044)	81.2	55.7	2410.0 (642貫667)	773	3119.4 (17石292)	上ノ下
88.0	526	6221.3 (34石488)	81.2	55.5	2653.4 (707貫574)	770	3448.4 (19石116)	上ノ下
100.0	522	7214.1 (39石991)	81.4	55.3	3510.6 (936貫161)	768	3986.0 (22石096)	上ノ下
104.3	490	7679.2 (42石570)	80.7	52.2	3032.3 (808貫614)	758	4000.4 (22石176)	中
104.4	486	7483.3 (41石484)	80.4	51.7	2922.5 (779貫334)	755	3871.3 (21石461)	中ノ下
86.3	529	6317.6 (35石022)	81.4	56.0	2716.1 (724貫294)	769	3534.1 (19石591)	上ノ下
106.7	507	7730.8 (42石856)	81.5	54.6	3188.1 (850貫161)	756	4270.1 (23石671)	中
52.7	525	3179.2 (17石624)	80.0	54.9	1335.5 (356貫134)	765	1745.4 (9石676)	上ノ下
78.9	520	5243.0 (29石065)	80.7	55.2	2200.3 (586貫747)	760	2896.1 (16石055)	中ノ下
99.9	517	7409.9 (41石077)	80.9	54.6	3095.1 (825貫361)	766	4042.7 (22石411)	中
106.9	531	7562.6 (41石923)	81.7	56.5	3278.5 (874貫268)	768	4271.7 (23石680)	上ノ中
94.9	532	6184.6 (34石284)	81.0	57.0	2664.1 (710貫423)	757	3521.7 (19石523)	中
101.3	528	7157.3 (39石076)	81.9	56.0	3093.4 (824貫908)	772	4009.9 (22石229)	中ノ上
100.0	530	7166.7 (39石729)	81.5	56.8	3092.5 (824貫668)	760	4069.9 (22石561)	中ノ上

試驗地 苗栗街芒埔 (劉阿任) 臺中六

調查項目 試驗ノ區別	穗抽期	成熟期	生育 日數	成熟時			粒	
				稈長	穗數	穗長	重量	二ヶ年 平均重量
(1)無窒素區	5.30	6.26	168	85.6	12.4	17.5	3393.8 (905貫014)	4620.0 (1232貫002)
(2)窒素少量區	5.30	6.28	170	93.6	14.3	18.0	4303.5 (1147貫601)	5295.2 (1412貫055)
(3)三要素基準區	5.30	6.28	170	102.9	18.2	17.7	5289.0 (1410貫402)	5838.4 (1556貫909)
(4)窒素多量區	6.2	6.30	172	104.5	16.5	18.6	5916.5 (1577貫735)	6261.3 (1669貫682)
(5)窒素最多量區	6.1	6.30	172	109.1	21.5	19.3	6295.8 (1678貫882)	6490.7 (1730貫855)
(6)三要素少量區	5.30	6.28	170	95.4	15.1	17.2	4348.2 (1159貫521)	5213.3 (1390貫215)
(7)三要素多量區	6.1	6.28	170	102.7	18.6	18.7	5919.3 (1578貫482)	6307.0 (1681貫869)
(8)無要素區	5.29	6.26	168	85.6	12.5	17.1	3168.2 (844貫854)	4402.0 (1173貫868)
(9)無磷酸區	6.2	6.30	172	98.8	15.7	17.4	4877.8 (1300貫748)	5618.4 (1498貫242)
(10)磷酸少量區	6.1	6.28	170	99.1	17.3	18.0	5176.7 (1380貫455)	5788.0 (1543貫469)
(11)磷酸多量區	5.29	6.28	170	102.5	18.1	18.5	5265.3 (1404貫082)	5898.3 (1572貫882)
(12)無加里區	6.1	6.28	170	97.9	17.8	18.0	5250.4 (1400貫108)	5822.6 (1552貫695)
(13)加里少量區	6.1	6.28	170	99.1	18.9	18.0	5397.2 (1439貫255)	5913.6 (1576貫982)
(14)加里多量區	6.1	6.30	172	100.5	17.8	18.0	5160.8 (1376貫215)	5876.7 (1567貫122)

窒素肥料ノ効果最モ顯著ニシテ磷酸稍認メラレ、加里ハ顯著ナラズ、

期作 十 五 號 播種期一月八日移植期三月七日

指數	(一ヘクタール當)		収播歩合		支米 (一ヘクタール當)			品質	穗首イモ チ發生率
	立重	容量	重量	容量	重量	立重	容量		
79.1	603	5633.8 (31石231)	82.7	62.8	2806.7 (748貫454)	794	3535.1 (19石597)	上	1.1
90.7	598	7200.3 (39石915)	83.2	62.2	3578.2 (954貫188)	800	4473.3 (24石793)	上	0.9
100.0	602	8794.3 (48石751)	83.3	62.7	4405.8 (1174貫881)	800	5507.9 (30石533)	上	2.1
107.2	592	10004.6 (55石461)	83.5	61.7	4840.5 (1290貫802)	801	6167.4 (34石189)	上ノ下	5.4
111.2	585	10763.2 (59石666)	83.0	61.0	5225.7 (1393貫522)	797	6560.7 (36石369)	上ノ下	3.9
89.3	618	7023.1 (38石933)	84.8	65.7	3690.4 (984貫108)	799	4623.5 (25石630)	上ノ中	1.4
108.0	595	9955.7 (55石189)	83.5	61.7	4893.1 (1304貫828)	806	6137.9 (34石025)	上ノ下	3.0
75.4	609	5210.4 (28石884)	82.5	62.8	2613.9 (997貫041)	809	3268.2 (18石117)	上	0.3
96.2	598	8157.8 (45石223)	82.9	61.6	4041.4 (1077貫708)	805	5023.6 (27石848)	上ノ下	1.8
99.1	600	8627.8 (47石828)	83.2	62.8	4304.3 (1147貫815)	796	5411.3 (29石998)	上ノ下	1.0
101.0	597	8819.3 (48貫899)	83.2	62.2	4378.2 (1167貫521)	799	5483.6 (30石393)	上	1.0
99.7	600	8758.4 (48貫552)	83.5	62.5	4334.1 (1169貫095)	802	5469.9 (30石322)	上ノ下	0.9
101.3	605	8916.2 (49貫427)	83.3	63.0	4491.7 (1197貫788)	800	5618.5 (31石146)	上ノ中	1.3
100.7	599	8617.5 (47貫771)	83.2	62.2	4291.5 (1144貫401)	801	5357.5 (29石699)	上ノ下	1.2

第 二

試驗地 苗栗街芒埔 (劉阿任) 鷺

調查項目 試驗ノ區別	穗揃期 月日	成熟期 月日	生育 日數	成 熟 時			穀	
				科長	穗數	穗長	重 量	二ヶ年 平均重量
(1)無窒素區	10.9	11.9	136	122.7	8.7	22.4	4136.3 (1103貫015)	3771.3 (1005貫681)
(2)窒素少量區	10.9	11.10	137	125.4	9.4	22.6	4278.5 (1140貫935)	3978.9 (1061貫041)
(3)三要素基準區	10.9	11.10	137	126.7	11.4	22.2	4461.7 (1189貫788)	4145.4 (1105貫441)
(4)窒素多量區	10.10	11.11	138	131.5	11.6	22.9	4915.7 (1310貫855)	4625.2 (1233貫388)
(5)窒素最多量區	10.10	11.12	139	134.7	12.8	22.5	4764.1 (1270貫428)	4641.0 (1237貫602)
(6)三要素少量區	10.9	11.10	137	128.8	10.7	21.8	4035.5 (1076貫135)	3816.5 (1017貫681)
(7)三要素多量區	10.10	11.11	138	130.6	9.5	22.7	4737.0 (1263貫202)	4588.8 (1210貫348)
(8)無要素區	10.9	11.10	137	116.0	9.9	20.8	3719.3 (991貫815)	3442.1 (917貫894)
(9)無磷酸區	10.9	11.10	137	124.0	10.0	21.7	4100.5 (1093貫468)	3973.5 (1059貫601)
(10)磷酸少量區	10.9	11.10	137	126.0	10.8	22.3	4436.1 (1182貫961)	4250.6 (1133貫495)
(11)磷酸多量區	10.10	11.11	138	127.8	10.1	22.4	4453.4 (1187貫575)	4284.2 (1142貫455)
(12)無加里區	10.9	11.10	137	126.9	10.1	21.9	4412.8 (1176貫748)	4226.8 (1127貫148)
(13)加里少量區	10.9	11.10	137	126.7	10.5	22.0	4185.8 (1116貫215)	4118.1 (1098貫161)
(14)加里多量區	10.9	11.10	137	115.0	9.9	23.0	4696.8 (1252貫482)	4406.0 (1174貫935)

以上ノ成績ニヨレバ窒素ノ効果最モ顯著ニシテ磷酸之レニ亞ギ加里劣レリ。

期 作

卵 播種期六月二十六日移植期七月二十九日

指數	(一ヘクタール當)		穀摺歩合		玄米 (一ヘクタール當)			品質	穗首イモ チ發生率
	立重	容量	重量	容量	重 量	立重	容量		
91.0	538	7696.5 (42石666)	82.0	56.4	3392.3 (904貫614)	783	4335.7 (24石035)	上	0
96.0	535	8011.6 (44石412)	82.2	56.6	3514.4 (937貫175)	777	4520.2 (25石053)	上	0
100.0	534	8357.0 (46石327)	82.0	56.7	3658.6 (975貫628)	772	4738.0 (26石365)	上	0
111.6	526	9341.1 (51石782)	81.9	55.6	4024.0 (1073貫068)	775	5190.1 (23石771)	上ノ中	0
112.0	519	9179.3 (50石835)	82.5	55.4	3930.0 (1048貫001)	774	5079.5 (28石158)	中	0
92.1	539	7486.7 (41石593)	81.9	56.6	3303.1 (880貫823)	780	4235.8 (23石481)	上ノ中	0
109.5	540	8781.3 (48石679)	82.2	58.0	3891.3 (1037貫681)	765	5087.5 (28石203)	中ノ上	0
83.0	542	7862.1 (43石584)	81.7	56.9	3033.7 (810貫321)	779	3900.0 (21石620)	上	0
95.9	535	7675.2 (42石547)	81.7	55.9	3350.1 (893貫361)	781	4289.2 (23石777)	中ノ上	0
102.5	534	8315.1 (46石095)	82.4	56.6	3653.2 (974貫188)	777	4702.6 (26石068)	上ノ下	0
103.3	541	8239.7 (45石677)	82.0	55.8	3651.8 (973貫815)	795	4593.5 (25石464)	上ノ下	0
102.0	532	8293.6 (45石976)	82.0	56.2	3618.8 (965貫015)	777	4656.7 (25石814)	上ノ下	0
99.3	534	7846.3 (43石495)	82.2	56.7	3433.7 (916貫988)	770	4445.1 (24石641)	上ノ下	0
106.3	537	8469.6 (46石951)	82.2	55.8	3734.9 (995貫975)	791	4723.2 (26石183)	上ノ下	0

## 6 調 査

### 一 堆肥製造法ニ關スル調査 (昭和六年ヨリ継続)

目 的 近來販賣ノ堆肥製造用諸促成劑ヲ使用シ其ノ効果如何ヲ調査セントス  
試 驗 區 分

ザザ、肥ノ素菌、アゾファーム、豊作ノ素、肥料ノ素、アドコ式、農  
林省式、標準

促成劑母料

- (一) ザザ  
一罐(一立方坪分)ヲ硫酸アンモニア一立ト共ニ四〇立ノ水ニ溶解  
ス。
- (二) 肥ノ素菌  
材料一一二五疋(三百貫)ニ對シ二〇「アール」分(二段歩用)一罐乾  
燥セル材料三七五疋(百貫)ニ對シ石灰一八疋七五(五貫)ノ割合
- (三) アゾファーム  
直徑一・八米(六尺)高サ一・五米(五尺)ニ對シ「アゾファーム」四五  
〇瓦(一二〇匁)米糠三・六立(二升)ヲ混ズ。
- (四) 豊作ノ素  
豊作ノ素一罐ニ米糠三六立(二斗)ヲ混合(米糠ノ代リニ麩ヲ使用)
- (五) 肥料ノ素  
材料三七五疋(百貫)ニ對シ肥料ノ素一一二瓦(三十匁)ト米糠七  
立(四升)ヲ混ズ。
- (六) アドコ式  
材料三七五疋(百貫)ニ對シアドコー一疋二五(三貫)ノ割
- (七) 農林省式  
材料三七五疋(百貫)ニ對シ消石灰一八疋七五(五貫)本積ハ硫酸ア  
ンモニア五・五疋(一・五貫)
- (八) 標準  
一般ニ行ヘル方法

堆積方法

- (一) ザザ  
方法書ニ基キ通氣床ト通氣塔ヲ裝置シ其ノ上ニ浸漬セル藁ヲ三十  
柳ノ高サニ積ミザザ液ヲ注グ、斯クシテ此ノ方法ヲ六回繰返シ五  
立方米トナシ空吹ヲ以テ覆フ。

#### (二) 肥ノ素菌

豫メ水ニ浸漬セル材料ヲ一五柳ノ高サニ擴ゲ其ノ上ニ石灰ヲ薄ク  
振りカケ水ヲカケ其ノ上ニ肥ノ素菌ヲ一〇立ノ乾燥セル砂ニヨク  
混ジタルモノヲムラナク撒布シ、其ノ次ヨリハ原料一五柳ヲ積ミ  
石灰ヲ撒キ、原料ヲ積ミ肥ノ素菌ヲフリカケル、斯クシテ所定ノ  
高サトナス。

#### (三) アゾファーム

方法書ニ基キ通氣床ヲ造リ其ノ上ニ浸漬セル藁ヲ一五柳ノ高サニ  
積ミ母料〇・五立(三合)ヲ振りカク之ヲ一工程トシ所定ノ高サト  
ナシ水一荷ヲ注ギ空吹ニテ覆フ。

#### (四) 豊作ノ素

方法書ニ基キ浸漬セル藁ヲ三十柳ノ高サニ積ミ足ニテ叮嚀ニ踏ミ  
付ク糠ト混和セル母料ヲ全面ムラナク振りカケ此ノ方法ヲ繰返シ  
所定ノ高サトシ水ヲ充分注ギ空吹ニテ覆フ。

#### (五) 肥料ノ素

方法書ニヨリ浸漬セル藁ヲ積ミ母料ヲ撒布シ如露ニテ水ヲ注ギ其  
ノ上ニ材料三十柳ノ高サニ積ミヨク踏付母料ヲ撒布シ水ヲ注ク此  
ノ方法ヲ繰返シ所定ノ高サニス。

#### (六) アドコ式

浸漬セル藁ヲ三十柳ノ高サニ積ミアドコ二疋二五(六百匁)ヲ撒布  
シ強ク踏付ケル事ナク此ノ上ニ材料ヲ積ミアドコヲ撒布ス此ノ方  
法ヲ繰返シ所定ノ高サトシ三週間後切返シヲ行フ。

#### (七) 農林省式

浸漬シオキタル藁ヲ四十柳ノ高サニ擴ゲ置キ消石灰一八疋七五  
(五貫)ヲ水三七五疋(百貫)ニ混ゼル石灰乳及水約一八七疋五(五  
〇貫)ヲ踏壓シツ、注ギ、適當ナル覆ヲ施シ二週間放置シ後切崩  
ヲナシ本積ヲ行フ、此ノ時充分灌水シ緩ク堆積シ操作中ニ硫酸五・  
五疋(一・五貫)ヲ撒布ス、切返シハ本積後四週間目ニ行フ。

#### (八) 標準

浸漬セル藁ヲ三十柳ノ高サニ<sup>積</sup>ミ其ノ上ニ細土ヲ六柳ノ厚サニ均  
齊ニ積ミ此ノ方法ヲ繰返シ所定ノ高サトス。

備考 各五立方米トス。



成績

一、材料及作業時間

試験区	材料		土	水肥	藪	石灰	作業時間
	量	種					
ザザ区	433.1	...	...	硫酸水 80	...	...	13.20
肥ノ素菌区	658.7	砂	10	...	...	50	15.20
アソファーム区	495.8	...	...	硫酸水 160	20	...	11.50
豊作ノ素区	605.0	...	...	...	40	...	13.20
肥料ノ素区	481.9	...	...	...	4	...	10.15
アドコ式区	747.0	...	...	...	...	...	12.00
農林省式区	751.6	...	...	硫酸 55	...	19	9.45
標準区	461.3	946.9	240	...	...	...	18.30

上記藪ハ坪量ノ上浸漬シ後堆積セリ

二、出来上り

試験区	材料	出来上り	材料對出来上り歩合		堆肥トシテ使用シ得ルニ至ル日數		品質
			本年	三年平均	本年	三年平均	
			%	%			
ザザ区	443.1	450.0	101.6	87.7	40	40	上ノ下
肥ノ素菌区	724.7	810.0	111.7	96.2	40	40	中
アソファーム区	495.8	540.0	108.9	96.3	40	37	上ノ下
豊作ノ素区	605.0	660.0	109.1	91.2	40	35	上ノ下
肥料ノ素区	481.9	545.0	112.1	92.8	40	40	上ノ下
アドコ式区	747.0	765.0	102.4	...	50	...	上ノ下
農林省式区	770.6	770.0	99.9	...	45	...	上ノ下
標準区	1408.2	1410.0	100.1	79.9	80	80	中

材料中ニ母料ハ加入セズ

發熱ノ狀況ハ豊作ノ素、肥料ノ素、サザ早く、豊作ノ素ハ四日目ニ最高温七一度、肥料ノ素ハ五日目最高温七二度、サザハ五日目ニ最高温七〇度ニ達シ、アソファームハ六日目ニ最高温七二度、肥ノ素菌ハ七日目ニ七四度、アドコ式ハ七日目ニ七三度農林省式ハ七日目ニ最高温七三度ニ達セリ、爾後各區共四日一七日間最高温ヲ持續シ漸次低下セリ。標準區ハ前者各區ノ如キ高温トナラザリシモ一週間目頃ヨリ約十日間最高温六五度ヲ持續セリ。

腐熟状態ハ豊作ノ素、肥料ノ素、サザ、アソファーム等早く肥ノ素菌、アドコ等稍遅レタリ。

二 螟蛾發生調査 (昭和六年九月着手)

目的 螟蛾發生状態ヲ調査シ螟虫豫防驅除ノ資ニ供セントス。

方法 四〇「ワット」電燈常夜燈ヲ用ヒ圃場ノ一部ニハ設置シ周年其ノ誘殺數ヲ調査ス。

調査成績

月別	旬別	一點大螟蛾			螟蛾		
		雄	雌	計	雄	雌	計
一月	上	...	...	...	...	...	...
	中	...	...	...	...	...	...
	下	...	...	...	...	...	...
二月	上	...	...	...	...	...	...
	中	...	...	...	...	...	...
三月	上	...	...	...	...	...	...
	中	36	3	39	10	7	17
四月	上	3	...	3	143	15	158
	中	3	2	5	40	6	46
五月	上	5	7	12	24	2	26
	中	...	...	...	...	...	...

月 別	旬別	一 點 大 螟 蛾			螟 蛾		
		雄	雌	計	雄	雌	計
五 月	上	6	1	7	9	2	11
	中	140	227	367	36	23	59
	下	85	186	271	166	188	354
六 月	上	24	14	38	23	15	38
	中	248	569	817	55	17	72
	下	913	1,647	2,560	48	76	124
七 月	上	582	549	1,131	104	154	258
	中	493	1,046	1,539	362	864	1,226
	下	26	73	99	52	111	163
八 月	上	34	1	25	12	4	16
	中	10	2	12	3	...	3
	下	19	23	42	2	...	2
九 月	上	20	21	41	...	1	1
	中	22	75	97	2	3	5
	下	192	332	524	4	1	5
十 月	上	454	280	734	...	...	...
	中	4	4	8	...	...	...
	下	12	30	42	3	4	7
十一月	上	...	...	...	...	...	...
	中	...	...	...	...	...	...
	下	...	...	...	...	...	...
十二月	上	...	...	...	...	...	...
	中	...	...	...	...	...	...
	下	...	...	...	...	...	...

前表ニヨリ一點大螟蛾ハ六月中旬ヨリ七月中旬最モ誘殺多ク。九月下旬——十月上旬及五月中下旬相亞ダリ。

螟蛾ハ七月中旬最モ多ク五月下旬四月下旬之レニ亞ダリ。

### 第三 講習 其他

### 第三 講習其他

#### (一) 講習會

第一回水稻耕種法ニ關スル講習會

昭和九年一月六、七ノ兩日本場ニテ開催、實習ニ重キヲ置キ、短冊苗代ノ造り方、正條植用具ノ造り方、同使用法、除草器ノ使用法、種粒消毒法等ニツキ講習セリ、講習生ハ州下各郡勸業係員、街庄産業技術員、學校職員、農事實行小組合幹部等百五十五名ニ達シタリ。

#### (二) 農事試驗場參觀デー

昭和八年十二月十六—十八日三日間第一回農事試驗場參觀デーヲ開催シ本場成績品成績圖表、耕種法模範型式(實地ニ)活動寫眞等ヲ、本場事務所倉庫圃場等ヲ會場トシ陳列セリ、陳列品ノ内容ハ耕種法試驗、品種試驗、肥料試驗、跡地試驗、綠肥甘藷耕地防風林、氣象、病虫害、農具等ニ大別シ模範耕種法様式ヲ圃場ニ實地ニ現シ尙正條<sup>地</sup>植用具ノ使用、除草器ノ使用ノ實演場ヲ設ケ當業者ヲ來觀セシメシガ參觀者計二千九百五十五名ニ達シ極メテ盛會裡ニ終了セリ。

#### (三) 實習生

昭和八年七月十七日ヨリ三週間宜蘭農林學校ヨリノ委託ニヨリ同校生徒張水草、嘉鐵四郎、篠崎錠、許金土ノ四名ハ本場ニテ實務ヲ實習セリ。

第四 庶 務